2015-16 School Calendar

2015 年 9 月
- 7 労働の日
- 8 学校初日
- **4x4 中間報告発表 （YRA のみ）**

2015 年 10 月
- 9 早下校/生徒評価日
- **15 中間報告発表**
- **AB 混合中間 /4x4 報告カード発行 （YRA のみ）**
- **4x4 中間報告発表 （YRA のみ）**

2015 年 11 月
- 3 選挙日 – 休校
- .5 生徒評価日
- .5 教師研究会
- 11 復員軍人の日 – 休校
- 小学校 – 保護者会
- 中学高校 – 教師研究会
- 12 第二四半期開始
- **19 報告カード発行**
- **4x4 中間報告発表 （YRA のみ）**
- 25 早下校
- 26-27 勤労感謝の日*
- 30 全ての生徒の報告

2015 年 12 月
- 11 早下校/生徒評価日
- **17 中間報告発表**
- **AB 混合中間 /4x4 報告カード発行 （YRA のみ）**
- 18 冬休み前最終日
- 21-31 冬休み*

2016 年 1 月
- 1 冬休み*
- 4 全ての生徒の報告
- **4x4 中間報告発表 （YRA のみ）**
- 18 マーチンルーカスキングジュニアの日*
- 26-28 早下校/試験
- （YRA のみ –_____に試験なし）
- 29 学生休み
- Regional and Division-wide Staff Development

2016 年 2 月
- 1 第三四半期開始
- **5 報告カード発表**
- **4x4 Interim Reports Issued （YRA のみ）**
- 15 プレジデントデー*
- 26 早下校/生徒評価日

2016 年 3 月
- **3 中間報告発表**
- **AB 混合中間 /4x4 報告カード発行 （YRA のみ）**
- **4x4 中間報告発表 （YRA のみ）**

20164 月
- 1 早下校/生徒評価日
- 4-8 春休み*
- 11 学校再開/第四四半期開始
- **14 報告カード発表**
- **4x4 中間報告発表 （YRA のみ）**

2016 年 5 月
- 13 早下校/生徒評価日
- **19 中間報告発表**
- **AB 混合中間 /4x4 報告カード発行 （YRA のみ）**
- **4x4 中間報告発表 （YRA のみ）**
- 30 メモリアルデー休日*

2016 年 6 月
- 14=16 早下校/試験 （YRA のみ– 14th は試験なし）
- 16 学校最終日
- 16 卒業（YRA）
- 17 卒業 （YHS, GHS, BHS, THS）/生徒評価日
- **23 報告カード発表**

***学校および事務所閉館**

高等学校試験実施予定表

1月25日	Period 2AB
1月26日	Periods 1A & 1B
1月27日	Periods 3A & 3B
1月28日	Periods 4A & 4B
6月10日	Period 4A (Seniors Only)
6月13日	Period 2AB & Period 4B (Seniors Only)
6月14日	Periods 1A & 1B
6月15日	Periods 3A & 3B
6月16日	Periods 4A & 4B

4x4 コマ(YRA only)

1月27日	Periods 1 および 2
1月28日	Periods 3 および 4
6月15日	Periods 1 および 2
6月16日	Periods 3 および 4

オンライン高校

1 月 26 日	12:30～4 p.m.
1 月 27 日	12:30～4 p.m.
1 月 28 日	12:30～4 p.m.
6 月 10 日	2:30～4:30 p.m.
6 月 13 日	12:30～4 p.m.
6 月 14 日	12:30～4 p.m.
6 月 15	12:30-4 p.m. (if needed)

卒業日予定

2016年6月16日

6 p.m.	York River Academy	James Weldon Johnson Auditorium, Yorktown Middle School

2016年6月17日

9 a.m.	York High School	William & Mary Hall
12 p.m.	Grafton High School	William & Mary Hall
3:30 p.m.	Bruton High School	William & Mary Hall
7 p.m.	Tabb High School	William & Mary Hall

York County SCHOOL DIVISION

保護者および生徒の方へ:

2015～16年学年度へようこそ！

ヨーク群学区は学生が世の中に生産的で貢献できる技術や知識を身につけられるよう努力します。我々は学生、親、スタッフが、厳格な教育目的を達成する安全で生産的な学校環境で協力しあうことを信じています。***生徒手帳および行動規範***は我々のパートナーシップをサポートする情報および指針を提供します。

カレンダー、就業時間、ディレクトリ情報以外に、*生徒手帳および行動規範*では、学区指針の情報も、学区内で利用可能なプログラムの詳細も、完結に記載されています。さらにプログラムまたは指針について知りたい場合、学校の事務員に尋ねるか、学校のウェブサイトyorkcountyschools.orgをご覧ください。

***生徒手帳および行動規範*の大半は、学区の行動規範について記載されています。学区が生徒の行動に対して期待していることを理解するよう、本項目をお子様と熟読して下さい。**

生徒手帳および行動規範の空白部分は、親と学生が署名して完成させなくてはいけない3種類のフォームがあります。これらのフォームを、各フォームに示された日付までにお子様の学校に返却して下さい。

あなたとあなたのお子様にとって本学年度が成功し記憶に残るものとなることを祈っています。ヨーク群学区に貢献していただいてありがとうございます。
敬具

Victor D. Shandor, Ed.D.
学長

学校時間

稼働時間		
学校	**開始**	**終了**
Bethel Manor, Magruder, Mt. Vernon and Tabb Elementary	8:41 a.m.	3:21 p.m.
Coventry, Dare, Grafton Bethel, Seaford, Waller Mill and Yorktown Elementary	8:56 a.m.	3:36 p.m.
Queens Lake and Tabb Middle	8 a.m.	2:45 p.m.
Grafton and Yorktown Middle	8:05 a.m.	2:50 p.m.
Bruton, Grafton, Tabb and York High	7:20 a.m.	2:05 p.m.
York River Academy	8:25 a.m.	3:10 p.m.
事務所開館時間		
事務所	**開始**	**終了**
Elementary Schools	8 a.m.	4:15 p.m.
Middle Schools	7:45 a.m.	4 p.m.
High Schools	7 a.m.	4 p.m.
School Board Office	8 a.m.	5 p.m.

早下校 および 試験日程

早下校の時間
10月9日, 11月25日,
12月11日, 1月26～28日,
2月26日, 4月1日, 5月13日, 6月14～16日

学校	**早下校 時間**
小学校 (K-5)	
BMES, MES, MVES and TES	12:45 p.m.
CES, DES, GBES, SES, WMES and YES	1 p.m.
中学校 (6-8)	
QLMS and TMS	12 p.m.
GMS and YMS	12:05 p.m.
高校 (9-12)	
BHS, GHS, THS and YHS	11:20 a.m.
YRA	12:30 p.m.

Table of Contents

ページ
前書き i
開講時間 i
早下校および試験スケジュール i
改訂/生徒ハンドブックに追加 vii

生徒ハンドブック

別のプログラム ..... **Error! Bookmark not defined.**
出席 ..... **Error! Bookmark not defined.**
高校クレジットがない場合 2
賞と認知 2
自転車 2
児童虐待 3
児童捜索 ..... **Error! Bookmark not defined.**
インターネット保護法(CIPA) 3
インターネット保護法 (COPPA) 3
コンタクトレンズ ..... **Error! Bookmark not defined.**
カウンセリングサービス ..... **Error! Bookmark not defined.**
学習カウンセリング ..... **Error! Bookmark not defined.**
キャリアカウンセリング ..... **Error! Bookmark not defined.**
個人的／社会的カウンセリング 4
差別、ハラスメント、性的虐待（タイトル IX）法令 4
学校／オンラインで入手可能な文書 4
登録必要事項 ..... **Error! Bookmark not defined.**
家庭教育の権利およびプライベート法(FERPA) ..... **Error! Bookmark not defined.**
家族生活教育 6
費用 ..... **Error! Bookmark not defined.**
学費 7
芸術 7
募金 ..... **Error! Bookmark not defined.**
小学校 ..... **Error! Bookmark not defined.**
中学校 ..... **Error! Bookmark not defined.**
高校 ..... **Error! Bookmark not defined.**
写真および関連アイテム 7
公開 ..... **Error! Bookmark not defined.**
ギフテット教育 ..... **Error! Bookmark not defined.**
幼稚園～2 年生 8
3～7 年生 8
8～12 年生 8
ギフテット教育アドバイス委員会 ..... **Error! Bookmark not defined.**
学年 ..... **Error! Bookmark not defined.**
中間報告 8
四捨五入 8
小学校 ..... **Error! Bookmark not defined.**
中学および高校 ..... **Error! Bookmark not defined.**
コース終了時の SOL 試験免除 ..... **Error! Bookmark not defined.**
上級生免除 9
クラスランキング 10
ヨーク学区以外のコース ..... **Error! Bookmark not defined.**

校庭および施設の使用 ..... Error! Bookmark not defined.
健康サービス ..... Error! Bookmark not defined.
生徒スクリーニングの通知 ..... Error! Bookmark not defined.
毛じらみ ..... Error! Bookmark not defined.
病気／事故 ..... Error! Bookmark not defined.
投薬 11
脳震盪ガイドライン 11
エピネフィリンガイドライン ..... Error! Bookmark not defined.
てんかん管理ガイドライン ..... Error! Bookmark not defined.
家庭内での教育 11
家のない子供および青年 ..... Error! Bookmark not defined.
宿題の指針 12
ガイドライン ..... Error! Bookmark not defined.
評価 12
推薦標準時間 ..... Error! Bookmark not defined.
優等生表彰 12
小学校および中学校 ..... Error! Bookmark not defined.
高校 ..... Error! Bookmark not defined.
ホットライン番号 ..... Error! Bookmark not defined.
保険 ..... Error! Bookmark not defined.
指導教材 ..... Error! Bookmark not defined.
学校間の体育 ..... Error! Bookmark not defined.
図書館メディアセンター ..... Error! Bookmark not defined.
落し物 ..... Error! Bookmark not defined.
昼食 ..... Error! Bookmark not defined.
沈黙の時間 13
ネットワークサービス/インターネット使用指針(AUP) ..... Error! Bookmark not defined.
学区スタッフの責任 ..... Error! Bookmark not defined.
使用者の特権 ..... Error! Bookmark not defined.
使用者の責任 ..... Error! Bookmark not defined.
親権を持たない親の権利 16
非指導教材および配布 16
非差別 ..... Error! Bookmark not defined.
児童の権利保護法改訂の通知(PPRA) 17
学区外の出席 ..... Error! Bookmark not defined.
保護者リソース 17
親の大学 ..... Error! Bookmark not defined.
盗作 ..... Error! Bookmark not defined.
誓いの義務および愛国歌 17
携帯式コミュニケーションおよび私物電子機器 ..... Error! Bookmark not defined.
私物の技術持参 (BYOT) 18
一般的規則 18
私物電子機器の安全性における危険性 18
個人の移動手段 19
進級指針 19
記録 19
退校 21
休校 22
New Horizons Regional 教育 センター 22
学校報告カード 22
学校の安全および緊急事態 22

検索と保留 ..... **Error! Bookmark not defined.**
504 項のリハビリ法 1973 年 23
性的犯罪者の登録通知 ..... **Error! Bookmark not defined.**
特殊教育 23
早期特殊教育プレスクールプログラム 23
特殊教育アドバイサー委員会 ..... **Error! Bookmark not defined.**
保護者のリソースセンター 24
生徒の所有物 24
電話通知システム 24
電話の使用 24
試験および宿題 24
標準学習 ..... **Error! Bookmark not defined.**
英語学習者(ELLs) 24
標準達成試験(SAT 10) 24
大学入試試験 ..... **Error! Bookmark not defined.**
PSAT/NMSQT 25
Advanced Placement (AP)試験 25
国際バカロレア学位プログラム (IB DP) 25
軍サービス職業適性試験 (ASVAB) 25
州試験 ..... **Error! Bookmark not defined.**
学区試験 ..... **Error! Bookmark not defined.**
交通手段 ..... **Error! Bookmark not defined.**
安全性 28
バス停または学校までの歩行 28
バスの乗降 28
バスに乗車 ..... **Error! Bookmark not defined.**
スケジュールとルート 28
バス停 ..... **Error! Bookmark not defined.**
幼稚園の交通手段 29
バスの変更要請 ..... **Error! Bookmark not defined.**
スクールバスでの行動規範 29
違反 29
スクールバスの行動規範 29
学生外のバス乗車および／または遠足 29
特殊教育プログラムの交通手段 ..... **Error! Bookmark not defined.**
ビデオ集計 29
ボランティア ..... **Error! Bookmark not defined.**
学校訪問 30
歩行通学 30
退学 30
就労許可 ..... **Error! Bookmark not defined.**

小学校

小学校指導プログラム ..... **Error! Bookmark not defined.**
英語、リーディング 31
英語、ライティング 31
数学 31
歴史／社会科学 ..... **Error! Bookmark not defined.**
科学 31
リソースクラス ..... **Error! Bookmark not defined.**
芸術マグネット - Waller Mill Elementary 31

数学、科学および技術マグネット - Yorktown Elementary 31

中学および高校

学位プログラムおよび認識 ..... Error! Bookmark not defined.
コミュニティーサービスプログラム ..... Error! Bookmark not defined.
優等生プログラム 32
中学芸術マグネット ..... Error! Bookmark not defined.
国際バカロレア学位プログラム 32
芸術学校 33
バージニア学習プログラム 33
York River Academy 33
取得学位 33
クラブおよび活動 ..... Error! Bookmark not defined.
運転および駐車 ..... Error! Bookmark not defined.
卒業必須項目 ..... Error! Bookmark not defined.
社会学位の必要項目 ..... Error! Bookmark not defined.
資格プログラム完了の必要項目 34
一般教育部(GED)資格 ..... Error! Bookmark not defined.
(GAD)一般学位（GAD） 34
期待 ..... Error! Bookmark not defined.
認定履修単位 35
追加情報 ..... Error! Bookmark not defined.
学位シール 36
ソーシャルネットワークおよびウェブリソース ..... Error! Bookmark not defined.
制服 ..... Error! Bookmark not defined.

学生行動規範

保護者への言葉 ..... Error! Bookmark not defined.
生徒の権利 ..... Error! Bookmark not defined.
生徒の責任 ..... Error! Bookmark not defined.
良き市民 40
保護者の権利および責任 41
行動規則違反とその結果 ..... Error! Bookmark not defined.
導入 ..... Error! Bookmark not defined.
違反の結果 ..... Error! Bookmark not defined.
法律執行官への報告義務 ..... Error! Bookmark not defined.
違反と罰則の範囲についての表 44
導入 ..... Error! Bookmark not defined.
違反と罰則の範囲についての表 47
違反の対処法および出頭の権利 ..... Error! Bookmark not defined.
必要過程 ..... Error! Bookmark not defined.
性質 59
停学 ..... Error! Bookmark not defined.
停学の必要過程 60
退学 60
退学の必要過程 60

補遺

補遺 A - 学校指針 GB, E 雇用均等/非差別 ..... Error! Bookmark not defined.
補遺 B - 学校指針 GB-F 差別の報告 ..... Error! Bookmark not defined.

補遺 C - 学校指針 GBA/JFHA,ハラスメントと報復の防止 ..... **Error! Bookmark not defined.**
補遺 D - 学校指針 GB-F/JFHA-F ハラスメント報告書 ..... **Error! Bookmark not defined.**

Forms

動物解剖 ..... **Error! Bookmark not defined.**
家族生活教育 71
情報開示 71
ディレクトリ情報 71
軍採用 ..... **Error! Bookmark not defined.**
メディア／ウェブサイト／学区公開 ..... **Error! Bookmark not defined.**
生徒のネットワークサービス／インターネット使用指針（AUP） 71
保護者受取書 ..... **Error! Bookmark not defined.**
家庭生活教育フォーム ..... **Error! Bookmark not defined.**
生徒／保護者技術使用フォーム 74

2015～16 年 改訂/追加

新しく追加または改訂箇所についての参照

ページ	改訂のタイプ	ハンドブックセクション
i	改訂	歓迎レター、学校時間、早下校および試験日程
3	改訂	自転車
4	削除	登録必要事項、1B 番および番号付け替え
5	改訂	登録必要事項、1E 番
8	改訂	成績、中間報告
10	改訂	校庭および施設、使用
12	改訂	宿題の方針、ガイドライン、4 番
14	改訂	ネットワークサービス／インターネット使用方針（AUP）、学区スタッフの責任、7 箇条
16	最新化	非差別、タイトル IX コーディネーターのポジション
17	削除	登録開始
17	改訂	学区外への出席 1～3 項
18	改訂	携帯電話の使用および私有物の電子機器、第 1 項第 1 条
18	削除	携帯電話の使用および私有物の電子機器、一般規則、1～4 まで番号付け替え
22-23	改訂/削除	休校、見出し第 1、2、3 項
25	改訂	電話通知システム、見出し第 11 項
27-28	最新化	テストおよび試験の日程
31	削除	y-ライン(Email 通知システム)
32	改訂	小学校、小学校指導プログラム、科学/健康、見出しおよび 1 文目
32	改訂	小学校、小学校指導プログラム、リソースクラス
34	改訂	中学および高校、学習プログラムおよび認識、コミュニケーションサービスプログラム、ヘッドおよびセクション 1
35	改訂	中学および高校、学習達成、高校、1 番
38	改訂	中学および高校、ガバナーシール、学位シール、卒業必須要綱
42-43	改訂	学生行動規範、生徒の責任、10 項目、学校での適切な服装
46	改訂	学生行動規範、行動規則違反とその結果、導入および 2F 番
47	改訂	学生行動規範、行動規則違反とその結果、違反の結果 4、5 番
47	改訂	学生行動規範、行動規則違反とその結果、法律執行の報告書第 1 条 3 項目、第 2 乗
47	削除	学生行動規範、行動規則違反とその結果、ある種の環境課での生徒の退学
48	改訂/削除	学生行動規範、違反と罰則の範囲についての表、導入 2 項
49	改訂	学生行動規範、違反と罰則の範囲についての表、違反番号 1、アルコール–使用、保持、および／または販売／配布
49	改訂	学生行動規範、違反と罰則の範囲についての表、違反番号 2、放火
50	改訂	学生行動規範、違反と罰則の範囲についての表、違反番号 5、イジメおよびネットでのイジメ 1 項および 3 項
51	改訂	学生行動規範、違反と罰則の範囲についての表、違反番号 7、違反行為/不順守、違反コード D4C
52	改訂	学生行動規範、違反と罰則の範囲についての表、違反番号 8、ドラッグ違反、1 および 2 項、違反コード DG5、DG6、DG7 および追加で“注”)
54	改訂	学生行動規範、違反と罰則の範囲についての表、違反番号 13、ギャング活動、バージニア法参照

Page	改訂のタイプ	ハンドブックセクション
54	改訂	学生行動規範、違反と罰則の範囲についての表、違反番号 17、暴動
55	改訂	学生行動規範、違反と罰則の範囲についての表、違反番号 20、強盗
56	改訂	学生行動規範、違反と罰則の範囲についての表、違反番号 22、性犯罪、違反コード SX2、性犯罪生徒への接触は最小限にする、罰則の結果の変更
58	改訂	学生行動規範、違反と罰則の範囲についての表、違反番号 25、盗み
58	改訂	学生行動規範、違反と罰則の範囲についての表、違反番号 27、タバコ、電子タバコの違反、ヘッドと 1 項
58	改訂	学生行動規範、違反と罰則の範囲についての表、違反番号 28、不法侵入
59	改訂	学生行動規範、違反と罰則の範囲についての表、違反番号 30、武器
61	改訂	学生行動規範、違反の取り扱いおよび出頭の権利、裁判所出頭
61	改訂	学生行動規範、違反の取り扱いおよび出頭の権利、執行猶予および学校クラブや体育に参加する特権の廃止
61	改訂	学生行動規範、違反の取り扱いおよび出頭の権利、必要手続–停学、4 番、総務の確認
62	追加	学生行動規範、違反の取り扱いおよび出頭の権利、ある状況下での退学
62	追加	学生行動規範、違反の取り扱いおよび出頭の権利、ドラッグ違反での退学
64	最新化	補遺 A、GB 雇用の機会均等／非差別、指針の通知/防止、苦情手順、C 項、管理官による行動 3 項
64	最新化	補遺 A、GB 雇用の機会均等／非差別、通知指針／防止、苦情手順、E 項、苦情管理官および苦情管理官に代わるもの
70	最新化	補遺 C、学校指針 GBA/JFHA、ハラスメントおよび報復に対する執行猶予、セクション III。苦情手順、苦情管理官
73	改訂	家庭生活教育フォーム 2 項
75	最新化	保護者受取書
76-77	削除/改訂	家庭生活教育フォーム
78	最新化	生徒／保護者技術使用フォーム

特別通知:

本ハンドブックには多くの見出しがありますが、これは項目または教育委員会方針のサブ項目について示すものです。これらの表記はご両親と学生に各主題の背景情報を提示するものです。本学区の全文はyorkcountyschools.orgより入手可能です。「教育委員会」のリンクをクリックし、「ポリシー」のリンクから情報を入手してください。ご両親および／または学生が、手帳に記載してある指針または手段に対し特別な質問がある場合は、学校の職員にその懸念をご相談ください。教師、学校のカウンセラー、アシスタント長、および校長は質問および懸念に応える責任があり、学校内でいつでも相談可能です。

生徒ハンドブック

別のプログラム

参照: School Board Policy IGBG IGBGA and IGBH

ヨーク群学区はいくつかの別プログラムを用意しています。学生は学区の監督者の許可または推薦により割り付けられる可能性があります。

中高生で、Virtual High School、Enterprise Academy、他の大人向け教育プログラムに登録する事も可能です。Enterprise Academy で卒業の必須科目を修了してヨーク群学区の学位を取得します。

出席

参照: School Board Policy JEC JED and IUY

Virginia §22.1-254 法はすべてのご両親、保護者、又は 5 回目の誕生日を 9 月 30 日までに迎え、18 回目の誕生日を超えない児童の担当または管理をする公益団体の者に対し、児童に、公立学校がセッション中の各年の期間中、および公立学校と同日数および各同時間において、公立学校または特定宗派の私立学校または教区立学校に通わせるか、学区の監督者が承認した家庭教師または教育委員会の資格を有する教師により教育するか、児童に家庭教育を行うことを要請しています。

Virginia §22.1-254 法に従って、家族の緊急事態における疾患または死亡が起こらない限り、学生は毎日学校に通うこととされる。医師、歯科医、または個人的契約は、一日休み、半日休み、または学校時間終了後に可能な場合は行うものとします。患者／保護者は休む場合は学校に通知（24 時間以内）します。正当な休みの理由は、家族の疾患や死亡、医師または歯科医の予約（学校がない時間帯にスケジュール出来ない場合）および／または例外的環境が校内により決定される場合とする。No Child Left Behind 法基づき、標準学習テストを連邦法に基づき実施します。

過度に酌量されるべき環境においてのみ考慮されるが、これらの予定されたテストの日に休むことは避けてください。他の理由においてはいかなる場合も休んではいけません。学生が通算 10 日以上休む場合は医師の通知が必要となります。各休みに対し、少なくても 1 日の埋め合わせを行うことが許可されています。学生が宗教の休日のために休む場合、欠席は許可され記録されます。学生は、宗教の休日のために休んだために、賞、資格、または賞や権利の機会を競う、または別の試験を受ける権利を失うことはありません。

埋め合わせの勉強を申請する場合、保護者は教師が宿題の準備をするために 24 時間前に通知しなくてはいけない。各休みに対し、少なくても 1 日の埋め合わせを行うことが許可されている。埋め合わせを期限までに完了しない場合、学生は課題に対して低いグレードを受けることになります。学生は正式な理由がないまたは遅刻のためには、日常の勉強や小テストの埋め合わせをすることは許可されていません。理由のない休み期間に発生した期限内の宿題については履修することができます。エッセイ、読書感想文、プロジェクト、テスト、および学期末テストなどを含みます。*Virginia* §22.1-258 に従って、学校は生徒の家に電話で欠席の確認をすることがあります。保護者は学校に、生徒が欠席または遅刻する場合は知らせるようにお願いします。

裁判所に出頭、または病院の予約は学生が学校に戻るとすぐに教師にその証明書を提出してください。

裁判所に出頭、または病院の予約は学生が学校に戻るとすぐに教師にその証明書を提出してください。*Virginia* §22.1-258 に従って、6 回以上の理由のない欠席をした場合、ヨーク群児童家庭裁判所に訴訟をすることになります。裁判所に行く場合、公立学校を 10 日連続休むことで運転免許の停止をする場合もあります（*Virginia* §46.2-334.001）。

州法に従い、15 日連続休んだ場合、出席簿を中止します。

学生が 5 回理由なく休んだ場合、学校は親／保護者に書面により通知をします。5 回の理由のない欠席をした場合、学区の出席管理者と面会し、さらに理由なく欠席をした場合、管理者および親／保護者は生徒の出席を改善するプランに参加していただきます。理由のない欠席が続く場合、親／保護者は裁判所に行くことになります。親／保護者は親／保護者が除外されるべきであると考える欠席については教師と話し合って下さい。このような場合、教師は最終的に休みが正当であるかないかを判断します。

遅刻-学生はクラスの初めに時間通りに来ることとされています。学生は親または保護者から遅刻の理由について記した手紙にサインをして出席管理室の遅刻届を確保します。遅刻の理由が正当であるかないかは、学校の総務が決定します。

途中退校-途中退校について親または保護者の通知をオフィスで署名して外出を記録し、戻った時に署名して返却してください。学生が通常の学校時間に学校外出する場合、親／保護者は、学校の事務所に報告してください。

欠席が高校の履修に及ぼす影響

ブロッククラス

- 1 つのクラスを 8 日以上クラスを休むことは超過だと考えられます。
- クラスを 5 日休んだ場合（半分の履修単位のクラスの場合 2 日）、学校は親または保護者にメールで通知を送ります。
- 休みが 8 日（半分の履修単位のクラスでは 4 日）に達した場合、親または保護者にメールで 2 回目の通知を送ります。
- 8 日以上の休みに対する埋め合わせは、酌量できる状態が文書により記載されている場合においてのみ許可されています。以下の場合が酌量ある状態となります。
  1. 教師の承認を得た事前の休み
  2. 家に影響がある自然災害（火災、洪水など）
  3. 最近の直近の毛杖関係の家族の死
  4. .医師の通知のある重要な病気、または直近の血縁関係の家族の病気

.

- **過度の休みに対して埋め合わせが出来ない場合は、グレードは下がり、高校の単位不履修につながります。**
- 同じクラスで理由のない遅刻は 1 回の理由のない休みとみなされます。

1 回の学期における (非ブロック)クラス

- • 1 つのクラスを 15 日以上の休むことは過度と考えられます。
- クラスを 10 日以上の休んだ場合（または 1 学期で 4 日）、学校は親または保護者にメールで通知を送ります。
- 休みが 15 日（または 1 学期に 7 日）に達した場合、親または保護者に 2 回目の通知を送ります。
- 15 日以上の休みに対する埋め合わせは、酌量できる状態が文書により記載されている場合においてのみ許可されます。以下の場合が酌量ある状態となります。
  1. 教師の承認を得た事前の休み
  2. 家に影響がある自然災害（火災、洪水など）
  3. 最近の直近の毛杖関係の家族の死
  4. .医師の通知のある重要な病気、または直近の血縁関係の家族の病気

過度の休みに対して埋め合わせが出来ない場合は、グレードは下がり、高校の単位不履修につながります。

- 同じクラスの 3 回の理由のない遅刻は 1 回の休みとみなされます。

賞および認定

小学生はすべて、クラス内、成績、学校、群、州、および国家活動を達成する事により、学年内で認定を集める機会があります。各クラスルームにおいて、年間をとおした活動、プログラム、および競争についてのお知らせが適時あります。学生は各学校で賞を集めて認定されていきます。中学に進級するグレード 5 の生徒は Presidential Award for Educational Excellence を受賞します。この賞を受賞するには GPA3.5 および標準達成テストの合計スコアが 85 パーセンタイル以上です。

中高生では、卓越した達成は、各学校および学区の賞システムにより推奨され認識されています。学問、視覚芸術や芸術作品、仕事/技術分野、市民活動（リーダーシップ）、体育は、資格、メダル、トロフィー、ピン、学位シール、および/または同様の賞によって表彰されます。学生の特別な達成については、お知らせ、集会、またはパーティーなどを行います。

奨学金は中学校後に卒業する上級学生が積極的に応募可能です。プログラム、活動、競争は各学校で案内があります。以下のリストは賞および認定の例です。

- 学問の挑戦
- 数学コンペ
- コンピュータへの挑戦
- 奨学金競争
- 全米名誉協会
- オデュッセオブザマインド
- 仕事/技術教育のコンペ
- 芸術
- 弁論会
- 化学フェア
- 学生委員
- 討論会
- 一芸
- ボーイスカウトおよびガールスカウト
- 体育

自転車

ヨーク群教育委員会は許可していますが、学生が自転車で通学することは推奨していません。自転車は Bethel Manor Elementary、Coventry Elementary、Mt. Vernon Elementary 、Grafton Middle 、Queens Lake Middle および Tabb Middle で保護者が文書による許可をこれらの学校の教師に提出した場合にのみ許可されます。

児童虐待

18 歳までの児童に対する家での虐待から法律で保護されています。「他の教師または他の公立および私立学校職員」は児童虐待および放置の疑いについて報告する必要がある、とされています。学校職員は児童保護サービスに家庭を報告しなくてはいけません。その後社会福祉事務所が家庭を調査します。社会福祉事務所により親が適切に児童を扱っていないと判断された場合、この状況を改善するため補助をしようとします。この法律の主な目的は児童虐待または放置に対して罰するためのものではなく、なくすためのものであるため、生徒および保護者がこの法律について知っておくことは重要です。学生は虐待または放置であると思う場合、カウンセラー、教師または学校職員に報告するべきです。

.

児童捜索

参照:8VAC20-81-50

Child Find は個別障害者教育法（IDEA）の一部です。ヨーク群学区は現在進行形および継続している手法で教育を実施し、その目的は居住しているまたは親が私立（ホームスクールまたは家庭教師）に通わせている、早期介入または特別教育および関連サービスの必要がある生徒 2～21 歳の児童を特定、検索、および評価することである。YCSD では発育の遅延または障害が疑われる児童にスクリーニングおよび／または評価を提供しています。詳しい情報については児童の近隣の学校の総務にお尋ねください。

インターンネット保護法（CIPA）

子供をインターネットから保護する法律（CIPA）は国の法律であり、学校または図書館から不適当な内容の情報にアクセスすることを規制しています。この法律は、U.S.の教育庁 E-rate から出資を得ているすべての学校に適用されます。YCSD は、危害があるものから軽微なものまで適切でない内容をインターネットからフィルターにかけるソフトウェアを備えています。

インターンネット保護法（COPP）

子供をインターネットから保護する法律（CIPA）は国の法律であり、学校または図書館から不適当な内容の情報にアクセスすることを規制しています。この法律は、U.S.の教育庁 E-rate から出資を得ているすべての学校に適用されます。YCSD は、危害があるものから軽微なものまで適切でない内容をインターネットからフィルターにかけるソフトウェアを備えています。

コンタクトレンズ

コンタクトレンズ使用の安全性を守るため、学生がコンタクトレンズを使用する場合は学校に通知してください。親は学校のクリニックに書面により新生徒の登録時に通知し、在校生の場合は最初の週の内に、または生徒がコンタクトレンズの使用を始めたらすぐに通知してください。

カウンセリングサービス

参照: School Board Policy IKB

ヨーク群学区では、親が生徒の第一の教師であり、公立学校は親を支持し家族を強めるよう主張しています。ヨーク群学区は幼稚園から 12 グレードまでのすべての生徒にカウンセリングサービスを提供しています。カウンセラーは保護者および学校の職員と親密、生徒が学習する障害を見つけ出し取り除くよう働きます。保護者の方は。学校のカウンセラーと連絡を取り、懸念や子供の学校での経験、又は子供の問題に関連したことについて話し合うことをお勧めします。学校のカウンセラーが提供している 3 つの分野のサービスは、学習事項、キャリア選択、個人的／社会的な課題についてです.

学習カウンセリング

学校カウンセラーは、選択可能なカリキュラム、学習プログラムのプラン、学術テストの準備および解釈、卒業後の学問の選択について生徒および保護者の手助けをします。ヨーク群学区の 10 年生の生徒は、Preliminary Scholastic Aptitude Test/National Merit Scholarship Qualifying Test (PSAT/NMSQT)を受けることを推奨されています。テストは、必要費を修めて登録している生徒に対し通常の学校の日に行われます。PSAT/NMSQT は、数学、およびスピーキングについての優れたフィードバックを行い、これらの重要な科目について、学生に無料でスコア報告書を提供します。PSAT/NMSQT のスコアは 2 年生のうちに受けた学生にはカウントされません。1 年生でも、必要費用を払い登録し PSAT/NMSQT を再受験する事も可能です。この試験で 1 年生のうちに良好なスコアを出した学生は、National Merit Scholarship Program が

適格になります。これは corporate-sponsored program で、大学や大学レベルのプログラムを提供しているところです。NMSQT の準決勝者は決勝認定および奨学金賞を PSAT/NMSQT のスコアと同等の SAT スコアに基づいて受けることが可能です。本プログラムの更なる情報については、中学または高校のカウンセラーまでお問い合わせください。

キャリアカウンセリング

カウンセリングサービスは、仕事や訓練ついての行動計画を立て、卒業後の教育や仕事の機会についての情報を取得するために役立ちます。学生は 6～11 年生の間に、様々なキャリア探索活動に参加し、職業興味調査および職業評価を行います。さらに学生は、キャリア選択の探求についての機会が提供されます。学生が強みを生かしてキャリア目標を立てられるよう手伝います。

- キャリアメンター精度は、高校および中学で世界の仕事の経験したい学生対象に開校されているクラスの一つです。メンタープログラムにより、有資格の学生はキャリア興味の分野で働く地域メンバーと組み合わせすることができます。非営利の仕事ベースの経験をすることにより、知識を適用し、スキルを向上し、および労働倫理を理解する事ができます。メンター制度は高校の教師によりコーディネートされています。

個人的/社会的カウンセリング

カウンセリングにより、生徒が自分自身、他人の権利と必要性についての理解を深め、悩みを解決する方法、個人の興味、能力、および才能を決定するための個人の目標を設定するのに役立ちます。このようなカウンセリングは、社会開発の包括的問題が提唱されているグループ内に対して、または個人的または小グループを介して、複合セッションのカウンセリングで参加者固有の懸念に焦点をあてて提供されます。

年間をとおして、親／保護者は児童の学校に、カウンセリングスタッフが提供する資材や討論について検討するために連絡することが可能です。学年度を通して、親／保護者が児童の個人的／社会的カウンセリングサービスを要請する場合、書面により生徒の学校の教師に提出しなくてはいけません。

差別、ハラスメント、性的虐待（タイトル**IX**）法令

ヨーク群教育委員会は教育環境および職場における、差別、ハラスメント、性的虐待を禁止しています。教育委員会法令の、GB、GB-F、GBA/JFHA、GB-F/JFHA-F は本誌に補遺（補遺 A 補遺 B）として添付してあり、学区の報告および苦情の取扱いについての公約および手順の要約が示されています。

学校/オンラインで入手可能な一般的関心の文書

- 方針マニュアル(yorkcountyschools.org)
- ギフテット教育プラン(yorkcountyschools.org)
- 学習プログラム(yorkcountyschools.org)
- 家族生活教育(ヨーク群学区)
- 認定されたレポート(yorkcountyschools.org)
- アスベスト検査報告書および管理計画-AHERA40CFR、Part763(School)
- 学校改善計画(学校)
- 危険有害性周知基準(学校)
- 承認済み年間予算(yorkcountyschools.org)
- 資本的支出予算(yorkcountyschools.org)
- 学校所有物の有害生物の管理 *Virginia* §22.1-132.2(学校)
- 学校におけるラドン検査 *Virginia* §22.1-138(学校)

これらの文書はすべて要請すればすぐに公的に入手可能です。

登録必要事項

参照: School Board Policy JEC

親または生徒の保護権のある他の大人は、ヨーク群に 2 種類の住居証明を提出しなくてはいけません。*Virginia* §22.1-264.1 によると、児童の住居についてある学校区または学校の出席地区について、故意に嘘の供述をした場合、その目的が学費または登録区外に住んでいる学生を登録させるためで会った場合、クラス 4 の軽罪に値します。

1. ヨーク群学区に初めて入学する学生はすべて以下の書類を提出してください。
   A. 出生届（出生届原本または非 US 市民の場合他の代理文書）

   B. 健康診断を受けた証明書はプレキンダーおよび小学校入学前に必要です（*Virginia*、§22.1-270）。健康診断は、公立のプレキンダー、キンダー、および小学校入学時期の 1 年以内のものが必要です。健康診断は資格のある医師、資格のあるナースプラクティショナー、または資格のある医師アシスタントが有資格の医師のもと実施する。
   学校の入学における予防接種フォーム（*MCH213G2010 年 10 月改訂*）をヨーク群学区、ペニンシュラ保健部門、医療クリニック、軍医院、または YCSD のウェブサイト yorkcountyschools.org から入手してください。

C. バージニア州法で要請されている処方用量のワクチンを接種した証明書が必要です。以下のリストは摂取の最低濃度です。

1) DTP または DTaP をすべての新生徒（幼稚園から 12 年生まで）に対して（4 つの内 1 つを投与／4 回目の誕生日以降）
2) 小児麻痺（ポリオ）（OPV/IPV）をすべての新生徒（幼稚園から 12 年生まで）に対いて（4 つの内 1 つを投与／4 回目の誕生日以降）
   注:3 回目の投与が 4 歳以上の場合で最終投与から 6 ヵ月以上経過している場合、4 回目の投与は必要ではありません。
3) *はしか 2 回（最初の投与／月齢 12 ヵ月以降）
4) *風疹 1 回（月齢 12 ヵ月およびそれ以降）
5) *おたふくかぜ 2 回（最初の投与／月齢 12 ヵ月以降））
6) B 型肝炎ウイルス 3 回（11～15 歳の間に Merck adult formulation を 2 回）
7) 感度の高い生徒には水疱瘡 2 回（1 回／月齢 12 ヵ月以降、2 回目／幼稚園入学前）
8) 6 年生以降のすべての生徒は破傷風のワクチン接種を以前行ったかどうか、または最後の投与からの期間に関わらず Tdap を 1 回接種する必要があります。6 年生以前に文書による Tdap 投与の証明がある場合、追加投与は必要ありません。すべての新 6 年生から新 12 年制は Tdap を 1 回投与する必要があります。

***注:** はしか、おたふくかぜ、風疹は 2MMR（1 回目／月齢 12 ヵ月、2 回目／幼稚園入学前）を満たしている必要があります。*

予防接種が完全に終了していない生徒は条件付きで入学することが、*Virginia* 22.1-271.2.B に従って許可されており、親または保護者は登録時に生徒が必要な予防接種を 1 回以上は摂取していることを文書により示し、残りの予防接種を登録から 90 日以内に完了させる予定を書面により示さなくてはいけません。保護者は 90 日以内に必要書類を提供しなかった場合、生徒は退学になります。

Tdap は単回投与で何度も投与する必要はないため、90 日の猶予期間は Tdap の追加投与の必要項目には当てはまりません。

D. 健康診断および予防接種の免除:

1) 予防接種が生徒の健康にその時には有害な影響を与えるため、後で予防接種をする計画になっていることが医師の文書により示されている場合、医学的原因により免除されます。
2) 宗教事情による免除は、保護者の署名と「宗教事情による免除 FormCRE-1」に認証されている文書が必要です。

E. 保護者または児童の管理権利がある大人がヨーク群に居住している文書による証明が必要です。文書はヨーク群の住人である証明には、光熱費会社の文書、銀行明細書、自動車、家主、賃貸の保険証券、賃貸契約書、または賃貸証明、家主からの認証レター、財産税、住宅ローン証明、エスクロー実行日などの文書が必要です。親または生徒の保護権のある他の大人は、ヨーク群に 2 種類の住居証明を提出しなくてはいけません。*Virginia* §22.1-264.1 によると、児童の住居についてある学校区または学校の出席地区について、故意に嘘の供述をした場合、その目的が学費または登録区外に住んでいる学生を登録させるためで会った場合、クラス 4 の軽罪に値します。

F. McKinney-VentoAct2001 年に基づいて、家がないと特定された学生はヨーク群学区に入学することが認められています。登録資料を入手するためのお手伝いをします。

G. 交換留学生はヨーク群学区に適切な書類を提出することでヨーク群学区に入学することが許可されています。外国の生徒が US の学校に参加したい学生は移民税関執行局（ICE）に登録しなくてはいけません。詳しい内容は学校の総務（833-7001 まで連絡してください。

H. .§22.1-3.4 に従って地域社会サービス代理店により里親に出された生徒は、地社会サービス代理店が登録に必要な文書を作成不可能でも、すぐに登録されます。このような場合、知りうる限り（i）生徒の年齢（ii）§22.1-3.2（生徒の学校の状態）に基づいた必要事項遵守（iii）生徒が健康状態良好で伝染病や感染病にかかっていないことについて登録のために文書を提出するものとします

I. 2009 年 7 月 1 日、バージニアは軍の「児童における教育体制州間協定」（§22.1-360）を制定しました。この協定は軍関係の家族の児童が、教育記録を前の学区からの移動させる

ことが難しいまたは種々の書類が入学に必要なため不利な状況に陥らず速やかに登録するためのものです。本協定に従って、軍関係の家族の児童は、予防接種の文面なしに直ちに登録し、州は登録日から 30 日以内に取得することを要請しています。本契約は児童の健康診断については該当しません。

2. 幼稚園に入学する児童は、登録した年の 9 月 30 日までに 5 回目の誕生日を迎える者とします。
3. バージニア州法§22.1-3.2 の要請により、登録に当たり、生徒が公立または私立の学校から、武器、酒、ドラッグ、または他人を故意に傷つけるなどに関連した違反により追放されたことがあるかについての誓約または断言について文書を取得することができます。

家庭教育の権利およびプライベート法(FERPA)

家族教育権（FERPA）（20U.S.C.§1232g:34CFRPart99）は、生徒の教育履歴のプライバシーを保護する国家法律です。この法律は US 教育省から出資を受けているすべての学校に該当します。

FERPA は保護者に児童の教育履歴についての一部の権利を与えています。これらの権利は学生が 18 歳になった時点または高等教育より上級の学校に通う時点で学生にも与えられます。学生でその権利を授与した者は「適格生徒」とされます。学校は学校教育歴を保護者や適格学生で 18 歳以上または独立している学生に対し内国税法 1954 年の 152 項に基づき、適格生徒の同意なしで開示する可能性があります。18 歳の傷害児の保護者は法律的に無能または不適格である証明を提供する権利を保持しています。

家庭教育

家庭教育プログラムは幼稚園から 12 年生までの生徒に対しバージニア州教育省の設定した目標を達成することにより設計されています。

本プログラムは学校および公立図書館で保護者の方に入手可能となっています。保護者で児童を家庭教育プログラムを一切行わない場合は本ハンドブックに添付されているフォームを記載してください。

費用

参照: School Board Policy JN

• 学費

参照: School Board Policy JN

- 国際バカロレア（IB）試験
  機構が決定した費用
- アートのクラス
  1 年($15)、1 学期（$7.50）―返金なし
  9 週間（$5）中学のみ―返金なし
- ドラマのクラス
  中学のみ―1 年（$15）、学期（$7.50）、9 週間（$5）―返金なし
- 職業／技術教育
  1 年（$15）、学期（$7.50）
  9 週（$5）―返金なし
- 装置レンタル
  中学および高校（$30）―返金なし
  *(**注:**中学のみ―楽団長の指導開始後返金なし)*
- 楽団ユニフォーム
  高校（$20）―返金なし
- 体育
  中学―各$50 で$100 まで
  (3 学期目は無料)
  中学―各$60 で$120 まで
  (3 学期目は無料)

- **駐車場**
  高校—1 年($100)、
  学期($50)—返金なし

注:

- 費用は通知することなく変更される可能性があります。
- 学校はチェックで支払い可能です。
- .教科書を紛失した場合、再調達費用がかかり、本を損害した場合は損害に対して支払わなくてはいけません。
- .ロッカーの鍵の紛失および／またはロッカーを損傷した場合は、再調達費または修理費がかかります。
-

学生が職業／技術または芸術のコースを選択しプロジェクト費用がさらに掛かる場合、生徒は追加費用およびプロジェクト費用を支払うことで参加できます。

- ステージでパフォーマンスする楽団、合唱部などの特殊グループは、個人で装備費を調達する必要があります。
- 支払費用の免除またはスケジュール変更は状況によって考慮されます。申し込む場合は必要事項についての書類を校内の教師に提出してください。
- 1 月 1 日以降に登録する生徒は学期のクラス費用を除いた全額の 50%です。
- 図書館の本で貸出期限が切れたものに対しても支払を命じます。
- 職業／技術クラスを選択する生徒は、資格代理店が設定している資格受験必要費用を支払う必要があります。

更なる詳しい情報は児童の学校に問い合わせてください。

消防車専用車線

駐車場に消防車専用車線はありません。緊急時において、ヨーク群学区の前にある消防車専用車線に救急車や消防車を無償で使用できます。消防車専用車線は黄色および／または駐車禁止というサインでしめされています。生徒の乗降を運転手が補佐するスクールバスのみが消防車専用車線に注射できます。**消防車専用車線に注射することは法律違反であり安全性の妨害に繋がります。**

芸術

美術教育は総合教育プログラムの一環として行われます。美術の教師は直接生徒のグループと作業を行い、また相談の上で他の教師とも関わり合いながら芸術活動を補あのカリキュラムにおいても行っていきます。生徒は多くの芸術の形、メディア、ツール、技術などを学びます。

募金

参照: School Board Policy DCGY

学校のクラブや組織の作動または維持に貢献するとされる活動に対し、募金活動が行われています。

募金は内部および外部のものに分けられます。内部募金は学校の敷地内または学校いがいの代わりの場所で行われる活動です。外部募金は地域で行われるものと定義されます。学生は学校の所有物、自分の所有物、または学校外の組織のものを売ってはいけません。バージニア州公立学校の基準法 Standard D-18 によると、募金の募金活動は小学生による戸別訪問は禁止されています。

小学校

内部の募金活動のみに限定されています。内部募金は教師の判断または慎重な決断に基づいて実施されます。小学校では外部での募金活動は実施しません。

中学校

中学校の募金活動は教師の判断または慎重な決断に基づいて実施されます。
外部の募金活動は 1 年間に各学校で 1 回と決められています。

高等学校

内部募金は教師の判断または慎重な決断に基づいて実施されます。
外部募金は各学校で 1 年に 1 回と決められています。この規制は学校プログラム、イベントプログラム、卒業アルバム、および／またはパフォーマンスの広告活動等は除外されます。さらに、各組織または各クラブが学年ごとに実施する外部募金活動に 1 回以上参加していない教師の承認済みのクラブおよび組織は含まれません。

.

写真および類似項目

写真または類似品の生徒に対する販売は、生徒や保護者へのサービスと同様内部の募金活動と考えています。宣伝については低い価格で提示をしなくてはいけません。また価格提示については正式に秘密事項として受理されなくてはいけません。契約は価格と同様に高い品質のサービスに基づいて契約します。しかし、どのベンダーも「専属サプライヤー」には指名しません。学校から保護者および生徒に対しプロジェクトが募金であり希望であれば他から購入する事もできることを断定的で全面的に開示を行います。開示には学校がどれだけ保有するかおよびこれらの募金を何に使うかを開示しなくてはいけません.

公表
アルバム、新聞、記事または他の学校の出版物は印刷の費用がかかります。費用は学校ごとに異なります。追加で費用が必要となった場合、印刷の基本費用に加え、募金プロジェクトとなることを考慮しなくてはいけません。このような場合、教育委員会がこのような活動に対する教育委員会の指針に従う必要があります。
.

ギフテット教育

参照: School Board Policy IGBB
ヨーク群学区では、幼稚園から 12 年生までの生徒で、一般教育において高い可能性を秘めている、および／または能力があり高いパフォーマンスを行うことができる生徒を選出します.

K-2 年生
ギフテット生徒は幼稚園の春および 1 年生、2 年生を通して選出します。選出された生徒は primaryenrichedprogram（PEP）に参加することができます。幼稚園の PEP 生徒は本学区の教育センターにおいて学校生活において各春の間特殊セミナーに参加します。1 年および 2 年目の PEP 生徒はホームスクールから週 1 回 PEP クラスに参加するため EXTENDED センターに通います。PEP の教師は各分野に及ぶ活動および多くの機会を特定された生徒に与えます。

3〜7 年生
3〜5 年性のギフテット生徒はホームスクールから週 1 回 EXTENDED センターで小学校のキャンパス内にある EXTENDED プログラムに参加するため通います。6〜7 年生のギフテット生徒はホームスクールにおいて毎週ギフテット生徒教育教師に面会します。すべての選出されたギフテット生徒の勉強内容は、学際的な部分の教育を受け、考えることの概要および独立して学ぶこと研究活動であるため、「延長」です。

8〜12 年生

8〜12 年生の適格な学生は利用可能な以下の中学高校の上級プログラムを選択する事が出来ます。ヨーク群学区名誉プログラム、前学位プログラム、バージニアオンラインコース、国際バカロレア学位プログラム、アドバンストプログラム、美術学校、科学と技術のための Summer Residential Governor's School および New Horizons Governor's School があります。また、各学校、セミナー、適格な学生が登録可能な多くの活動に同時に 2 つ登録する事が可能です。

ギフテット生徒教育の諮問委員会
天才教育諮問委員会は天才教育に関連する様々な方面においてヨーク群学区をサポートしアドバイスをします。定期的な面会の情報はヨーク群学区のウェブサイト、学区のテレビチャンネルに掲載され、ギフテットセンターはこれらの面会について保護者に通知します。保護者の方は参加し、ヨーク群の天才教育にかかわる問題や懸念を共有することを推奨します。各面会において公的コメントの時間があります。本委員会についての情報は委員会のメンバーに連絡してください。連絡先は学区のウェブサイト yorkcountyschools.org をご覧ください。学校の代表者として天才教育委員会サービスを提供することに興味をお持ちの場合、生徒の教師にご相談ください。

ギフテットサービス、タイムライン、他の適格基準についての質問は生徒の学校のギフテット生徒教育連絡先に直接ご連絡ください。学校ベースの連絡により、他の学区でギフテット生徒と選定された転校生に対しての補助をいたします。別の学区でギフテット教育を受けていた転校生は学校ベースの連絡先をギフテット教育についての学校ベースの連絡先を提供します。

成績

参照: School Board Policy IU
9週毎に生徒の成績は保護者に報告されます。中間報告は各成績が出る中間時点で発行されます。

数字による成績は、2012 年 9 月以降 3〜12 年生においては改訂 10 点評価制度に改訂されました。新しい評価方法は以下の通りです。

A	=	90-100
B	=	80-89
C	=	70-79
D	=	64-69
F	=	0–63

注: *生徒の成績表および成績表補遺は旧制および新制度により評価されており、また新評価制度の実施日について記載しています。*

中間報告書
すべての生徒は Aspen アカウントを介して電子により中間報告を受け取ります。保護者も児童の学校のオフィスでアカウントの情報を入手することができます。書面による中間報告は保護者の要請により提供し、生徒に持ち帰らせます。

四捨五入制度
3〜12 年生の累積成績が一つ上の成績の 0.5 以内である場合、成績は中間報告／報告カードで以下のように表示されます。

累積平均	四捨五入後の累積平均	文字評価
89.5–89.9	90	A
79.5–79.9	80	B
69.5–69.9	70	C
63.5–63.9	64	D

電子成績ブックでは常に四捨五入した設定を使用しており、報告書や印刷物においては総合成績を四捨五入します。

小学校

最初の学期末、保護者は生徒の進捗状況についてのミーティングのため教師との面談に出席していただきます。さらに生徒は、中間報告や学期報告カードにより学業の成績のフィードバックを受けます。面談は年間いつでも要請可能で、保護者の方は教師に連絡するか、電話により両者の都合のよい日程で予約をいただく事が可能です。小学生の成績評価は以下のとおりです。

幼稚園～2 年生

3～5 年生

S=満足　A(90-100)=優
P=進行中　B(80-89)=良
N=　改善が必要　C(70-79)=可
V=評価不可能　D(64-69)=不良
F(0-63)=不可

中学および高校

生徒の学業における成績評価は教育上非常に重要です。生徒は勉強を進めるにおいて自分の進捗状況を知る必要があります。

1. 小テストと試験
   A. すべてのペーパー（小テストおよび/または試験）は訂正および/または正解に導く方向性を示して生徒に返却します。
   B. 小テストは 3 日以内に生徒に返却されます。
   C. 試験は 5 日以内に生徒に返却されます。
   D. すべての小テストおよび試験は評価されます。

2.書面による宿題（例；宿題や埋め合わせの宿題）
   A. 要請された宿題は先生に提出します。
   B. 生徒が事前に提出した宿題は成績を付け、訂正されます。
   C. 宿題は評価されます。
   D. 宿題の種類にもよりますが、提出された宿題は 8 日以内に返却される予定です。
   E. 宿題を提出しなかった生徒はその宿題に対して低い評価が付きます。
3. 手順および規則：成績、平均の成績

教師は数字の評価を基に文字評価を行います。最終評価の決定は以下のとおりです（1 年間のコースの学期毎の評価は学期の評価を行うのと同様に評価します）：

学期コース-単位が与えられる:
- 1 学期または 3 学期の成績 = 40%
- 2 学期または 4 学期の成績 = 40%
- 学期末試験 = 20%

学期コース-中学校のみ:
- 1 学期または 3 学期の成績 = 50%
- 2 学期又は 4 学期の成績 = 50%

Year-LongCourses:
- 1 学期成績 = 50%
- 2 学期の成績 = 50%

転校生:前の学区の文字評価をヨーク群学区の 4 点評価制度に変換します。変換した結果に基づいて平均点（GPA）を算出します。

コース終了時点のSOL試験免除

参照: Superintendent Regulation IUW

1. SOL 修了試験に合格した生徒は、コース終了時の試験免除があります。
2. SOL 試験に合格した生徒でも通常の試験を受けたい場合、受けることは可能です。
3. SOL 修了試験で上位のカテゴリーの成績であった生徒の通常の試験は自動で A/100 点となります。
4. 試験期間開始前に SOL 試験結果が入手不可能な場合、生徒は通常の試験を受けなければいけません。SOL 成績を受け取り SOL 試験免除に適格である場合、生徒が最も有利になる選択により成績を計算し直します：
   A. 通常の試験の結果が生徒の学期末最終評価の平均に有利であった場合、試験結果を使用し成績は変わりません。
   B. SOL 免除試験（合格に十分な成績または 100 点）が学期末試験に有利である場合、SOL 免除試験により学期および最終の成績評価を計算します。

上級生免除

参照: Superintendent Regulation IUW

1 クレジットのコースについて 2 学期で試験免除をしたい場合、良き市民を取得し、学年を通して注意を受けることもなく、理由なくクラスを休むこともなく、平均成績が A である必要があります。

注:

1. *バージニアのオンラインコース、学期のコース、またはサマーアカデミーにおいて試験の免除はありません。*

2. *良き市民は教師が決定します。*
3. *平均成績Aは以下のように決定します:*
   最初のセメスターの成績x2 = _____
   3 つの学期の成績 = _____
   4 学期の平均の成績 = _____
   合計 _____
   合計÷4 _____*=Average*
4. *免除の報告は文字「N」（試験無し）が学期末試験の成績として記入されます。*

クラスのランキング
参照: School Board Policy IUX

1. ヨーク群学区の中学および高校におけるすべてのコースは以下のとおり成績評価を割り付けます。

成績	取得ポイント
A	4 ポイント
B	3 ポイント
C	2 ポイント
D	1 ポイント
F	0 ポイント

ヨーク群学区内における高校のクラスランキングは、高校のクレジットが表彰されるコースで取得した成績によって決定されます。

以下の公式により 1 年の GPA をクラスのランクに対して計算します。

{通常の GPA の部分}+{ボーナス部分}=GPA

$$\frac{\text{Sum of Quality Points}}{\text{Sum of Credits Attempted}} + \frac{\text{Sum of Weighted Course Credits Attempted}}{7X} = \text{GPA}$$

4 半期ごとのポイントは 4 コースで取得したレター成績に対して割り付けられた場合

A=4 ポイント　　D=1 ポイント
B=3 ポイント　　F =0 ポイント
C=2 ポイント　　I =0 ポイント

は通常の学校日の数を示し、X は高校の場合のユニットを示す場合

1 =9 年生の最後
2 =年生最後の総合成績
3 =11 年生最後の総合成績
4 =12 年生最後の総合成績

注: *weighted コースは Advanced placement または他の Advanced コースで、カリキュラムが厳格で質の高い成果物が必要であるという理由によりクレジットが高くなっています。*

.

2. クラスのランクは、一番高いグレードポイントの平均を 1 番のランクと割り付けます。2 番目に高いランクはランク 2、というように割り付けます。一人以上の生徒が同じ平均のグレードポイントを取得した場合、その平均値になる生徒はすべて同じランクとなります。次に高い平均は、高いランクの生徒の数を示すランクの位置であると想定されます。

3. クラスのランクは 11 年生の終わり、12 年生の最初の学期、およびシニアの年の最後に計算されます。大学へのクラスのランキング報告は、最近計算された成績に基づきます。シニアの年の最初の学期のクラスのランクは卒業に関連した目的で使います。
4. 9 年生になる生徒およびその親／保護者は書面によりクラスランクの計算方法および成績ポイント平均の計算の方法について説明をうけます。転校生は本情報を登録時に受け取ります。

ヨーク群学区外のコース
高校生で大学またはヨーク群学区以外の施設のコースを取りたい学生はそのコースがクレジットされるために学長の事前許可が必要です。このようなコースはヨーク群学区または制限された状態下以外の NewHorizons Regional Education Center では開催されないものでまたは州法および地方の法律に合致するものでなければいけない。コース登録前に学長の文書による承認が必要となります。クレジットの移行に使用された計算方法を覗き、**weighted クレジットはヨーク群学区以外で取得したものは認められません。**

校庭および施設の使用

参照: School Board Policy KG
学校の校庭および施設は、放課後時間に学校の許可のある活動の目的のために使用する事が出来ます。施設の使用に必要なフォームはが各学校に用意されています。小学校および中学校の校庭の使用についての要請フォームは学長から York County Parks、Recreation&Tourism に転送します。一部の施設の使用には費用がかかることがあります。
許可のない乗り物は、いかなる場合においても学校の施設内では違法です。使用が認可されていないモーター付きの乗り物は学校の校庭ではいかなる場合も許可されません。

ヘルスサービス

学校のクリニックは登録ナース、有資格の実務ナースまたはトレーニングを受けた者により構成されています。

生徒のスクリーニングについての連絡

参照: Code of Virginia §22.1-273

すべての学生（幼稚園から 12 年生まで）はバージニアの公立学校に始めて登録する場合、校内の保険担当の者が視覚と聴覚の検査最初の登録から 60 営業日以内に行います。3、7、10 年生のすべての生徒もその学年の間に視覚と聴覚の検査を受けます。

5、7、9 年生の生徒は脊柱の検査を受けます。脊柱検査の案内は 6、8、10 年生の保護者に対し、家に書面を送ります。上記のスクリーニングの情報に加え、保護者は必要に応じて通知を受け取る場合があります。

アタマジラミ

バージニア学校のヘルス条例(*Code of Virginia*§22.1-272)によると、アタマジラミを有する生徒は学校に来ることは許可されておらず、アタマジラミまたは毛ジラミの卵が完全に治癒されたと学校のクリニックの者が判断するまで、学校に再登校することはできません。

病気／事故

感染症または伝染病、例えば結膜炎（ピンクアイ）、膿痂疹、アタマジラミ、白癬、または疥癬などにかかった場合、治療するまでは家で待機することになります。伝染病に対して学校のナースは、バージニアの健康省のガイドラインに従います。児童は以下のいずれかの症状が出た場合、家で待機となります。100°F 以上の発熱、下痢の反復、目や耳の炎症反応、持続性の咳／喉の痛み、皮膚発疹／排液痛。**児童が病気であることが分かった場合、家に連れて帰ってください。**そうすることで疾病が拡散することを最小限に抑えます。

児童が事故にあったり学校にいる間に発病した場合、クリニックのスタッフが状態を検査し適切なケアを行います。家に帰る必要があったり、それ以上の治療が必要な場合は、直ぐに保護者に連絡します。緊急な場合、クリニックのスタッフは、生徒が病院に運ばれるまでケアします。**クリニックのスタッフに現在の電話番号、緊急連絡先、生徒の健康状態の変化および近場に住んでいる緊急連絡先を知らせておく必要があります。**

服薬

保護者は服薬時間を OTC 薬も含めて学校の前か後に設定するよう心がけてください。生徒が学校時間内に薬を服薬する必要がある場合、親／保護者は処方のラベルが貼ってあるオリジナルの容器に入れたまま持って来なくてはいけません。オリジナルの容器に入ってない場合は受け付けられません。OTC 薬も学校時間内に使う場合は、オリジナルの、シールが貼ってある未使用のものでなくてはいけません。薬はクリニックに置いておきます。医薬品を学校に預けるためには、保護者がサインした YCSD の医薬品許可フォームを完成させる必要があります。医薬品は容器のラベルに記載に従って投与されます。クリニックでは医薬品の調合について電話では受付できません。これは OTC 薬についても同様です。上記の手段により生徒が適切な医薬品を適切な用量で服薬出来るようお手伝いいたします。**咳止めの薬は学校では推奨されていません。**

脳震盪のガイドライン

脳震盪の定義—脳の障害で、認知症および／または身体機能障害の発現に特徴づけられ、頭、顔または首を強く打つことや、体を強く打つことで頭に突発的な振動を引き起こすものです。脳震盪は意識を失う場合も失わない場合もあります。

2010 年のバージニア総会が、学生運動選手保護法（SB652）を発令し、脳震盪に苦しむ学生運動選手に適切な診断を下し、治癒に必要な時間を与え、症状が消失し医療関係者が適切な許可を出すことで運動の参加が認められるまで、運動に参加しないことが認められています。免許を持つ医療関係者は、医師、医師アシスタント、整骨医、バージニア州内科認定体育トレーナー、心理学認定の神経心理学者、またはバージニア州認定ナースプラクティショナーでなければなりません。学生運動選手についての脳震盪のポリシーのためのバージニア州教育ガイドラインの全文は、*http://www.doe.virginia.gov/boe/guidance/health/concussionsin_student_athletes.pdf*に記載されています。

エピネフリンガイドライン

2012～2013 年の学期から、バージニア州のすべての公立学校のシステムは、各学校はアナフィラキシーの緊急治療のためエピネフリンをを置いておくこととなりました。各学校は少なくとも二人の教職員がエピネフリンの投与についてのトレーニングを受けています。ヨーク群学区ではバージニア州教育省により制定されたガイドラインにしたがってエピネフリンを設置します。

てんかん管理のガイドライン

てんかんの定義—行動が一時的に変革し、脳の電気活動が唐突に異常に破裂した状態です。電気障害が脳のどこで起こったかによりてんかんが一時的なものか持続的なものか決定されます。てんかんの既往歴をもつ生徒で公立学校に所属する場合、生徒を迎え入れられるよう学校の設定に注力します。ヨーク群学区のナースはてんかん管理ガイドラインを、バージニア教育省により設置します。*http://www.doe.virginia.gov/support/healthmedical/index.shtml*. 学校でのてんかんの管理は生徒を保護し、観察し、薬の投与を補佐することになります。てんかん疾患を有する場合はてんかん行動計画に従いますが、これには、てんかんが学校時間内に起こった場合補佐するためのバイタル情報が含まれます。質問や懸念がある場合は児童の学校クリニックまでご連絡ください。

家庭教育

参照: School Board Policy IGBG

家庭教育の教育法は、家にいる生徒または医療機関にいる生徒で通常の学校に通えないと判断された適格生徒が利用可能とされています。学校のメインオフィスに情報および必要なフォームについてお尋ねください。

家のない子供および若年者

2001年のMcKinney-Vento法により、家のない生徒も他の生徒と同様で、自由な、そして適切な公立学校の教育を受ける権利を保障しています。家が無いと特定された生徒はヨーク群学区に登録し、登録書類を入手する手伝いをします。家のない生徒に対するサービスは、学校の起点までの送迎および住んでいる地区への移送、および各地のサービス代理店に連絡します。

宿題の方針

参照: School Board Policy IKB

ガイドライン

宿題は生徒の年齢、能力ごとに違います。宿題は教師が以下のガイドラインに従って追跡します。

1. 宿題は生徒によって異なります。宿題の量は合理的で、ある種の目的に関連したものであるべきです。例えば、生徒が正しく 10 を 3 桁の数字にかける問題を正確にできる場合、宿題が多いとあまり妥当性がありません。このような宿題は忙しく、またあまり教育的なものでありません。
2. 読書の例外を除き、全ての宿題は、事前に教えられたものの実行および適用です。
3. 宿題は、例を出して一つ一つ明確に明らかな指示によって出題されます。宿題の詳細について混乱を最小化にするため、要地に示されて生徒はコピーを持ち帰ります。宿題は正解および評価以外について細かい詳細が記載されています。
4. 宿題についての期待は生徒および保護者に連絡されます。評価の手段および宿題の一部で成績に響くものについてははっきりと通知されます。
5. 技術を必要とする宿題を完成させるためには時間が与えられます。このような宿題については、すべての生徒が合理的な時間をかけて宿題に取り組めるようにし、学校のリソースを平等に使用できるようにします。教師は生徒または保護者が経済的に大きく寄与する必要がある宿題は出さないように努めます。教師は保護者に学校にあるリソースが利用可能であることも通知します。
6. 異なる指導をサポートするため、教師は異なる宿題を出すこともあります。
7. 宿題が懲戒目的のために出されることは絶対にありません。

評価

文書による宿題は、説明され、評価され、速やかに生徒に返却されます。「評価」は必ずしも各宿題の「成績」に必要とされません。マークを付け、スティッカーをつけて補強し、コメントを加えることで宿題は評価されます。これにより、生徒が、宿題は重要で十分に監督されているというメッセージを受けることが重要です。文書でない宿題、すなわち読書などについては、クラスの討論会への参加または事前読書による文書の宿題において監督されます。宿題の重要度については以下を参照ください。

幼稚園～8 年生	成績の10.%未満（高校のクレジットコースをのぞく）
9～12 年生	成績の 20%未満とする

推奨されている標準時間

宿題を割り当てられている時間は生徒のニーズに対して適切であるべきです。一方で宿題に割り当てる時間は異なり、以下が 1 日の宿題に割り当てる推奨最大時間となっています。

幼稚園～1 年生	読書含めて 30 分
2～5 粘性	読書含めて 45 分
6～8 年生	75 分*
9～12 年生	各クラスごとに 30 分*/**

*6～12 年生で advance に登録している生徒は、honors および AP コースが追加の宿題を出すことがあります。

**高校では隔日によりスケジュールが阻害されるため、最大 30 分の宿題が各クラスに割り付けられます。

- 週 2 回のクラス#1=宿題週に 60 分
- 週 3 回のクラス#2=宿題週に 90 分

優等生

小学校、中学校、高校の生徒は特別な項目において優等生のステータスが適用されます。

小学校および中学校
- すべて A または A～B の優等生
- 学期ベースの成績
- 小学校の中心的クラスに基づく
- 中学のクラスに基づく
- 良い市民の項目は含まれない

高校
- 平均成績ポイント（最高値は 3.75 以上で 3.25～3.7499 が優等生）.

ホットライン番号

学区は緊急ホットライン番号があり、生徒、保護者、および地域のメンバーが匿名で、生徒の安全性が脅かされる事実またはその容疑について、学区または施設（爆弾脅迫、喧嘩、ドラッグの保持など）の職員に報告することができます。

このホットラインへの報告は毎日回収され、関係当局が調査します。すべての電話は極秘事項です。

ホットラインの番号:890-1096

保険

参照: School Board Policy JHC

事故および歯科の保険は学年開始時に申し込み可能です。プランの情報についてはすべての学生が家に持って帰ります。学校では保険の費用を回収いたしません。

ヨーク群学区は賠償責任保険のみ加入しています。**保険は生徒の事故に対する医療はカバーしません。**

指導資料

参照: School Board Policy IIAU

1. 一部のクラスでは Multi-text 方法を使用しています。テキストが一部または 1 年を通して貸し出されます。
2. テキストについては以下の手順が使用されています。
   A. 教師は、生徒に貸し出しするテキスト場合以下についてインクで記します。
      1) 生徒の名前
      2) 発行日
      3) 発行した時の状況–N（新しい）、G（良好）、F（並）、P（悪い）
   B. クラスセットの個別のコピーは生徒に一晩発行される場合があります。生徒は、一晩の貸し出しについて発行シートにサインをして次の日に返却します。
   C. 教師は定期的に本の痛みについてチェックします。生徒が紛失したり損傷した場合、生徒はその本をの損害に対して支払うか新しい本に置き換えるまで他の本は借りることはできません。
   D. 生徒が教科書を紛失したり損傷した場合、本の費用を負担することが求められます。本の費用が完全に支払われるまで、パーキング使用の特権および、体育、クラブ、カリキュラム外の学外活動、ダンス、卒業セレモニーなどの活動を含むもののこれに限られない活動に参加することができません。

体育大会

参照: School Board Policy JFCB

体育大会は小学校では開催されません。7 年生および 8 年生の中学生は体育大会に参加する機会があります。高校レベルでは、生徒は VHSL（バージニア高校リーグ）ルールに従った体育大会に参加します。

図書館メディアセンター

各メディアセンターは教室をダイナミックに拡大し生徒が読書し、研究し、新たなジャンルを探求する機会をあたえます。図書館は従来の印刷資料、本、参照資料および定期発行物、また、電子メディア研究資料については広範囲のネットワークおよびインターネットなどを介して入手可能です。ウェブベースのリソースは、模範となる内容の教育をサポートし、強調します。

生徒はすべてのリソースを使用するに当たり、知識を持っていることが期待されており、また、倫理を理解し正しく資料を使うできとされています。各生徒は、学校のすべての電子リソースを使用する前に、ネットワークサービス／インターネット使用の同意書ファイルに署名しなくてはいけません。

落し物センター

学校は落し物についての責任はもちません。落し物については学校のオフィスまたは他の指定された場所で確認してください。申し立てのない落し物は定期的に破棄しています。

昼食

参照: School Board Policy EF

生徒は事前に昼食のアカウントにデポジットを支払うことが可能です。保護者は自分のクレジットカードで mylunchmoney.com から児童の給食アカウントを支払うことができます(www.mylunchmoney.com).mylunchmoney.com についての情報は学区のウェブサイト yorkcountyschools.org

に記載されています。昼食の費用はカフェテリアに掲載されています。連邦規定のガイドラインに規定されている世帯収入が低下したご家族の生徒には、無料または低価格の昼食がご利用いただけます（応募および承認ベース）。小学生には承認された食べ物と飲み物のみを販売します。カフェテリアも学校も昼食のチャージは認めていません。生徒は昼食時間中郊外にでることは禁止されています。

沈黙の時間

ヨーク群学区は *Virginia* §22.1-203 に従って、毎日各学区の教室で 1 分間の沈黙する規則を設けています。

ネットワークサービス／インターネット使用の指針（AUP）

ヨーク群学区では、生徒やスタッフは、多彩な各地のネットワーク／ワイドエリアネットワーク（LAN/WAN）およびウェブベースのサービスや応募が利用可能です。これらのネットワークおよびインターネットリソースは、バージニア標準学習の学区のプログラムの勉強をサポートしています。また、イノベーティブな指導および優秀な教育を強化するための補助をしています。
指導スタッフは、指導に使うためのすべてのネットワークとインターネットリソースの多様性と適切性について評価します。生徒およびスタッフに対して、インターネットの使用にあたり、著作権、盗作、インターネットの安全性および保護を含む社会的および倫理的問題についての指導が行われます。さらに、生徒およびスタッフは、クラス内における携帯式通信機器や電子機器の所有物の使用についての指導も受けます。これらの器機は、ラプトップ、ネットブック、タブレット、iPads、携帯電話、PDA、e-readers、ゲーム機器を含みますがこれに限定されません。

指導内容
- 中高生のためのインターネット安全性の検証
- 担任の教師、図書館／メディアのスペシャリストによる統合的インターネット安全性の勉強
- マルチメディアは、携帯式通信機器または個人所有の電子機器の使用や指導インターネットの安全性および倫理行動について注意しています。

このAcceptable Use Policy (AUP)の条件の下で、すべての利用者は以下にアクセスできます。
- Local Area Network (LAN)を介した生産および指導
- 遠隔学習サービスを介したオンラインクラスの指導
- ウェブベースのワイドエリアネットワーク（WAN）を介した電子研究および指導サービス
- ニュース、大学や公立図書館の行き方を印刷してマルチメディアアセットにアクセスし、充実した内容の活動がWorldWideWebを通じて利用可能
- 地域別、範囲別および世界単位の電子機器コミュニケーションではグループ、e-mail、ビデオ会議またはホワイトボードでのコミュニケーションを含みますがこれに限定されません。
- パブリックドメインのマルチメディアファイル

1. .学区の学生で YCSD ネットワークサービス、ウェブベースリソース、およびインターネットを利用したい場合、AUP フォームに親／保護者の署名を記入して学校に返却しなくてはいけません。
2. すべての学区の生徒はインターネット安全性指導を受けます。親／保護者はフォームに署名することで生徒に許可を与えないことも可能です。
3. 保護者の方ですべての児童をネットワークにアクセスすることを拒否したい場合、すべてのヨーク群学区で入手可能な「Removal of Permission for Network Services」に署名をしてください。
4. 保護者はすべてのコンピュータ、ネットワーク、インターネットサービスにNetwork Services/ Internet Acceptable UseP olicyに署名することでいつでも生徒に許可を与えなおすことができます。このフォームもすべてのYCSD学区において入手可能です。

権利ではなく特権であるネットワークサービスおよびインターネットの利用

システムユーザーは、e-mail、送信する資料、学区のシステムにおいて受診するおよび／または保存する資料を含むがこれに限定されないもの対して、学区のコンピュータまたはネットワークにおけるプライバシーまたは活動に対するプライバシーは権利がありません。学区はすべてのユーザーの行動を管理し記録する権利があります。このAUP、学校の方針や規則、学校規範または地域、週、連邦の法律に違反する行為の証拠が認められた場合、学区のネットワーク管理人はこのような証拠を学区の総務または法務に罰則または犯罪訴訟として適切に提供します。

学区スタッフの責任

学区スタッフは、
- スタッフおよび生徒インターネット安全性指導の評価および監督を行い、必要に応じて最新化します

- 学区の技術指導およびネットワーク、インターネットおよび実施されているデータ安全性手順を年に1回評価します。
- インターネットの弱点、法的問題、指導の容量および学区生徒に対する影響の最新状況を認識します。
- インターネット使用における、著作権、盗作、およびインターネットの安全性およびセキュリティについての社会的および倫理的問題について、すべてのスタッフを教育します。
- 必要に応じて学区のAUPの有効性を評価し、必要に応じて最新化します。
- インターネット使用および安全性の問題に関連したコミュニティー進出の必要性の評価をおこないます。
- インターネット安全性およびセキュリティについての情報は保護者およびコミュニティーに学区のウェブサイトおよび他の資料により配信します。

利用者の特権

1. 学生およびスタッフはすべての学区の技術、ソフトウェア、ネットワークサービスを承認された指導により、研究、連絡、生産のみの目的のために使用することは認められています。プロジェクトや宿題は電子媒体で掲示されFERPA（Family Education Rights and Privacy Act）に分類される個人を特定する情報を含む可能性があります。インターネットを通じて連絡を電子的に行う場合、個人情報の量は制限するよう努めます。オンラインで行う宿題や活動は教師がコメントし、成績または評価を付けますが、コメント、成績、評価はいかなる場合においても公表されることはありません。
2. 継続して使用する場合教師と生徒にE-mailアカウントが提供されます。生徒のE-mailアカウントは教師指導のプロジェクト期間中のみ割り当てられます。
3. 生徒およびスタッフは勉強や教育活動をサポートするインターネットから外部のリソース情報を入手することができます。生徒のインターネット使用は監視された環境においてのみ使用可能です。
4. 生徒およびスタッフはネットワークプロバイダーが著作権、他の法律に違反せず、費用が掛からない、および／またはフリーウェア、シェアウェア、ネットワークに保存されている実行可能なファイルなどを提供するネットワークが承認した必要なデータファイルはダウンロードしたり転送してりすることが可能です。
5. 生徒は携帯式通信機器または私物の電気機器は、本ハンドブックによりスタッフが指示した指導活動にたいして使用することが可能です

利用者の責任

1. 18歳以下の生徒は、最初にネットワークサービスおよびインターネットアクセスを開始する前に親／保護者の署名が必ず必要です。18歳以上の場合は、本契約書にネットワークおよびインターネット使用開始前に署名をしなければいけません。
2. 利用者はプライバシーおよびセキュリティのアカウントおよびパスワードを保持しなくてはいけません。利用者は他の利用者のパスワードを聞き出そうとしたり、他の利用者のアカウントにアクセスしたり他人のアカウントを装ってはいけません
3. 利用者は学区の技術を営業目的、私益目的、または宣伝のために利用してはいけません。
4. 利用者は携帯式通信機器または私物の電子機器を使ってケーブルを学区のネットワークに繋ぐことはできません。
5. 利用者は他人の私有物を尊重しなくてはいけません。利用者は他人のネットワークのファイル、文書、アプリケーションやデータファイルを変更したり削除したりしてはいけません。芸術品は危害を加えるような悪意がある、または他人のデータ、ネットワークサービスを破壊しようとすることと定義され、特権の取り消しや懲戒処分になります.
6. 利用者は情報サービスの役員または指定されたものの文書による許可なしで、装置をデータおよびボイスシステムのケーブルに繋いではいけません（テレビ、VCRsは許可なしでケーブル配信テレビに繋がっています）。データ接続が禁止されている器機は、計算機ワークステーション、ラプトップ／ノートブック／タブレットPC、ファイルサーバー、印刷機、スキャナー、ネットワークスイッチ、ハブ、ルーター、PDAa、PDA／携帯電話および他のワイヤレスおよびワイヤーつき装置が含まれますが、これに限定されません。ボイス接続はアナログテレビ、ISDN（デジタル）、電話、ファックス、モデムを含みますがこれに限定されません。
7. 利用者は正しいネットワークおよびe-mailエチケットを守らなければいけません。ハラスメント、違反行為、攻撃的なメール、猥褻または下品な言葉や、学生行動規範、学校規則、連邦または週法

に違反する行為は、e-mailまたは他の電子連絡ツールにおいても禁止されています。

.

8. 利用者は、学区で利用可能なハードウェアおよびコンピュータ付属品、ネットワーク部品は適切に扱います。技術または関連部品の破損や損害は特権の取り消し、罰則に値し、学区に返還することになります。
9. 利用者はネットワークアカウントの所有物に対しては個人で責任をもち、アカウントが、わいせつ物、望ましくなく適切でない資料、ファイル、またはメールを排除し、このような資料がインターネットや他のソースを介して参入しないように気を付けなくてはいけません。個人のソフトウェアを学区のハードウェアにインストールしてはいけません。利用者は1976年の著作権および教育に関連する正しい使用法の供給に従うこととします。連邦または州法または規則に違反した内容物の転送は、犯罪および学校行動規則違反として扱います。
10. スタッフまたは生徒で不適正または望ましくないインターネット資料を閲覧した場合、はネットワークまたはハードウェアのセキュリティプログラムが警告し、著作権または適正利用違反、またはインターネット安全性問題がすぐに指導補助ネットワークサービス管理者に通達します。

ヨーク群学区は、ファイアーウォール、暗号化、およびアプリケーションや他の安全性管のフィルタリングにより注意を払うのと同様に、LANを介したエラーのない信頼できる電子リソースを提供しています。すべての学区の教師およびスタッフは、教室内、ラボ、および図書館のすべての利用者を監督し、学生行動規範に基づいた懲戒処分に該当する行動またはAUP違反に該当する犯罪について監視しています。適切で、安全で、価値のある使用方法でインターネットを使用する生徒、保護者、およびヨーク群学区スタッフの責任です。保護者は、家でのインターネット使用の監視、家におけるオンラインのルールを設置する、インターネット利用における良い点および悪い点について語ることでインターネット利用のヨーク学区が示す安全性を身につけることでヨーク学区スタッフの補助をしてください。

ヨーク群学区はネットワークサービスの提供において、いかなる種類の、表現されたまたは暗示された補償は行いません。YCSDは、遅延、送信不可能、送信ミス、装置の損傷またはサービスの妨害を含むデータの紛失などにおいて利用者に対する責任は負いません。インターネットは広大で多様性があり管理出来ない性質があるため。YCSDは正確性、インターネットから取得する情報の質についての責任は負いません。YCSDは学区のハードウェアまたはネットワークまたはインターネットに接続した個人所有物にたいして、または学区が提供するインターネットサービスによって生じた経済的負担に対しては責任をもちません。ヨーク群学区のネットワークサービス／インターネット利用ポリシーはすべての各地、州および国の遠隔コミュニケーションの規則および規定に従います。ヨーク群学区のネットワークサービス／インターネット利用規定はorkcountyschools.org/technology/techResource/でご覧いただけます。質問やコメントについてはオフィスまでご連絡ください。833‐2215

親権を持たない親の権利

Virginia §22.1-4.3によると、親権を持たない親は、学業記録を閲覧したりランチ休憩や保護者会、課外活動などの学校活動に参加することが禁止されています。裁判所が特定のアクセスを禁止した場合、親権を持つ親が学校にコピーを提供する責任があります。裁判所が学校へのアクセスを禁止しない限りは、親権を持たない親は緊急連絡先のリストに加えられます。

指導資料ではないものの配布

参照: School Board Policy KF

非営利団体および営利団体の外部機関に対する指導資料でないものの配布は学区のコミュニティおよび公的コーディネーターの許可をオンラインのウェブサイト yorkcountyschools.org/MaterialDistribution.から取得しなくてはいけません。

差別禁止

参照: School Board Policy GB

米国の大統領および議会ならびにバージニア州国連総会はすべての従業員および生徒に対して平等な権利を与え保護する法律を施行しています。また、連邦議会およびバージニアは教育における機械の平等についての法律を施行しています。州または連邦の法律が例外と認める場合を除き、ヨーク群学区の生徒は、人種、色、宗教、性別、出身国、政党、年齢、障害、信仰に関わらず、ヨーク群学区のすべてのプログラムに登録し、保持し、退出し、および／または移行することが認められています。学区の監督者は、連邦法、州法、および法令に確実に従って以下の項目が実施されることを監視します。

- TitleIXおよび504項目のコーディネータを指定し、親／保護者、生徒および従業員に身元について通達する。
- 従業員、生徒または第三者による本指針が違反されたことに対する不平および不満の対応の手順の確立

- 従業員の本指針に対するトレーニングおよび不服に対する手順および
- 本指針および報告された違反に対する対応の手順の一般、保護者、生徒、およびすべての従業員に対する公表

Chief Human Resources Officer
Title IX Coordinator
302DareRoad、Yorktown、VA23692
898-0349

Director of Accountability and Instructional Services
Section 504 Coordinator
302DareRoad Yorktown VA23692
898-0455

生徒の権利保護に関する修正案 (PPRA)

生徒が、保護された 8 分野の情報の内 1 つ以上に関連する生徒の調査、分析、評価に参加する場合、保護者の同意が必ず必要です。保護者は生徒の情報をマーケティング目的およびある種の身体検査およびスクリーニングのために収集、開示、使用されることに同意しなくてはいけません。

保護された 8 分野の情報は以下のとおりです。

- 政治または信仰
- 精神的または心理的問題
- 性的行動または態度
- 違法、反社会的、自虐的および禁止行為
- 他人の批判
- 違法とみなされる特権の関係
- 宗教行為、信念
- 法律が必要としている以外の収入

親／保護者および適格性とは上記のような調査、分析、または評価は、米国教育省ではない機関が出資／資金提供している調査と同様に通知され、調査し、そして参加を拒否することができます。

学区外の出席

参照: School Board Policy JC

許容量およびプログラム提供にもとづいて、生徒は家族が文書により割り付けられた学区の以外の学校に登録する可能性もあります。申し込みおよび追加情報は学校の主要オフィスまたは School Board Office で入手可能です。「非居住者指針」の下で別の学区に行くことを選択する 1 回生になる学生以外の生徒で学区外の高校にいく場合は、バージニア高校リーグ支援の体育または学力活動に、新たな学校に登録してから 365 日間は参加することができません。

生徒は学区外でも学校に出席し、行動規範を守らなくてはいけません。出席や罰則を受ける行為は学区外通学を拒否されることになります。

保護者のリソース

カリキュラムの情報、読書リスト、文章作成および役立つウェブサイト情報はヨーク群学区のウェブサイト（yorkcountyschools.org）に掲載されています。保護者の方は、生徒の学校に連絡し本情報についてのコピーを入手することも可能です。

保護者大学

ヨーク群学区では、保護者の方が生徒の第一の一番重要な教師であることを認識しています。
我々の使命は、保護者に学ぶ機会を提供し、それにより保護者としての必要なことに役立つことです。
保護者大学のトピックは、家庭の数学、家庭の読み書き、技術の夜、親のスキル、宿題のお手伝いおよび大学と就職の夜、などです。各学校における保護者大学は、8 月または 9 月の新学期のニュースレターにおいて、または他の学校のニュースレター、または年間を通して特別に通知して実施します。

盗作

簡単な定義として、盗作とはその名の通り原作者の許可なく他人の作品を自分の仕事に割り当てることです。ヨーク群学区ではすべての生徒は、適切に誠意をもち、資料は原作者の引用に起因するよう（すなわち、言葉、発送、データまたはデジタル産物）他人の知的財産は尊重する必要があります。
学区は高校生を対象として、ウェブサイトベースのサービスの turnitin.com(www.turnitin.com)により生徒の作品が盗作にならないよう保護します。ウェブサービスは盗作の可能性を検出するようにできており、生徒と教師の間で問題について話し合うことが可能です。すべての生徒は教師の指導の下に、turnitin.com に宿題を提出します。故意の盗作は行動規範に記載されているとおり、許容されず、罰則を受けることになります。

忠誠の誓いおよび愛国唱歌

Code of Virginia の 22.1-202 項によると、各学校における各教室では毎日、忠誠の誓いを唱歌することとされています。保護者が宗教や哲学または他の理由により反対する場合は、生徒に対して強制しません。唱歌しない生徒は、座ってまたは立って静かにし、唱歌している生徒の邪魔をしないようにしなくてはいけません。生徒は国歌や愛国歌を歌う機会が与えられ、学長は教室がアメリカの国旗で飾られていることを確認する責任があります。

携帯電話の使用および私物電子機器

指導プロセスの障害になることを避けるため、生徒は学校生活、放課後、またはスクールバスにおいて、クラスの教師により指導活動が行われる私物機器の所持（BYOT）を例外とし、校内の管理者の通知がない限りは、携帯電子機器や他の私物電子機器の誇示、使用、活用は認められていません。

学校生活には、ランチ休憩、クラス変更時間、および他の通常の学校生活における指導活動の時間が含まれますが、これに限定されません。生徒は学校生活時間および放課後やスクールバスの時間において、このような機器の電源が切れていてサインが消灯していることを確認しなくてはいけません。指導の邪魔になる場合、その危機は学校のスタッフが差し押さえることもあります。差し押さえられた機器は保護者にのみ学校が終わってから返却されます。

私物機器の持ち込み（BYOT）

3～4 年生の生徒は、教師が指定した適切な指導時間において私物機器の e-Reader 装置を学校に「個人的読書」のため持参することが許可されています。生徒はこれらの機器をワイファイや 3G、4G、または個人用のインターネットプロバイダを使ってインターネットに接続することは禁止されています。

5～12 年生の生徒は YCSD に接続してワイアレスネットワーク使用することは認められています。この私物電子機器のワイアレスアクセスは教室内での生徒の教育向上のための手段として使われています。すべての生徒は私物機器を使用するかに関わらず、指導活動に参加する機会が与えられています。私物電子機器の使用はガイドラインに従って条件的な許可になります。ガイドラインに従わない場合、罰則を受けることになります。

一般条例

1. 私物電子機器はケーブルで学校のネットワークシステムにつなげてはいけません。ネットワークはワイファイ、ワイアレス接続のみです。私物電子機器をネットワークに学校のデータジャックに繋がっているイーサネットケーブルに接続してはいけません。ネットワークアクセスおいて違反行為をすると罰則を受けることになります。
2. 教室の指導中またはクラスの時間内における私物電子機器の使用は教師の許可が必要です。音声、ビデオおよび映像の撮影は特殊指導目的のためのみの目的で、教師の許可が必要です。
3. 私物電子機器は現在進行形で行われている指導活動をサポートする目的でのみ利用可能で、教師が要請した場合は電源を切り、しまわなくてはいけません。
4. 教師が指導活動に関連した音の使用に許可を出さない限りは、電子機器の音はすべてミュートにしてください。
5. 生徒は私有電子機器を他の生徒と共有するように指導されることはありません。
6. 生徒は知りながらコンピュータ、コンピュータシステム、コンピュータネットワーク、情報保存メディア、又は周辺機器に、学校の権利者または学区のスタッフの同意無しでアクセスしてはいけません。
7. 私物電子機器に、学区がライセンスを所有するソフトウェアのインストールはしてはいけません。
8. ワイアレスアドホックネットワークや他のワイアレス機器を学校で使用することは認められていません。これは、ケーブルまたはワイアレスホットスポットの私物電子機器の使用を含みますが、これに限定されません。
9. コンピュータや装置を違法な電子データの収集をしたり、ネットワークサービスを妨害したりするための使用は認められていません。学校のネットワーク、インターネットサービスまたは他の学校、学校のスタッフおよび／生徒が所有する電気機器の悪用、妨害または損害を与えることは許されません。
10. 生徒はソフトウェアを使用しようとしたり、また実際に使用したり、インターネットのサイト、またはインターネットフィルターにブロックされる内容にアクセスする他の手法は禁止されています。
11. 学校内では生徒は私物電気機器の使用においてプライバシーの保護は守られません。（*Virginia* §22.1-279.6）により、学校側は、生徒がバージニア州 Commonwealth 法、YCSD 指針、学校の規則、または他のコンピュータの使用時に非行行為が合理的に疑われた場合、私物電子機器を検索する権利を保持しています。
12. 学区のソフトウェアは私物がインターネットを介してアクセスした内容に対しては適切にフィルターを掛けることができません。保護者は個人でこれらの装置に対しセキュリティおよびフィルターのコントロールを行ってください。
13. 携帯電話および他の装置は学校においては個人的インターネットサービスプロバイダーを介してインターネットに接続することは禁止されています。ヨーク群学区は、電話、インターネットアクセス、アプリのダウンロード、または学区が提供していないメッセージサービスにおける金融債務を負いません。

私物電子機器のセキュリティリスク
ラプトップおよび他の携帯式電気機器は特に紛失や盗難の恐れがあります。これらは学校内、学校の校庭、パーキング、またはバスなどで標的とされる場合があります。私物電子機器が盗まれた場合、盗難について直ちに校内の管理者に報告しなくてはいけません。生徒がパスワードが漏洩したと確信した場合、学校のコンピュータから即座にパスワードを変更してください。生徒はすべてのリスクに対し責任を持ち注意しなくてはいけません。ヨーク群学区は、私物に対する紛失、損害、盗難、故障の責任は負いません。生徒で私物電子機器を学校に持参する場合、私物に対する責任はすべて持つものと想定してください。学区および学区の職員は、私物のハードウェアやソフトウェアに対し修理、是正、トラブルシュート、または機能障害の責任を取ろうとしてはいけません。ラプトップ、ネットブック、および他のすべての携帯電子機器は決して所持者が見えない場所にほんの少しの時間でもおいてはいけません。使用しない場合は、利用可能な場合は学校のロッカーなど、安全な場所か生徒の傍において置くべきです。私物電子機器が見つかった場合は、学校の総務に返却されます。

私物の乗り物

私物の乗り物で学校に来る生徒は学校開始の15分以上前には着かないようにしてください。教師はクラス開始前に責任を割り当てられます。早く到着した生徒に対しての監督責任は学校では負いません。すべての生徒で私物の乗り物により家に帰る生徒は適切な学校終了時間に迎えに来てもらわななくてはいけません。私物の乗り物はしてスクールバスの乗降に指定された場所には駐車してはいけません。学校の入り口に掲載されているサインを見てください。学校敷地内の私物の乗り物は、学校の規則違反の疑いがある場合には検索される可能性があります。

進級の方針

参照: School Board Policy IUY
小学校では、生徒は、言語、読書、数学、テストの結果、バージニア評価プログラムなど様々な項目に基づいて学年が進級します。生徒は、言語、読書、数学など学業成績において満足いかないまたは達成レベルを大きく下回る場合、1 年以上指定の小学校の学年に留年する事も可能です。

中学では生徒はすべての科目の達成度にあわせて学年が進級します。生徒は、次の学年に進学するために英語、数学、科学、社会学または中学学長が承認した推薦されたサマープログラムが進級を完了しなくてはいけません。クラスに通過しなかった生徒は進級ベースの標準テストスコアおよび改善プログラムを完了することで評価を受けることもできます。サマースクールおよび／または目標スキルプログラムにより改善することも可能です。

高校では、進級はクレジット取得達成に基づいて評価されます。成績レベルについては以下のとおり決定されます。

10 年生–最低 5 クレジット
11 年生–最低 10 クレジット
12 年生–最低 15 クレジット

次の学年の進級必要事項を満たした生徒は留年するべきではありません。生徒を留年させたい場合、教師は標準業務手順書の留年のガイドラインに従います。

記録

参照: School Board Policy JO
1. ヨーク群学区では、正確で完全な個人の、永久で累積された記録が各生徒につきます。各生徒が保持するデータは学習成績とみなされます。学習成績は学校が個人的、社会的、教育的、職業教育上必要で、教育的および職業の選定のためのデータに限定されています。学習成績は生徒が出席している学校で保管されます。
2. 学習成績を収めた学校の学長は記録を保持する責任があります。また、学長は記録を開示した相手および開示の目的を記録し保持する責任があります。
3. 学習成績の再考および抹消は学校のマニュアルファイル JO 指針および管理者法律 JO に含まれます。最新すべての学区の指針は学区のウェブサイトに掲載してあります。オンラインで入手不可能な場合、必要に応じて紙面のコピーも入手可能です。
4. 親／保護者および適格な生徒は学習成績記録の内容について相談することが可能で、改正や不正確または誤った情報であることを要請することが可能です。学校のオフィスがその要請を否定した場合、親／保護者または適格生徒は聞く権利を使用できます。親／保護者または適格生徒は過程教育権およびプライバシーの法令オフィスに訴訟し、ヨーク群学区の 20U.S.C.1232g 遵守について申し立てることが可能です。
5. 親／保護者および適格生徒は有料で学習成績データを入手できます。この費用は作成費以外のものはかかりません。
6. 親／保護者および適格生徒は要請により、学習成績の保存場所や管理についての文書によるポリシーや手順を入手することが可能です。

7. 管理
   A. 生徒の学習成績は学長の直接の管理下にあります。
   B.過程教育権およびプライバシー法令（Title20、U.S.Code、§1232g、1986）に従い、手順は、特定し得る生徒の成績データの点検、挑戦、および／または公開となります。
   C. すべての生徒は、以下の内容の一部またはすべてを含む学習成績を取得するべきです。

特定した日付：名前、生年月日、現住所
   1) 親／保護者の名前および住所
   2) 完了した学習、達成したレベル（学年）
   3) 標準達成および州が要請する能力テストの結果
   4) 出席した日付
   5) 健康、身体検査の報告書、予防注射の証明書
   6) 2 種類の学位
   7) 試験の許可
   8) 最初および定期的な評価報告
   9) 特別な教育情報
   10) 個別教育プログラム（IEP）
   11) 法律、心理学、医療の報告書、社会歴
   12) 繊細な身体的問題の記録
   13) 繰り返し行動、異常行動の診断報告
   14) 児童裁判所や福祉施設などの代理店からの報告書

生徒の学習記録のデータは秘密事項

8. アクセス
   A. 両親の離婚や別居などにより州法が権利を認めないと学校が判断した場合以外は、学校は両親が生徒の記録を閲覧し評価する権利があると想定しています。
   B. 両親または適格生徒は学区が回収し保持し使用している、生徒の成績について閲覧し、評価することが可能です。学校は文書による要請があってから 14 日以内に不必要に遅延することなく要請に応じなくてはいけません。保護者および適格生徒は成績記録を調査する時間と場所について通知を受けます。
   C. 学区は、生徒の特定、評価または教育斡旋に関する、または無量かつ適切な公的教育に関する意見表明、または個人的な教育プログラムの会議の前に教育記録を要請に従って閲覧し評価します。
   D. 学校の管理又は指導に直接関連するスタッフが生徒の記録にアクセスすることができます。直接アクセスできるスタッフは、学長、学長補佐、教師、管理者、学校メンバー、関連サービス提供者で理学療法士等です。一部の他の者で、例えば、法律執行取締官、特殊な事情のため学校に連絡をしてきた者（弁護士、医療コンサルタント、セラピストなど）、または公的委員会、すなわち教育または苦情委員会、￥バージニア公立学校の生徒の学習成績管理ガイドラインに従事しながら他の学校管理者の補助をする親には要請に従って許可を出すことがあります。
   E. 学習成績の閲覧と評価の権利は以下のとおりです。
      1) 学校に対する学習成績の説明および解釈についての合理的な要請に対する回答を求める権利
      2) 学校に学習成績のコピーを要請する権利で、学校がコピーを提供しなかった場合、保護者は閲覧と評価の権利を妨害されたことになります。
      3) 保護者の代表者に学習記録を閲覧し評価する権利を与えられます
   F. 入手した学習記録が一人以上の生徒の情報を含んでいた場合、保護者または生徒は自分の児童のみの情報または特定された情報のみを閲覧し評価する権利を有します。
   G. 要請時、学校は、保護者または適格生徒に学校により収集され、保存され、使用された学習記録の」種類のリストが提供されます。
   H. 生徒の記録に関連するすべての保護者の権利は、特殊な状況または裁判所の決定により指針がある場合を除き、生徒が 18 歳または高校以上の学校に通うようになるとなると生徒に継承されます。

9. 開示
   A. 学習成績データの開示が要請された場合、速やかに対応するべきですが、実際要請から 5 営業日以内に対応されます。学校が要請された記録を提供するまたは 5 営業日以内に対応できるかどうか決定できない場合、学校は要請してきた者に対して、要請された記録を提供するまでに追加で 7 営業日まで準備することが可能となっています。
   B. 学校は生徒の転校において、他の法律で禁止されない限りは保護者の同意無しで学校から他の学校に開示することが可能です。学習情報は生徒が登録しようとしている高校以降の機関に対しても開示されることがあります。
   C. 学校は生徒の学習ファイルについて、以下に示す記録データ開示フォームを永久に保持します。

1) 書記的業務または学区内の専門スタッフ以外で学習記録データの開示を要請する者、すなわち保護者や適格生徒、および直接情報を受け取る者
2) 適切な場合、代理店または機関が要請
3) 開示するデータ
4) 開示に対する合法的関心およびデータが使用される目的

D. 生徒が持つ障害についての情報で個人特定できるものが必要でなくなった場合、保護者の要請により抹消する必要があります（生徒の名前、住所、電話番号、成績、出席記録、出席したクラス終了した学年、終了した年は限度なく保存されることを除きます）保護者が個人を特定できる情報の抹消を望まない場合、永遠に保持されます。

E. 記録データの開示フォームは保護者または適格生徒、学校の記録保管の責任者、および権利のある者が入手可能です。

F. 学習記録からの個人特定情報はディレクトリ情報を除き、第三者がこの情報を保護者または生徒の文書による同意なしでさらに他に公開しないという条件の下でのみ公開されます。このような公開は、上記のような状態を文書による説明する必要があります。第三者が、機関、代理店または組織である場合、公開される情報は管理者、従業員、代理人により、開示のした目的に対してのみしようされます。

G. 要請により、学習記録データを開示する相手のリストを開示することはできます。また各学校においてこのような開示状況は学校指針マニュアルファイル JO において入手可能です。

H. これらの代理店に加え、学長または指定された者は、国家の弁護士、裁判所サービスユニット、児童検索センターまたはグループホーム、精神および医療代理店、州および地方の子供および家族サービス代理店、児童裁判所およびこのような施設のスタッフに対し、学習記録を開示することは許可されています。このようないかなる学習記録は別の該当者に開示される前に、情報開示される者は州法の下で、学長または指定された者に、州法による例外を除き、事前に文書による保護者または生徒または 18 歳以上の生徒の同意無しに他の者に漏洩しないことを文書により証明することとします。

I. 生徒の学習記録データの開示するために保護者の同意が必要な場合で保護者が同意を拒否した場合、地域教育代理店（LEA）は非公式的な手段で同意を取得しなくてはいけません。保護者が同意を拒否し続ける場合、LEA は書面により、個人/代理店に、保護者の同意が必要であるが同意が取得できないという情報を通知しなくてはいけません。LEA は情報開示を望み必要な同意が非公式手段によっても得られない場合、更なる公式で適切な手段で効果的に情報を得る手段を用いる可能性があります。

10. ディレクトリ情報

A. ディレクトリ情報と考えられるデータは以下のとおりです。
   1) 出席しているまたはもうしていない生徒の名前
   2) 住所
   3) 生年月日と生まれた場所
   4) 電話リスト
   5) 出席した日
   6) 公認の活動またはスポーツの参加
   7) 体育チームのメンバーの場合身長と体重
   8) 受賞した賞または名声
   9) 他の同様の情報

B. 保護者または適格生徒は学長に 15 営業日以内に、すべてまたは一部の情報開示を同意なしで行わないことを文書により示すことで、ディレクトリ情報おの開示を許可しないことも可能です。

C. 保護者または適格生徒が開示しないことを要請した場合、学区はディレクトリ情報を学区の指針に従って公開します。

D. 学校はディレクトリ情報の開示についての記録は保持する必要はありません。

11. 永久記録でないものの破壊

ヨーク群学区は非永久的記録（学習記録でないもの）はすべての生徒において性世による特別な要請がない限りバージニア条例のガイドラインが提供している State Board of Education and the Library of Virginia の法律に従って破棄します。これらの記録は生徒がヨーク群学区を卒業または中退または他の学区に転校してから 5 年間は保持されます。これらはソーシャルセキュリティの利益の目的または他の目的で必要とする場合、生徒（または 18 歳以下の生徒の場合は保護者が）は記録のコピーを 898-0314 まで、ヨーク群学区からの卒業または中退から 5 年以内に連絡してください。

12. 永久または長期保存の記録

永久または長期保存される記録は、学業成績表、予防接種記録、最終的ディレクトリ情報拒否、終了（卒業/中退）情報です。このような記録は 75 年間保存され、その後破棄されます。

生徒の退行

参照: School Board Policy JED

生徒は、正当な権利のある学校職員、法律的強制力のある管理官、裁判所の事務官、または親または保護者で児童の親権を有する者がまず初めに児童の親または保護者の文書による許可がない限りは、学校が終了する時刻より前に学校から退出することはできません。

生徒が学校終了時間より早く退出する場合、親、保護者、親に承認された大人は生徒が退出することについて署名しなくてはいけません。生徒は安全性のため、車で大人と会ったり、学校外で待つことや歩いて帰ることは許されていません。生徒は教室まで直接迎えに来てもらうことも許可されていません。保護者は生徒を他の者が世話をする場合は、学校に文書による通知をする必要があります。

閉校または開始延期

悪天候のために学校を閉鎖するかどうかは非常に難しく、重大な事象です。閉校が決まる場合、以下について考慮されます。

- 悪天候と予想される量および種類
- 悪天候のタイミング
- すべての道路状況（道路および住宅）およびバス停
- 学校の駐車場および歩道を清掃できる可能性

学校が閉校または開校が遅延される場合には、情報は学区のウェブサイト、YCSD-TV、フェイスブック、ツイッターアカウントで決定次第すぐに掲載されます。さらに、各生徒のファイルにある連絡情報により、電話、e-mail、通知システムにより閉校または開校遅延についての情報が送られます。徐放は地方テレビやラジオにも提供されますが、学区はこれらの報道局による閉校の報道が正確である保証はしておりません。閉校についての最も早い通知は朝 5 時 30 分です。2 時間の遅延については幼稚園や延長クラスは行いません。

バージニア法令 22.1-98 項に基づいて、以下の提供が必要です。

天気が重症または他の緊急事態の状況による学校または学区の閉鎖が 5 日未満の場合、閉校した日に対する補習を行う事が決められています。ただし補習日は休校になった指導日以上は行いません。

天気が重症または他の緊急事態の状況による学校または学区の閉鎖が 5 日以上 15 日未満の場合、学校または学区は最初の 5 日に対しての補習とそれに加えた 1 日を各 2 日に対して行いますが、補習は最大 9 日までとします。

天気が重症または他の緊急事態の状況による学校または学区の閉鎖が 15 日以上の場合、学校または学区は少なくとも 10 日の補習を行います。

天気が重症または他の緊急事態の状況による学校または学区の閉鎖が 180 日以上または 990 時間以上にわたる場合、学区は生徒に指導日と同等の時間の指導時間を、指導できなかった日に対して提供することが可能です。

New Horizons Regional Education Center

ペニンシュラの主要 5 学区が悪天候のため閉校になる場合、New Horizons Regional Education Center も閉校されます。地域のラジオ又はテレビ局で通知されます。

学校報告カード

バージニアの学校報告カードは生徒の達成、認定、安全性および出席にしての情報を提供します。ヨーク群学区の情報も各学校の情報も、ホームページ *yorkcountyschools.org/aboutUs/testing/* により入手可能です。

学校の安全性および緊急事態

参照:School Board Policies EB and EE

学区は、生徒および生徒にバス事故、家事、負傷、病気、侵入者、トルネード、暴力、脅かし行為などの緊急事態に対応する手順の概要を示す特殊な指針を確立しています。

スタッフに、学校が始まって最初の週が終了するまでに説明します。学校の安全および緊急事態についての情報は学校のニュースレターおよび新学期の夜を通じて保護者にも共有されます。

検索および没収

ロッカーおよび他の保存施設は学校に所属する者であり、学校時間中は生徒に貸し出されます。学校の職員は、すべての保存スペースを開け、調査する権利を有しています。

学校の職員は、生徒および／または生徒の所持品（たとえば財布や本のカバンなど）を、生徒が法律、学校の指針や法令に違反するまたは学校や生徒に対して有害なものを所持している可能性があると合理的に疑う場合、調べる権利を保持しています。このような調査は他人の目の前で行われます。どのような場合も生徒の衣服を脱がすことはありません。

学校の総務は定期的に生徒のパーキングを巡回しています。学校内にあるオートバイはいつでも学校の総務が違法または許可されていないものをオートバイの中または上に保持している可能性を合理的に疑う場合、検査します。

学校内において、ドラッグ、爆弾、火器に対し、金属探知機やイヌによる検出調査を無作為に行う可能性があります。このような検索は学校の総務または学校総務における法律施行管理者が行います。生徒の検索に対してはイヌ科の動物は使用しません。

州法および指針により、学校内または学校機能施設にいて武器のような物は認められていません。学校の総務は備品または金属探知機により、武器や他の危険な物質が学校の敷地内または学校機能施設に持ち込まれていないか検索する権利があります。

学校の権利者は違法な、許可されていない、または密売品または学校の校庭から発見された物質を没収する可能性があります。

1973年504項リハビリテーション法令

1973 年 504 項リハビリテーション法令の適格基準に該当する生徒に対するサービスが各学校で利用可能です。関連する情報や手順については各学校の学長にお問い合わせください。

性犯罪者の登録通知

ヨーク群学区では危険な性犯罪者の生徒の安全性を装うのを見つけ出します。それゆえ、生徒が学校に通う道中、または帰り道、または学校関連の活動に参加している間、保護するため、ヨーク群学区は学校と同じ郵便番号または横の地区のすべての性犯罪者登録または再登録電子通知を要請します。このような要請および通知はバージニア州法令により設立された手順に従って行われます。

特殊教育

参照: School Board Policy IGBA

2～21 歳までの障害を持つ生徒に対しては、Disabilities Education Improvement Act (IDEA)の法律に基づいて教育および関連サービスを無料で受けることができます。保護者や成人学生を含む多くの学問療育のチームは、学区および適切な外部の代理店にの評価に基づいて適格性を決定します。障害は、自閉症、盲目、聴力障害、発育遅延、難聴を含む聴力障害、精神遅滞、多発性障害、整形障害、他の件子障害、精神病、特殊学習障害、スピーチまたは言語障害、外的頭部損傷、または盲目を含む視覚障害などを含みます。

生徒が特殊教育であると別の破諸又は他の州で特定された場合、その情報を登録と同時にまたはすぐに学校に知らせてください。特殊教育についての更なる情報は、学校の校長または学校の生徒サービス代表まで連絡してください。特殊教育の参照については学校の教師までご連絡ください。

注: *特殊教育の記録は、生徒の退学、他の学校への転校、学区の教育プログラムの卒業または完了後 5 年で抹消されます。*

早期特殊教育プログラムプレスクール

参照: School Board Policy IGBA

早期特殊教育（ECSE）プログラムはバージニア州 IDEA のパート B であり、2 歳から幼稚園になるまでの間の連邦または州の法律により適格とされた児童が対象です。ECSE プログラムは、機能遅延、発育以上、又は行動異常などの￥発育スキルの取得を傷害する行動障害を有する児童に対する早期介入サービスを提供しています。

プレスクールの生徒は ECSE サービスを 1 歳以下または連邦および州の法令に規定されている 14 障害カテゴリー以下でも適格とされる場合があります。特定された生徒の発育補助の目的、設定、および関連サービスは個別化されます。学校のスタッフは生徒の家族と協力し、個人で目標および生徒が必要としている発育に見合うよう働きます。

プレスクールの人数が制限されているのも統合的プレスクール達成プログラム（IPOP）の一部によるものです。IPOP は言語に基づき、通常通り成長している生徒および特殊教育が必要な生徒の両者に対し幅広くサービスを提供しているプリスクールの環境です。カリキュラムは、社会科、読書力などを強調します。すべての生徒は、図書館、芸術、音楽のクラスなど幅広いクラスに参加します。

9 月 30 日までに 4 歳の誕生日を迎える、悪環境におかれる可能性のある生徒のバージニアプレスクール開始プログラム（VPI）サービスはヘッドスタートプログラムのサービスは受けません。VPI は家族に焦点をあて、言語ベースのプレスクールプログラムで、生徒は高い質の教育活動を、学校の読書、健康、栄養およびスキルにおいて受けることを約束されています。

特殊教育アドバイス委員会

特殊教育アドバイス委員会は、ヨーク群学区が様々な方面の特殊教育サービスを提供することの補助をしています。定期的会議についての情報は YCSD ウェブサイト、学区 TV チャンネルに掲載したり、学校が保護者にこれらの会議についての通知いたします。ヨーク群学区の特殊教育に対する問題や懸念についての情報は保護者は出席し情報を共有することを推薦します。各会議は公的機関がコメントする時間があります。こ

の委員会についての情報は、898 - 00308 の Accountability&Instructional Services 部門までご連絡いただくか、委員会のメンバーに連絡ください。この連絡先は学区のホームページ yorkcountyschools.org.に掲載されています。

特殊教育アドバイス委員会のサービスに興味をもつ方は、適格性および委員会メンバーのサービスを必要とする理由を記載し、生徒のサービスディレクターに提出してください。

保護者リソースセンター
保護者リソースセンター（PRC）はヨーク群学区の保護者が、生徒の適切に特殊教育プログラムの計画および実施にあたり、効率的なパートナーになるよう補助する者です。PRC は保護者で自身の子供に対する情報およびリソースを見つける必要がある保護者の補助を提供します。特殊教育の過程、現在の問題やサポートにおける分野で、保護者はいつでも補助が利用可能です。補助は様々なトピックにわたり、個別で、小グループで、またはワークショップ型で提供されます。

生徒の私物

生徒は貴重品を紛失しないように注意しなくてはいけません。また、大きな金額のキャッシュは持たないようにしてください。学校は生徒の紛失や盗難に対する責任は負いません。規則に違反した所持物または指導を妨害する所有物は学校のスタッフに没収される可能性があります。没収された持ち物は、保護者にのみ返却されます。違法または禁止されている持ち物は最終処分のために正式に法的所有権を有する者に返却されます。

電話およびE-mailの通知システム

YCSD は家庭と学校のコミュニケーションを強化するため、自動マス通知システムを使用しています。学区および学校のスタッフはこのシステムを使用し、保護者に学校の休校、緊急事態、生徒の出席時効、学校のイベントおよび活動を電話および E-mail で通知します。
これらのメッセージを受信するため、学校は最新の連絡情報を必要としています。引っ越したり、仕事を変わったり、また新しい携帯電話の番号になった場合、生徒の学校に新しい連絡情報を提供し、通知メッセージを見逃さないようにしてください。

電話の使用

電話は学校のオペレーションの重要な道具です。それゆえ、生徒は電話は非常事態にのみ使用可能とされています。保護者は生徒に対するリマインダーまたはメッセージの送信は、緊急事態の場合のみに限定するよう要請してください。緊急事態または短時間で返さなくてはいけないメッセージは、フロントオフィスで呼び出し、教室でボイスメールは使用しないようにしてください。

試験および宿題

参照: School Board Policy IKF and IKFA

標準学習
指導過程をとおしてバージニア標準学習（SOL）を強調することにより、YCSD は生徒に健やかな教育プログラムを提供し、春に行われる州が委任する SOL 試験の準備を行います。SOL 試験は時間制限がありません。小学生および中学生は、生徒は英語（読解およびライティング）、歴史／社会科学、数学、科学についての SOL 試験を受けます。SOL は高校では以下の科目に登録した生徒がコースの最後の試験として、英語（読解およびライティング）（英語 9～11 をカバーするため 11 月年生以上では 2 つの SOL のテスト）、算数 I、算数 II、幾何学、世界史 I、世界史 II、世界の地理、アメリカ史、地学、生物、化学についての試験を受けます。

すべての生徒は標準または上級の高校卒業の資格に必要な認定履修単位を取得する必要があります。卒業に必要な履修単位はコース終了時の必要とされるSOL試験における合格スコアに基づいているか、州認定のそれに代わる試験に基づいています。合格スコアを達成できなかった、またはSOL試験で良好な成績が出せなかった生徒に対しては、補助プランが利用可能です。試験時間の延長について、特定の文書による障害を持ち個別教育プログラム（IEP）または504管理プランに適正がある生徒については認められています。英語が不十分（LEP）であると特定された生徒は、LEP計画により試験時間の延長が認められています。

生徒とご家族は、ガイダンススタッフと学校の情報、費用、スケジュール、提出期限およびそれに関連する課題について十分に話す会うことをお勧めします。詳しい SOL 試験についての特定の情報は www.doe.virginia.gov.で入手可能です。

英語学習者の ACCESS (ELLs)
No-Child Left Behind（NCLB）法律の必要事項に従って、英語が不十分（LEP）な 12 年生の生徒は英語能力テストを受けなくてはいけません。ELL 試験のための ACCESS は、LEP 生徒のスピーキング、リスニング、リーディング、ライティングのスキルを評価します。

スタンフォード達成試験(SAT10)
スタンフォード達成試験は全国共通試験でリーディング、数学、および言語について評価します。5年生の生徒は秋に、2年生の生徒は春に試験を受けます。

大学推奨試験

- 大学適性試験（SAT）I 倫理試験
- SAT II:科目試験
- アメリカ大学試験（ACT）

ほとんどの大学機関は、学校の掲示やカタログによると、入学試験のようなものを受ける必要があります。経済補助プログラムのほとんどの大学およびスポンサーは、生徒にACTまたは大学入試試験（CEEB）を受けることを要請しています。いずれのプログラムも秋に日程があり、上級生には推薦されます。春の日程は下級生で早期決定プランまたは軍関係の学校に進学する計画として受験することを推薦しています。ACTおよびSATはGrafton高校で受験可能です。

ACR試験は、大学生に特に必要とされる知的タスクに対する能力を測定するものです。生徒は英語、数学、社会学、自然科学についての試験を受けます。

SATI：倫理試験は 3 時間の試験でクリティカルリーディング、ライティングおよび数学の試験です。ガイダンスオフィスにおいて情報が入手可能です。科目別試験で 1 時間の中学高校の科目における試験です。これらの試験を必要とする大学は、科目と日程についてカタログで明記しています。

PSAT/NMSQT

10年生の生徒はPreliminary Scholastic Aptitude Test／National Merit Scholarship Qualifying Testを受験することを推奨しています。この試験はヨーク群高校で10月に登録し、必要費用を払った生徒において受験可能です。

PSAT/NMSQTは、SATの短縮したバージョンでクリティカルリーディング、ライティング、数学など大学で重要な能力についての内容です。2年生はPSAT/NMSQTを受けることを推奨されており、試験は1年生で高校以上も継続教育を希望する生徒に推薦されています。1年生のうちにこのテストを受けることは、National Merit Scholarship ProgramおよびOutstanding Negro生徒に対するNational Achievement Scholarship Programへの最初のステップです。

Advanced (AP)試験

APコースに登録している生徒はAP試験を受けることを推奨されています。ほとんどの大学はAP、大学の単位または双方を成績が良好な生徒に提供しています。これらの試験はヨーク群学区で受験可能です。

国際バカロレア学位プログラム(IBDP)

国際バカロレア学位プログラム試験は 6 つの IBDP 科目グループである、英語 A 言語と文学 HL、ラテン語 SL、フランス語 SL または HL、スペイン語 SL または HL、アメリカ史 HL、生物学 HL、物理 SL または HL、数学 SL または数学 HL、地理 SL、シアターHL、を完了した生徒が利用可能です。カレッジや大学はこれらの IB の成績に基づいてクレジットを与えます。IB の成績は国際バカロレア機関が生徒の中間成績および終了試験の成績に基づいて決定します。これらの評価はヨーク群高校で行われます。

Armed Services Vocational AptitudeTest Battery (ASVAB)

試験の対象は主に 1 年生と最終学年生です。様々な分野の能力を測定し、生涯における仕事および勉強の目的を決定するための補助を目的としています。別の選択肢について検討する一方で、キャリアの可能性の選択肢として、軍隊のサービスを見学することも可能です。試験の成績は 5 つの種類のジョブクラスタを組み合わせています。一般および軍隊の仕事の参照ガイドリストにおいて、5 つの内 1 種類は最も適切です。ASVAB についての情報は高校ガイダンスオフィスに配置してあります。ASVAB はヨーク群高校において、保護者の許可ベースで選択する場合、受験可能です。ヨーク群学区は試験結果を生徒の要請がない限りは軍隊に送りことはありません。

ACT 試験日

2015/10/24
2015/12/12
2016/2/6
2016/4/9
2016/6/11

SAT 試験日

2015/10/3
2015/11/7
2015/12/5
2016/1/23
2016/3/4
2016/5/7
2016/6/4

注:上記は SAT の実施予定日です。

ACT および SAT の登録資料は高校のガイダンスオフィスで入手可能です。

IBDP 試験スケジュール

2016/05/02	英語 HLPaper1
2016/05/03	英語 HLPaper2
2016/05/04	生物 HLPaper1 および 2
2016/05/05	生物 HLPaper3
2016/05/06	物理 HL および SLPaper1 および 2
2016/05/06	歴史 HLPaper1
2016/05/09	物理 HL および SLPaper3
2016/05/09	歴史 HLPaper2
2016/05/10	スペイン語 HL および SLPaper1
2016/05/10	数学 HL および数学 StudiesPaper1
2016/05/11	数学 HL および数学 StudiesPaper2
2016/05/11	スペイン語 HL および SLPaper2
2016/05/12	歴史 HLPaper3
2016/05/16	地理 SLPaper1
2016/05/17	地理 SLPaper2
2016/05/17	フランス語 HL および SLPaper1
2016/05/18	数学 HLPaper3
2016/05/18	フランス語 HL および SLPaper2

ASVAB 試験日程

2015/9/30 および 2016/3/24	York High School
2015/10/9 および 2016/2/26	Tabb High School
2015/10/21	York River Academy
2015/11/18 および 2016/4/15	Bruton High School
2015/11/12、13 および 2016/2/11	Grafton High School

州立試験

日程	州の試験	学年/科目*
夏期試験		
2015/7/8～9	夏期英語:オンラインライティング	EOC
15、2015/7/13～15	夏期英語:筆紙ライティング	EOC
2015/7/21	サマースクールライティングなし	EOC
秋学期		
2015/9/15～17	通常夏期ライティングなし	EOC
16-18、2015/9/	短期夏期ライティングなし	EOC
2015/10/	秋期英語:ライティング(筆紙およびオンライン)(第 1 回 TG)	EOCTG
2015/11/16～18	秋期英語:ライティング(第 2 回 TG)	EOCTG
2016/1/19～22	秋期ライティングなし	EOC
春学期		
2016/2/1～26	ACCESSf または ELLs(LEP)	
8-10、2016/2/8～10	ビジネスライティング–第 1 回	EOCTG
9-11、2016/2/9～11	秋期短期再受験	EOC
2016/3/7～9	春期英語:ライティング(筆紙&TG)	8、11
2016/3/7～18	春期英語:MC および SP オンラインライティング	8、11
2016/4/11～13	春期 TG–第 2 回ライティング	EOCTG
2016/4/21	VAAP 収集の証明	3-8&11
2016/4/25～29	春期卒業ライティングなし	EOCTG
2016/5/2～13	AP/国際バカロレア試験	EOC
2016/5/10～26	春期小学校ライティングなし	3-5
2016/5/16～20	春期高校ライティングなし	EOC&6-8
2016/5/18～26	春期中学校ライティングなし	EOC&6-8
2016/5/23～2016/6/3	春期回復	3-8&EOC
2016/6/1～2	ビジネスライティング–第 2 回	TGEOC
2016/6/2～3	春期高校ライティングなし	YRA
2016/6/6～10	春期短期再受験	3-8&EOC
2016/6/9～10	春期 YRA 短期再受験	YRA
2016/7/11～13	夏期英語:筆紙ライティング	EOC
2016/7/14～15	夏期英語:オンラインライティング	EOC
2016/7/21	サマースクールライティングなし	EOC
2016/9/8～11	通常夏期ライティングなし	EOC
2016/9/15～16	短期夏期ライティングなし	EOC

***卒業生は 4 回までライティング無しを受講でき、ライティングのクラスは 3 回まで各登録において受講できます。**

学区試験

日程	試験	学年/科目*
2015/9/21～24	Stanford 10 リーディング、数学、言語	5
2015/10/14	PSAT–登録	9-11
2015/10/5～9	ギフテット	1-12
2015/12/4～11	ギフテット	1-12
2016/2/1～5	ギフテット	K
2016/2/22～26	ギフテット	1-12
2016/4/25～28	Stanford 10 リーディング、数学、言語	2
2016/4/18～22	ギフテット	K-12

*EOC=コース終了

標準学習試験（SOL）は連邦法で定めらえており、No Child Left Behind 法と連携しています。理由のない休みは特殊な状況を除き避けるよう心掛けてください。

送迎

参照: School Board Policy EEAB

ヨーク群学区の生徒で学校に歩いて登校できる範囲外に住んでいる生徒は、指定されたバス停まで無料の送迎サービスが提供されています。送迎は多くの放課後活動の後にも利用可能です。

安全性

バス運転手にとって安全性が一番重要ではありますが、我々にも児童が安全にバスに乗り降りできるよう指導する責任があります。バス運転手は常に学校の総務やオフィスのスタッフにバスの安全性についての補助を求めるだけではなく、バスに乗る児童および保護者からもそのサポートを求める必要があります。以下は保護者および生徒の安全性を守るカギとなる条項です。

学校またはバス停までの徒歩

- 年少の生徒が、歩く、または自転車で通学する、またはバス停でバスを待つ場合の監視してください
- 他の保護者と「監視」の責任を交代で行い、生徒が大人の目の届くようにしてください
- 可能ならば、グループ行動できるようにし、児童がグループまたは 2、3 人以上で歩くようにする
- 児童は歩道を歩いてください。歩行がない場合、対向車に向かって歩くようにしてください。
- 学校またはバス停まで歩く時間は十分に確保してください
- 生徒は角または横断歩道のみを渡るよう指導してください
- 道路を渡る場合、左右を確認し、左を再度確認してから踏み出すことが重要であることを教えてください
- 常に注意するよう心掛けてください。生徒は、向かってくる車の音が聞こえなくなるため、ヘッドフォンを付けたり、歩きながらテキストを打ったりしてはいけません。
- 天候が悪い場合、バス停では少なくとも 10 フィート以上道路から離れて待っていてください
- 知らない人が児童に近づいてきた場合は逃げるまたはすぐに大人に報告するよう言い聞かせてください
- 可能であれば、疑わしい車が特に送り迎えの朝と夜の時間に近くに止めてある場合、プレートナンバーを控えてください。この情報を警察と学校に知らせてください。

バスの乗降

- バスに乗るまたはバスに落ちるために立ち上がるのはバスが完全に止まるまで待ってください
- バスの近くに物を落とした場合、運転手が見えていない可能性があるので拾ってはいけません。運転手に助けを求めてください。
- 会談の上り下りには手すりにつかまってください
- 席を見つけて直ちに座ってください。
- バスの手すりやドアにはさまれるようなドローストリングの服やカバンは身に着けないようにしてください。

バスに乗車

- 常にバス運転手の指示に従ってください。
- バスが動いている間は常に座っていてください。
- バスの廊下に荷物などは置かないでください。
- 運転手の邪魔をしないように静かに笑ったり話したりしてください。

バス乗車の安全性、緊急脱出口、行動ルールについての受取文書のコピーは保護者に学期が始まったら送付されます。受取文書は保護者が記入して、最初の週の終わりまでに学校に返却してください。

- さらに、バージニア法令§22.1-16、§22.1-177 and §22.1-178 によると、プレキンダー（幼稚園の 1 年前）の生徒が最初にバスに乗る場合の安全性トレーニングは学校が始まる最初の週および年間とおして定期的に行わなくてはいけません。
- 緊急ドアの開封すべての生徒により最初の 30 日以内、および 2 回目は 2 学期に行います。

スケジュールおよびルート

送迎部門ではバスのルート、バスおよび運転手の割付、バス停およびお迎えの時間を設定します。保護者は学年が始まる前に、バスルートに変更があるまたはバス停の場所が前年と違う場合は通知を受けます。この情報についてはすべての保育園、6 年生、9 年生の生徒、および 8 月の第 3 週以前に送迎に登録を行った新入生にメールで通知されます。

バス送迎サービスは行き止まりの道または主要道路から 0.25 マイル未満の小道には侵入しません。バス送迎サービスはバージニア運輸省の手入れが行きとどいていない道にも侵入しません。

以下は学校の近隣が指定している歩道ゾーンです。

- Bethel Manor Elementary School–一部の学区エリア
- Coventry Elementary School–コンベントリー地区の一部

- Dare Elementary School–グラフトン駅のアパート
- Mt. Vernon Elementary と Tabb Middle Schools–キングスビラおよびプランテーション地区
- Queens Lake Middle School–クリークサイドランディングの一部
- Grafton Middle と Grafton High Schools–グレンローレルおよびグラフトンウッドの一部

バス停
中学高校の生徒は 0.4 マイル、小学校の生徒は 0.25 マイル、バス停まで歩く必要があります。放課後は、バス停まで、中学および高校の生徒は 1 マイル歩く必要があります。

お迎えまで、生徒は 15 分以上前または 10 分以内にバス停に到着してはいけません。保護者または指定された者は年少の児童をバス停まで見送りにき、バスに乗り入れるまたは乗り入れないのを見届けることを推奨しています。生徒はバスを待つ間静かに列にならび、道路に出ないようにしてください。好ましくないバスの遅延が時々起りえます。生徒はバス停に少なくとも通常時間より 15 分以上は待機してください。

幼稚園児の送迎
幼稚園の生徒の学校からの送迎は 1～5 年生で近所にすむ学生と一緒に行われます。学校がおわると、幼稚園の生徒は、他にまだバスに乗っている生徒と一緒にバス停におります。幼稚園の生徒のみがバス停に降りる場合、保護者（または他の大人で児童の世話の許可を有する者）がバス停にいない場合、子供は学校まで戻ります。
保護者で他の生徒と共に児童を下車させたい場合、児童が通う小学校の送迎部と学長に通知しなくてはいけません。

バスの予定変更
生徒が特別な活動のためにいつもと違うバスを載る場合、保護者が文書によりそれについて要請しなくてはいけません。通常の時間帯を永久に変更する場合は、乗り物の整備および送迎関連部門に文書により通知しなくてはいけません。生徒が他の生徒と一緒に家に帰る場合、両者の生徒の保護者は学校にその変更について通知しなくてはいけません。一般的に、スクールバスは容量に基づいて運営します。よってベビーシッターの目的での乗車は許可されますが、他の活動（パーティーや遊びに行く場合）のためでは使用できません。

スクールバスの操作
参照: School Board Policy EEA
生徒は、教室内においても同様の自制心を持った行動を行うべきです。スクールバスの運転手はスクールバスにおける注意、整備および安全性因子を含む操作に関わる訓練を受けています。また運転手はこれらの指示に従う責任があります。スクールバス担当の運転手の操作は、生徒の正しい行動に左右されます。

不祥事
バスに乗車中またはバス停における生徒の行動は、学校の総務の責任です。規則違反を講じた生徒は、学校の総務より罰則を受けます。家からバス停またはバス停から家の道中に不作法にふるまう行動もこれに該当します。

スクールバスでの規則
スクールバスについての規則は以下のとおりですが、これに限られません。
1. 生徒はバス運転手にいかなるときも従います。
2. 生徒は指定された道路から離れたバス停でバスを待ちます。
3. バスには順番に乗り込み、席に座ります。
4. 生徒は常に席に座っています。
5. 生徒はアニメ、エアゾールカン、ガラス物質、風船、または他にバスの安全走行を阻害する可能性のあるものは持ってきてはいけません。
6. バスに乗車中、手、足、頭はバスの外に出してはいけません。
7. 生徒は他の車に乗っている人や歩いている人に叫んではいけません。
8. 生徒はバスの中でまたはバスの外に向けて物を投げてはいけません。
9. 生徒は許可なく緊急ドアや他のバスの装置を触ってはいけません。
10. 生徒は必ず座り、廊下に物を置かないでください（大きな学期や他の大きな荷物は生徒が座る必要がある場合は譲ってください）
11. 生徒はお弁当箱やカバンの中に入っているもの以外、食べ物や飲み物をバスの中に持ち込んではいけません。
12. 生徒はいかなる場合もバスの中で携帯電話を使用してはいけません。

生徒以外のバスおよび／または校外学習
保険規制により、ヨーク群学区に登録している生徒以外がスクールバスに乗ることは禁止されています。
注:*児童の保護者で校外学習の付添に来る場合も含まれます。*

教育プログラムへの送迎
ヨーク群学区ではホームスクール以外に他の教育プログラムも登録することを許可しています。また以下の理由の 1 つにより送迎サービスも提供しています。

1. 教育プログラムで、生徒のホームスクールで生徒が在籍予定の 4 年に開講されないもの

注:*.高校の生徒は、ホームスクールのオンラインで教育プログラムが開講される場合は登録できません。*

2. YCSD マグネットプログラムまた Governor's School に登録する場合

ビデオ監視

ビデオ監視装置は学校の交通量が多い場所およびスクールバスにおいて、生徒の安全性と行動を監視するために設置しています。監視装置は監視しているときもしていない時もあります。行動規範のためにはビデオ記録が使用されます。法の執行はビデオ記録を見て犯罪捜査を行う可能性があります。

ボランティア

各学校においてボランティアは重要な役割を担います。ボランティアは受付、教室、および校外学習を補助します。ボランティアは学校の生徒のメンターとしても活躍します。ボランティアに興味がある場合、または学校のボランティアプログラムに質問がある場合、情報を収集のために児童の学校に連絡してください。

学校訪問

参照: School Board Policy KK

すべての訪問者は訪問者パスを発行する場所でオフィスに報告してください。訪問者パスの発行に正式な ID が必要とされることがあります。

国内および国外の他の学校の生徒は正当な理由（兄弟または姉妹の送迎、チューターなど）なしに他の学校に踏み入れてはいけません。保護者で教室を訪問したい場合、学校の学長に事前に連絡し、訪問を約束し正式に訪問スケジュールを立ててください。

その場合も教室に行くのに訪問者パスを取得してください。パスは学校を訪問する場合はいつも見えるところに身に着けてください。

歩行通学

近隣で交通手段がない場合以外（交通スケジュールのルートをご覧ください）は学校に歩いてくることは推奨していません。生徒は交通手段があるのに近所から歩いて学校に通う場合、保護者の文書による許可を学校が認めなくてはいけません。歩いて通う生徒は学校開始 15 分以上前についてはいけません。また歩行者は学校から出るのに、バスが学校の校庭を発車するまで待たなくてはいけません。
他の学区の送迎についての情報は、送迎部 898-0344 までご連絡ください。

中退

生徒が学校を中退する場合保護者は、学校の事務所および教師に、最低 1 週間以上前に知らせてください。学校は適切な時間をかけて記録の準備をします。

日までの成績を受け取ることができますが、進級／留年などの評価は報告カードには記されません。生徒が 15 日以内に中退する場合、最終評価および評価の設定は次の学年度に行います
要請に応じて保護者は児童の記録は新しい学校に持参することが可能です。保護者はこの記録を直接入手し公開フォームに署名します。受取先の学校に直接送る場合、公開フォームは保護者が署名しなくてはいけません。保護者は自動の記録について学校に予定を予約することで検討することができます。

労働許可

学校は労働許可を出しません。バージニアの労働省は雇用者資格を発行しています。詳しい情報は http://www.doli.virginia.gov/laborlaw/employment_certificate_instructions.html.**をご覧ください。**

小学校

小学校指導プログラム

小学校の指導プログラムは幼稚園から 5 年生にかけて適切な開発的実地に基づいています。学習環境の中で、生徒の知的、社会的、感情的、身体的な成長は毎日の指導であると考えています。プログラムは意味のある内容、個人の発育、および他人との共同についてです。バージニアの標準学習が各内容の基盤になっています。

英語：リーディング

リーディングは小学校プログラムの中心です。理解力、フォニックス、ワードパターン、構造、および他の手法を学びます。リーディングプログラムは、文学の豊かな言語および歴史や科学など他の内容分野の語彙、意味、また学習者の興味を拡大します。スキルは生徒が読んで理解するに伴い向上します。教科書、文学（散文および詩）、図書館の本、参考資料、漫画、コンピュータソフトウェア、および新聞はなど幅広い種類の指導用資料を使用し、英語プログラムを強化します。

英語：ライティング

ライティング、スピーキング、リスニングは、プログラムに密接に関係する重要なコミュニケーション能力です。生徒はライティング過程をとおして、考えを表現し、情報を共有することを勧められます。文法、スペル、機能を作り上げる能力は、ドラフト、編集、書き直し、公表により作り上げていきます。日記、ストーリー、ポエム、エッセイ、手紙、報告書、発表は生徒が教授されるコミュニケーションの方法により脚色されます。

数学

概念、計算、および問題解決は、各生徒の能力およびコンペテンシーを伸ばすよう設計された数学プログラムを提供します。数学指導では、生徒の理解および数学の概念を適用させる能力を促進するため、指導には操作的な資料を幅広く使用します。

歴史／社会科学

米国バージニア、および古代世界文化における家族、地域、福祉についての学習は、小学校の生徒の視野を広げることになるでしょう。歴史、文化、習慣、地理、経済、現在の事象についての教育は、重要な歴史／社会科学の指導の要素です。

科学

小学校のプログラムでは、科学の勉強は、実験、現場体験、「実践」を含み、研究は世の中の物理や生物についての意味のある教育を提供するよう設計されています。教科書、実験試料、一般書、および科学の装置は科学リテラシーの教育に使用されます。

リソースクラス

中心的内容に加え、小学校の生徒は健康、体育の教育および芸術および情報処理についての指導を受けます。健康教育は、重要な健康概念、健康の決定、健康の保持および促進の主な3点により構成されます。体育教育は、動く能力開発、解剖学的基盤による動き、フィットネス計画、社会的開発、エネルギーバランスの、5つのグループから構成されています。芸術は視覚芸術、音楽、および展覧目的の作品が含まれます。図書館のリソースクラスではリサーチおよび研究を行います。

芸術マグネットWaller Mill Elementary

Magnetの芸術クラスでは、1～5年生はコーラス／楽器を使用した音楽、ドラマ、視覚芸術、ダンスについての指導を受けます。年少の生徒は協力しあい、芸術に対する感謝、クリティカルシンキング、問題解決能力、自負心の促進などを発表会の準備や展覧会での作品をとおして表現していきます。さらに、想像力やクリティカルシンキングなどの特殊能力およびコミュニティ芸術グループや機関などのパートナーシップによる生徒の利益を促進させます。芸術で優れているのは、学術プログラムの自然の延長およびコアカリキュラムの一部の統合です。
このマグネットプログラムのカリキュラムは、芸術を主要学業分野に織り込んでいます（すなわち、歴史：音楽や芸術において特定の機関におけるもので、文化や社会学などを反映しているもの）。他分野にわたるこの芸術および学業プログラムは、マグネット学校の学生にマグネット学校以外の学生と同様の主要指導時間を提供し、標準学習試験の準備に備えます。リーディングや技術の教育はすべての学年レベルに応じて継続教育されます。更なる情報は220-4060までご連絡下さい。

数学、科学、技術

Yorktown小学校マグネットプログラムでは生徒は1～5年生までSTEM（科学、技術、エンジニア、数学）の強化プログラムでクリティカルシンキングと世界において関係のある仕事に対する準備として設計されたトピックについて教育を受ける機会があります。若い数学者、科学者、エンジニアは、広い教育を受け、協力問題解決能力、クリティカルシンキング、および他分野にわたる学習を広げていきます。生徒は様々な種類の数学、科学、技術の活動に参加し、科学のスキルを開発します。また、生徒は現実の数学者、科学者のメンターを受けることもできます。STEMは信念、学習経験を変化、達成ベースのプ

ロジェクトを設計し、技術を統括しているリソース設定に持ち込み、科学や数学の実務応用に集中します。

数学、科学、および技術のマグネットは、数学および科学を幅広い教練に使用することで、他の学業分野である、英語、リーディング、および社会学の中に統合します。

この統合的アプローチではすべての生徒に従来の学業分野における時間を確保し、標準学習評価の試験に対する準備を行います。生徒は従来のリソース分野である体育教育、音楽、芸術、ライブラリーに追加で数学、科学のリソースクラスを受けます。

くわしい情報については898-0358までご連絡ください。

中学および高校

学術プログラムおよび認識

コミュニティサービスシール

ヨーク群学区サービスシールは生徒が 9〜12 年生の間 150 時間以上のコミュニティサービスを実施する際のしるしです。生徒で 2011〜12 年の間に 9 年生になった生徒は選択プログラムを開始します。2011〜12 年以降の学年では、生徒でヨーク群学区に転校してきた生徒は、夏前または 10〜12 年生の間割り当てられた時間を完了する必要があります。生徒でコミュニティサービスプログラムを完了した場合、コミュニティサービスシールが認定されます。

優等学位プログラム

ヨーク群学区の優等学位プログラムは 8〜12 年生の生徒に設計されており、多くの学術プログラムを習得する目的のものです。適格生徒でこのプログラムに参加する場合、優等学位プログラムの必須コースを完了させる必要があり、特定の平均成績を収め続け、20 時間のコミュニティサービスを学校外で完了している必要性があります。州が規定している必須以上の優等学位プログラムを完了した生徒は、優等シールを学位習得時に取得し、特別賞や奨学金取得についても考慮に入ります。

中学校のマグネット芸術

中学校のマグネット（mSAM）は 6〜8 年生の生徒に創造的で挑戦的な経験を提供しています。中学生でこのプログラムに興味のある生徒は、Queens Lake Middle School（QLMS）でこのプログラムに応募することが可能です。QLMS は生徒の自立学習、芸術、クリティカルシンキングおよび問題解決能力を開発すると同時に共同的に芸術鑑賞の能力を開発します。文学、シアターアート、リズムアートのクラスは、Brution High School の芸術学校（SOA）で、QLMS で中学校の選択コースおよび主要科目を履修済みの生徒が取得できます。すべての生徒は mSAM に QLMS において参加します。さらなる mSAM の情報は QLMS 主部の 220-4080 までご連絡ください。

国際バカロレア学位プログラム

国際バカロレア学位プログラム（IBDP）は 11〜12 年生優秀な生徒に対する大学準備コースの学科コースです。ヨーク高校前学位プログラムおよび学位プログラムの許可は応募形式です。すべての IBDP コースは IB 機関でトレーニングを受けた教師により、IB 指導を国際バカロレア機関（IBO）にて行われます。コースはライティング、タイムマネージメント、およびクリティカル／高度な思考能力の開発するために設計されています。それに加え、これらのコースにおいて各生徒は、IB の教育カリキュラムが他分野にわたる性質を有する故、国際的精神を開発されます。

IBDP の機関は 11〜12 年生です。IB のコースで SL（標準レベル）の授業時間は最低 150 時間です。HL（高レベル）と汁われているコースは 240 時間の授業時間を必要とします。すべての IBDP コースは weighted クレジットです。コースが 6 つの科目で構成されているのに加え、IBDP の必要科目は以下のとおりです。理論知識（ToK）コース、創造性・行動・サービス（CAS）、およびエッセイ（発表文として 4000 ワード）。生徒で IBDP の必要事項を 11〜12 年生ですべて完了した生徒で試験を通過した場合（少なくとも 3 コースの HL）、ヨーク群学区の学位に加え、国際バカロレアの学位（IBO が発行）を取得することが可能です。IBDP コースを取得してはいるが 6 科目以下の IB 試験に合格している生徒は、ヨーク群学区の学位以外に IBDP 資格試験を受ける資格があります。

11〜12 学年の生徒で、全 IBDP に受からなかった生徒で、すべての事前必須科目を満たしている場合は教師の推薦により空席があれば IB コースに登録することが可能です。

IB 登録費用や試験にかかる費用については生徒が責任をもちます。経済的補助の必要性がある場合、IB の登録費および意見費用は免除されます。

ヨーク群では、IBDP はヨーク高校の中で行われます。事前学位プログラムおよび IBDP の申し込みは各中学および高校のカウンセリングオフィスで入手可能です。国際バカロレアプログラムの詳しい情報はコーディネーターに 890-5014 までお尋ねください。

芸術学校

ヨーク群の芸術学校（SOA）は、高校の生徒の文芸における芸術教育、シアターアート、リズムアートを強化しています。SOA は Bruton High School にあり、9～12 年生のヨーク群学区の生徒が登録できます。SOA の登録は出願／オーディションにより決定されます。生徒は一定の GPA を学期ごとの SOA で取得していなくてはいけません。詳しい情報については 220-4095 の芸術学校のコーディネーターまでご連絡ください。

オンライン学習プログラム

オンライン学習プログラムの目的はいつでもどこでも中高生（6～12 年生）の生徒が学習できることです。さらに、様々な AP オンラインコースが、バージニア州教育省がスポンサーのオンライン AP スクールが開講されています。コース選択の拡大、コースの時間が衝突する、また夏期学習オンラインコースの目的で生徒に高い質の教師により開催されます。更なる情報はオンライン学習のコーディネーター、898-0454 までご連絡いただくか、または学区のウェブサイト yorkcountyschools.org.をご覧ください。

York River Academy

York River Academy（YRA）はヨーク群学区のチャータースクールで、Yorktown Middle School キャンパスにあり、9、10、11、12 年生の選出された生徒のために設計されています。また、コンピュータ修理やケーブル、ウェブデザインなどを中心とした分野における、革新的学習およびキャリア準備教育を行います。YRA の申し込みは各中学および高校のガイダンス部にお問い合わせください。YRA の情報についての連絡先は 898-0516 です。

学業達成

中学生の学力は以下によって決定されます。

- 優等生名簿への掲載
- すべて A

高校性の学力は以下によって決定されます。

- 賞は 3 学期以降の学業成績により与えられます。各賞は前年の 3 および 4 学期と今年度の 1 および２学期に基づいて与えられます。
- 4 学期の成績が 3.75 以上である場合、学校からのレターで優秀者のピンおよび賞状が贈られます。次の年で 2 重になる場合は各学校で決定されます。
- 4 学期の成績が 3.25～3.749 である場合、学校からのレターで優秀者のピンおよび賞状が贈られます。次の年で 2 重になる場合は各学校で決定されます。
- 学業通知のレターが届くとすぐ、生徒はレターの額を買う権利を取得します。

注: *高校は GPA をクラスランキングおよび達成したクラスにおける GPA で計算します。*

クラブ活動

学校のクラブおよび機関のメンバーに対する規則、およびそのグループに関する義務と責任は、中学および高校の学区で基本的には同じです。メンバーの特権および責任についての情報は、スポンサーから取得することが可能です。高校生は、特殊な例外はあるものの、課外活動に参加するためには学期中 5 科目または同等の試験に通過しなくてはいけません。夏期の活動についてのクレジットは前学期に先立ってすぐに応募しなくてはいけません。

運転とパーキング

1. 就業学習プログラムを受けている、メンター制で実習科目、医学的理由がある、または学長の特別な許可がある生徒に限り乗り物を学校の敷地内に置いておくことができます。
2. 運転およびパーキングの許可は学長および指定された者が発行します。
3. 違反者は許可の取り消し、および／または車を撤去されます。
4. すべての乗り物で学校の敷地内に駐車する場合は鍵をかけてください。
5. 生徒が学校の敷地内に乗り物に乗ってくる場合は、その乗り物全てに関する責任をもちます。
6. 学校敷地内にある乗り物すべては検査の対象となります。
7. 1 学期で生徒の駐車料金は 50 ドルで、1 年で 100 ドルです。以下の場合、5 ドルかかります。
    - キャリアのメンター。マーケティング、ビジネス、人材サービス、単位履修のため職業訓練に参加する生徒
    - ガバナー科学および技術のマグネットの生徒で単位履修のためにメンタープログラムに参加している生徒
    - 芸術学校の生徒で単位履修のために実務に参加している生徒
8. 費用は返金不可能です
9. 学長または指定された者により一時的許可が発行されることがあります。

卒業必要事項

参照: School Board Policy IKFandIKFA

バージニア教育省により適用されたバージニア学校の標準法により、高校卒業の必須項目およびある種の学位に必要な科目が制定されました。さらにヨーク群学区および国際バカロレアプログラムは更なる学位として学認められています。

学位の選択およびバージニア卒業必須科目 2013～2014 年以降に 9 年生として入学した生徒					
学位の種類:	*上級クラス**		*標準**		***ModifiedStandard***** *(障害を持った生徒で 2012 年以前に 9 年生で入学した者のみ対象)*
内容	*標準単位クレジット*	*履修クレジット**	*標準単位クレジット*	*履修クレジット*	*クレジットの標準単位t*
英語	4	2	4	2	4
数学	4	2	3	1	3
科学	4	2	3	1	2
歴史および社会学[A]	4	2	4	1	2
外国語[B]	3				
健康および体育教育	2		2		2
経済および個人ファイナンス	1		1		
芸術またはキャリア／技術教育	1				1
[C]外国語、芸術またはキャリア／技術教育			2		
[D]選択	3		3		
生徒選択試験		1		1	
オンラインコース[E]					
仕事/[F]技術教育資格					
必要総合クレジット	**26**	**9**	**22**	**6**	**20**

詳しい情報については www.doe.virginia.gov.バージニア教育省の High School Graduation をご覧ください。

*Advanced クラスまたは標準学位は、ヨーク群学区の義務を終了し多場合、特別な生徒教育に対し、無料で適切な公立教育が提供されています。

**バージニア教育省が Modified 標準学位と定義するスコアを下回る数字に該当するためには数学および文学において 8 年生でなければいけません。SOL のコースのを修了が、宿題の代わりに文学および数学の必要科目として認められています。生徒で Modified 標準学位を受けるものは、21 歳までの特殊教育を受けることが適格になります。

#コースにおいて単位はコース終了の試験 SOL を通過した場合に履修と認められる。

[A] **歴史及び社会学：** Advanced 学位の取得には、世界史（1500AD まで）または AP 人文地理学、世界史（1500AD から現在まで）、AP ヨーロッパ史、米国バージニア史、米国バージニア政治のクレジットが必要です。Modified 標準学位は、米国バージニア史、米国バージニア政治が必要です。管理官または管理官に指定された者は、転校生または IB 学位プログラムから転校していく生徒に対して、バージニアの教育省指定の必須科目を習得している限り特定の各コースの必須科目を免除することがあります。

[B] **外国語** *Advanced 学位では、* クレジットは 3 年の 1 言語か 2 年の 2 言語が必要です

[C] **外国語、芸術または職業／技術教育：**少なくとも 2 つ以上のクレジットを芸術または職業／技術教育で取得

[D] **選択教科:***標準または Modified 標準学位では、*, クレジットは 2 連続の選択教科が必要です。.

[E] **オンラインコース**:生徒は 1 つのノンクレジットまたはこの学位を取得するために必要なオンラインコースを取得する必要があります。

[F] 職業／技術教育の資格：生徒は教育省の承認を得たキャリア及び技術の教育を受けなければいけません。その教育は、業界認定、州の試験による免許、国際職業協議会のコンピテンシー、バージニアの職場予備審査などを含むがこれに限定されません。

特別学位の必要事項

標準品質の必要科目に従い、障害のある生徒は個人教育プログラム（IEP）を完了しているが他の学位の必要単位は満たさないものは、特別学位を取得することができます。特別学位は特殊教育を 21 歳まで受けた学生が取得を認められています。

プログラム完了の資格の必須事項

この資格選択のオプションは、標準、標準変更、または Advanced 学位を満たす生徒が対象ですが、これらの学位選択の必要事項をすべて揃っていない場合は適応されません。

一般教育（GED）資格

GED バッテリーは高校教育で重要とされる主要 5 試験の能力を測定するものです。試験は主要スキルと概念で特殊な要素を思い出すものではありません。質問は一般的な分析する能力に焦点を置き、評価し、結論を導き出します。この試験の課題の分野は以下のとおりです。

試験 1–言語–ライティング
試験 2–言語–リーディング
試験 3–科学
試験 4–文学と芸術
試験 5–数学

一般教育学位（GAD）
詳しい情報は学校のカウンセラーにお尋ねください。

期待
ヨーク群学区は少なくとも高校最後の 2 年間ヨーク群学区に登録した生徒に対し、以下のことを期待しています。

1. 学生はコースを終了し、継続教育を受ける準備ができているおよび／または職業訓練が完了している。
2. Advanced 学位、標準学位、Modified 標準学位を取得している。
3 特殊学位／特殊資格を受けている。
   A. 一部の障害を持つ学生で個別教育プログラムを終了した学生は、各学校から特別学位を認定されます。
   B. 各学校が規定するコースを完了した一部の学生は、学位取得に満たない場合、各学校から認定書が発行されます。

注:

- *選択教科については学校のカウンセラーの許可が必要で、生徒の教育キャリアプランに従わなくてはいけません。*
- *登録人数が少ない、または特殊な装置が必要ですべての場所にはないもの、または学校にかよう機関に開催されないもの。*
- *高校生がヨーク群学区以外の大学や他の機関で習得するコースは、高校の学長の承認が事前に必要です。卒業に必要な必須科目は、学長がコースに登録することに文書により承認した場合のみ、2 年生または 4 年制大学のクラスでも取得することが許可されています。*

単位の履修
すべての生徒は、高校を卒業する前に各科目試験において、コース最後の SOL 試験で一定点数を習得する必要があります。

追加情報

1. 卒業必要事項を夏、秋、または最初の楽器で終了した生徒のみ、卒業式に参加する資格が与えられます。
2. 外国の生徒で卒業必要事項に相当するコースを自身の国で履修した生徒は、自分が通うヨーク群学区の卒業式に参加することができます。
3. 卒業式に参加するために、生徒は出席し、イベントを実行する必要があります。
4. 卒業式に参加しない生徒は、学校の総務のメンバーから通常の卒業式の実施が終わったらすぐに学位を手渡しされます。
5. 卒業式はフォーマルなもので、生徒が残りの人生で記憶に残る出来事の一つです。卒業式で着るガウンとキャップは非常にフォーマルなものであるため、下に着る服もそれを反映する者にしてください。服装に関する例外は学長の許可が必要です。
   A. 若者の男子の場合、薄い色のシャツとネクタイおよび濃い色のスラックスやパンツです。また、靴と暗い色のソックスを履いてください。ジーンズやテニスシューズはフォーマルでないため避けるべきでしょう。

B. 若い女子生徒の服装や色のついたドレスや明るい色のブラウスおよび暗めの色のスラックスをガウンの下に着ることを推奨します。
C. 卒業式に参加するには卒業に必要なすべての必要事項を満たす必要があります。上記の法令により守れていないとされる又は学長にその特権を否定された場合は、卒業式に参加することが認められていません。

学位シール

- **州の教育シール**–Advanced 学位または標準学位を平均成績「A」以上で取得する生徒は、州の教育シールを受け取ります。
- **ガバナーシール**–Advanced 学位を取得する平均成績が「B」以上の生徒で大学レベルのコースを 9 クラス AP で履修し、国際バカロレア（IB）、ケンブリッジ、又は双方（早期大学学位）を首都億している生徒に対して表彰されます。
- **州の職業教育および技術教育シール** Advanced または標準学位を取得する生徒で、職業／技術の教育に集中し、これらのコースで平均成績が「B」以上または資格試験、または専門資格を取得した生徒は州の職業教育および技術教育シールを学位取得時に受け取ります。
- **Advanced 数学および技術の州の教育シール**

標準または Advanced 学位を取得し、すべての Advanced 学位に必要な数学を平均成績「B」以上で取得するし、さらに特定の業界、トレードまたは専門機関で認められた資格試験に合格しているか、職業／技術の分野で専門資格を取得しているか、州が大学レベルの履修科目であるとみなす技術またはコンピュータサイエンスの分野における試験に合格している生徒は、Advanced 数学および技術の州の教育シールを受け取ります。

- **公民教育優秀者に対する州の教育シール**–Advanced 学位または通常学位を取得する生徒でバージニア州と U.S.の歴史、およびバージニアと U.S.の政治において「B」以上の成績を収め、50 時間のコミュニティーサービスボランティアに参加したかか餓鬼活動（貧困層、病気、不運の人に対するボランティアサービス提供機関、ボーイスカウト、ガールスカウト、および同様の機関、NJROTC、政治キャンペーンインターンシップ、ボーイステイト、ガールステイト、一般集会、および／または学校がスポンサーとなる公民向け課外活動）または卒業前に米軍に参加し各学校が規定する規則に違反せず出席良好である生徒は公民教育優秀者に対する州の教育シールを学位時に受け取ります。
- **ヨーク群学区コミュニティーサービスシール**

–2015 年の卒業クラスの開始時に、ヨーク群学区のコミュニティーサービスプログラムの必要科目を完了した生徒は、コミュニティーサービスシールを他の該当するシール以外に受け取ります。

- **ヨーク群学区優等生シール**–ヨーク群学区優等生プログラムを完了した生徒は他に該当するシール以外にヨーク群学区優等生シールを取得できます。
- **国際バカロレア学位プログラム**–.IB 学位プログラムの必要事項をすべて満たした生徒で 6 科目の IB 試験（最低 3 つの HL）を通過した生徒は国際バカロレアの学位シール（国際バカロレア機関が発行）を通常のヨーク群学区の学位シールに加え、取得することが可能です。

ソーシャルネットワークおよびウェブリソース

世界中のウェブサイトが携帯電話でアクセス可能で、教室の勉強にも積極的に関与してきています。ソーシャルネットワークは学習者をつなげ、共同して働き目に見えるコミュニティを形成します。生徒および教師は様々なウェブベースの道具であるブログ、ウィキペディア、携帯機器、ソーシャルネットワークなどを含むがこれに限らず指導の補助に使用します。教師はソーシャルネットワーク適用においてオンラインの安全性と責任生徒を監視し教育します。

.

制服

チアリーダー、バトンガール、および他のスクール行進または発表会の制服はメンバー会員として必要な場合があります。購入、レンタルまたはクリーニング代は各個人およびその保護者の責任になります。ジムの服は購入できますが、購入は必須ではありません。正しいジムの服は運動に適しているもので、すべての生徒に必要であることが体育の教師から説明されます。中学および高校の生徒で体育プログラムによって必要事項は異なります。

学生行動規範

保護者への言葉

“子供の教育は公立学校だけに任せません.”

KennethEble
完全教育

親／保護者の方へ

生徒の教育に対して、教育に集中できる場合は秩序維持ではなく学校は全力を尽くします。我々は強力し合わなくてはいけません。家庭および学校は生徒の責任も権利も保持するようサポートしなくてはいけないのです。

ご賛同いただける場合、ご在宅ください。我々が間違っていると思われる場合、学校に来ていただき話し合いましょう。生徒に良い環境でよい教育を与えるという同じ目的を持った方のための合理的なコースがあります。

この行動規範を読むことからはじめ、これについて生徒と話し合い、このハンドブックの一番後ろのフォームにあるParental acknowledgement formに署名し返却してください。

ご協力ありがとうございます。

ヨーク群学区学長

BarbaraS.Haywood、学区1
CindyKirschke、学区2
MarkA.Medford、学区3
R.PageMinter、学区4
RobertW.George、学区 5

学生の権利

権利とは与えられた者の特権です

ヨーク群学区の生徒は権利と責任を有します
学区はこの権利を保護し、責任は守らせる義務があります

全ての生徒が有する権利

1. ***教育機会の平等***
   学校はすべての生徒が教育を受けられるチャンスを提供しなくてはいけません。これは18歳までまたは高校卒業までは、学校に登録するのは無料で出席する権利があることを意味します。生徒はカリキュラムおよび課外活動の参加を、州または連邦の法律によって許可されてない限り人種、肌色、新年、性別、国籍、政治、および信念によって参加を拒否されることはありません。

   生徒は他の生徒および学校内に侵入してくる者により邪魔されることなく同等に教育を受ける権利を有しています。

   卒業できなかった、または卒業に必要な履修単位が達成できなかった生徒は20歳になる8月1日まで公立教育を無料で受ける権利があります。英語が第二外国語である生徒は21歳になるまで公立教育を無料で受ける権利があります。（バージニア22.1-253.13:4C

2. ***表現の自由***
   生徒は意見を口頭でまたは文書により表明するべきだとされています。この権利は、誤解させる、名誉棄損、および／または猥褻なものの提示には当てはまりません。

   他人の表現の権利を邪魔する形の表現、または学校および教室での活動における権利を邪魔する形の表現の権利は認められていません。

3. ***集会の自由***
   生徒は学長の許可の下にクラス指導の邪魔にならないようにいつでもどこでもミーティングを開くことができます。

4. ***適法手続き***
   生徒で懲戒処分を受ける場合、誤審かどうかの決定は正しい手順により行われます。

   停学、追放、除外、又は転校のような規則違反となる判決に対して、生徒は表明の権利があります。

生徒の責任

責任は権利があることによる義務です

全ての生徒の責任は以下のとおりです

1. ***他人が勉強し学習する権利の保護***
   親／保護者は児童を学校に送り、生徒が学校に出席し教育を受けます。個人はその恩恵を受ける機会を取得しないと決定することも可能です。しかし他人が受ける教育の邪魔をする権利はありません。
2. **病気または法的理由がない限り毎日出席**
   バージニアの生徒は法により18歳まで学校に出席することが義務づけられています。学校はクラスに出席しない生徒は教育することができず、進級することも卒業することも許可されていません。保護者は欠席や遅刻については学校に電話して知らせるようにしてください。

3. **すべてのクラスは時間厳守**
   クラスが始まってから教室に入る生徒は他の生徒の学習する権利を妨害しています。時間厳守するようにしてください。将来雇用される場合、時間厳守について時間を取って話す雇用者はいません。

4. **学生行動規範の固守**
   学生行動規範は学校に生徒の教育の義務を満たすために設計されています。学校のスタッフがこれに従うために個人が時間を割きすぎないといけない場合、本来の目的を達成できません。

5. **ボランティア情報および懲戒の場合における学校スタッフとの協力**
   各コミュニティは市民が規則の支持に快く参加してくれることを待ち望んでいます。他人の権利を保護することを拒んでいるのに自分の権利が損害された場合のみ誰かに助けを求めるのは間違っています。

6. **すべてのクラスおよび宿題は締め切りまでに完成させてください。**
   学生に対するすべての責任は、学校から教師に委ねられます。これは、生徒が宿題をするかしないかを自由に決定できる場合、効果的な教育ができません。学習しなければいけないことのすべては学校時間内に終わることはありません。

7. ***公的所有物を尊重し、丁寧に扱い、すべての資料および装置は元に戻してください***
   学校は生徒にとって地域が与える贈り物です。その贈り物を乱用するのは誤りです。あなたの後から来る生徒に同じ機会を提供するのには追加で資金がかかるのです。

8. ***クラスには必要な本および資料を持参ください***
   教師は生徒がクラスの準備ができていないために始業を遅らせることはしません。これは他人の学習および勉強する権利を阻害することになります。

9. ***家庭での保護者に対する学校の関与***
   教育には親／保護者と学校のパートナーシップが必要です。パートナーシップとして働くには、何が起こっているか、良いことも悪いことも知っておかなくてはいけません。特に生徒は伝言を頼まれることもあります。生徒は責任を果たし、正直で進捗報告書、出席情報、および他の学校から保護者へのコミュニケーションを損害したり妨害したりしないように告げられます。

10. ***学校での適切な服装***
    YCSD は学区における服装コードはきちんと安全に勉強する環境を促進し保つために重要であると考えています。服装コードの目的は安全に勉強する環境を促進することで、秩序の乱れを消失し、指導に集中し、すべての生徒が服装に責任をもつことにあります。

    ガイダンスは学校または学校関係の行事に出席しているすべての生徒に適用されます。各学校の学長または指定された者は、どのような服装が学習の環境に適切かを判断する権利があります。学校の総務は服装コードの違反がないか監視することに全力を尽くします。

服装規範

- **ヘッドギア**は、教育的、宗教的、または医療的目的以外で校内では使用してはいけません。ヘッドギアとは頭部の傷を覆うもので、防止、キャップ、サングラス、バンダナを含むがこれに限定されないものです。
- **履物:**生徒は常に正しい靴を履かなくてはいけません。
- **ショーツ、スカート、ドレス:**ショートとスカートは膝丈 4 インチ以上短いものは身に着けてはいけません。ヨガのパンツやレギンスなどの体に密着する服は、衣服と共に正しく身に着けなければいけません。
- **パンツ**:パンツは、ウエストラインで履かなければいけません。短い竹の者は膝から 4 インチ以上のものは禁止されています。
- **シャツ**:下着や上腹部がみえるほど裂けているシャツを着てはいけません。袖のないシャツは最低 3 インチのヒモがないといけません。首元は露出しすぎず中程度に空いている程度でなければいけません。
- 密着しすぎる服や露出の高い服はきてはいけません。
- 不適切な服装は、ホルター―トップ、パジャマのような服装、ベッドルームのスリッパ、キャミソール、肩が出たもの、チューブトップ、背中開き、シャツなどですがこれに限定されません。
- :生徒の服、ヘアカット、タトゥーまたは他のアクセサリは以下のものを表示してはいけません。
  - 武器
  - タバコ製剤の絵
  - ドラッグ
  - 酒
  - N 裸体
  - 猥褻
  - 猥褻、淫らな言葉
  - 人種差別
  - 不良の類と見なされる持ち物
  - 学校で他の禁止されている表現など

生徒が服装違反については、生徒行動規範による学校の総務の生徒の行動の対象となります。

良き市民

良き市民とは規則守ること以上に重要なことです

ヨーク群学区の教育プログラムの性質は、生徒が学校を卒業するまでの間に、学校、地域、社会に参加し市民としての心得を拡大するように設計されています。この教育モデルの性質は、幼稚園から12年生までの学校の指導プログラム、手順、および学校の環境に織り交ぜてあります。ヨーク群学区の教育プログラムの性質は、保護者が生徒の成長を合理的な態度と行動で補助し、継続教育の準備および大人の市民なるための準備を補助するものです。この理由から、学校が市民として教育し評価することは、学業を教えて評価することと同様に重要です。

良き市民のガイダンス

教師は生徒と以下についての標準市民について討論します。

1. 理由がある休みを除きクラスには必ずに出席する
2. 時間どおりにクラスに来る
3. クラスに必要資料を持ってくる
4. 宿題は完成させてくる
5. 締切に間に合わせる
6. 個人で行う必要がある課題は一人で取り組む
7. クラスの活動および討論に参加する
8. 学校の所持物を合理的に使用する
9. 他人を尊重する
10. 良い行動規範をする

「不満足」の評価を受けた生徒は以下の特権を失う可能性があります。

小学校

小学生は、学校が提示した良き市民の概念に基づいて、4半期ごとに良き市民についての評価を受けます。

上記に示した「良き市民のガイドライン」によると、生徒は満足、進行中、改善の必要あり、評価不能、の評価を受けます。良き市民の評価をサポートするコメントも学校の報告カードに含まれてることもあります。

中学生および高校生

中学高校生の生徒は、良き市民についての公的な評価は受けませんが、教師はそれに関連したコメントを報告カードに記します。中学高校の生徒で良き市民について「不満足」の評価を受けた場合、以下の特権を失います。

中学

1. 体育
2. 放課後リクレーション
3. 学校のクラブ
4. 生徒会
5. 音楽、ダンス、ドラマ、チアリーダー、スピーチなどの公的活動
6. 通常のクラス外の特別課外活動
7. 学校のダンスおよび集会

高校

1. 体育
2. 放課後リクレーション
3. 学校のクラブ
4. 生徒会
5. 音楽、ダンス、ドラマ、チアリーダー、スピーチなどの公的活動
6. 通常のクラス外の特別課外活動
7. 卒業活動

保護者の権利および責任

保護者の関与は教育を成功させるのに重要な役割を担っています。

Virginia §22.1-279.3でよると、学校の正しい行動規範の推奨に、保護者の責任についての言及を供給することが記載されています。この法律を実行するにあたり、国連総会は保護者は子供の学業および管理についての責任を、公立学校に出席させる場合にも有することを断言しています。むしろ保護者は学校の総務と、学校の環境や安全性を保つために、パートナーシップになって行動します。この選択の必要項目コードは以下のリストのとおりです。

1. 各保護者は、個人権利が尊重され、個人の所有物が破壊される恐怖がない場所で教育が行われるよう、学校が生徒行動規範を執行する補助をする義務があります。

2. .学校は各学校において保護者およびコミュニティが参加できる機会を提供します。

3. 学校が開始された1ヵ月以内に、学校の職員は他の定期的な仕事が阻害される場合も、各登録した生徒ついての通知を保護者に送らなくてはいけません。
   A. *Virginia*§22.1-279.3に規定されている必要事項の通知
   B. 学校の標準生徒行動規範のコピー
   C. 保護者は破棄するべきではないものの、受け取りに署名をすることにより組織、連邦法または福祉によりその権利が明白に保護されており、保護者は学区の指針に対して賛成しない事を表現する権利を保護者に通知します。
4. 保護者は生徒の行動規範およびVirginia §22.1-279.および学校強制出席の法律により規定されている必要事項の通知について受取書に署名をしなくていけません。そしてそれを学校に返却する必要があります。
5. 各学校は文書に署名した記録を保持しなくてはいけません。学校は保護者が学長または指定した者と面会して学生行動規範を確認し、保護者が生徒の学業、秩序の保持、問題があった生徒の行動や学業進捗状態について改善するための会議に参加する責任があることを確認します。

6. 学長は保護者に、生徒が学校規則の違反または学校出席必要事項に違反した場合、これにより停学になるまたは法廷申立てて学校総務がそのような違反を負わせたのかどうか、または訴訟になることがある旨を通知することがあります。通知には（i）違反の日付および特性、（ii）それに対する保護者が学校に対し生徒の行動改善および学校に必ず出席するようにする義務、（iii）生徒が停学になった場合、保護者は生徒と学校の事務所で面談をする、（iv）少年裁判所および地方裁判所は生徒が寛しかにある状況下において訴訟される可能性があります。

7. 停学になった生徒は、生徒と保護者が学校のスタッフと面会し生徒の行動を改善することについて話し合わない限りは、学長または指定された者が再登録を保護者の面会なしでも生徒に適切であると判断しない限りは、通常の学校のプログラムに再登録してはいけません。

保護者がこれらの要請に従わない場合、学校は少年または過程裁判所に、生徒の行動改善の努力について参加することを自分の意思でおよび不合理な理由で拒否することについて訴えることもあります。

行動規則違反および罰則

導入

学校関係者は合理的な理由をもって、生徒を停学または退学にすることを推薦する権利があります。最も一般的な学校およびバスでの規則のみを含む違反のリストについては理解しておくべきです。**学校関係者はバージニア州法により許容されているすべての懲戒を言い渡す権利があります。**

1. 学校は「刑事犯罪を構成」している可能性のあるいかなる出来事についても各法律執行代理店に報告する必要があります。火薬に関する違法な行為、爆発物や炸裂装置、スクールバスや学校の所有物、学校行事における爆発装置、化学爆弾、などについての行動は、速やかに法律執行代理店報告しなくてはいけません。さらに、学校は学校の所持物やスクールバスを含む学校にたいする爆弾脅威の失敗や恐喝についても報告しなくてはいけません。

2. *Virginia* §16.1-260(G)、に基づいて、少年裁判所は、生徒が1つ以上の以下の福祉法に関連した違反によって告発された場合、ヨーク群学区にに通知します。
   A.
   B. 銃違反
   C. 殺人
   D. 重罪犯罪および身体損傷
   E. 性犯罪
   F. ScheduleIまたはIIに規定されている物質の製造、販売、寄与、配布、所有
   G. 放火やそれに関連する犯罪
   H. 夜盗および関連する犯罪
   I. 強盗
   J. 道路での禁じられたギャング行為
   L. 暴走族による違法行為

   「告発」は、請願または補償が訴訟されたまたは生徒に対して保留されたことを意味します。
3. *Virginia* §22.1-277.2:1によると、学校は生徒に対し、（i）福祉法に関する、または武器、酒、ドラッグまたは他人を意図的に損傷するなど学校の指針に違反する事に対する告発、または学区の項目Gの§16.1-260に従って学校の亜管理者に開示する必要のあるもの（ii）福祉法における、武器、酒、ドラッグの犯罪に関連する犯罪において有罪または無罪ではないと判定された結果または他人を損傷したまたは学区の項目Gの§16.1-260に従って学校の亜管理者に開示する必要のあるもの（iii）重大な犯罪または反復される学校規則違反（iv）管理者または（v）退学、等の処分となる生徒に対し他の教育プログラムに参加することを要請される可能性があります。これらの割り当てについてはすべて*Virginia* §22.1-277.2:1に基づいて判断されます。
4. まず初めに、教師は邪魔するような態度をとる生徒をクラスから追放する権利を持っています。非行行為は学校規則の違反で学習環境を壊すまたは阻害するような行為です。
5. 他の非行行為はリストにないからと言って許容されるものではありません。

違反に対する罰則

1. ヨーク群学区の敷地内で起こった、学校指導による活動、ヨーク群学区のスクールバス、指定されたスクールバスの停留所、および家からバス停までまたはバス停から家までの生徒の移動時間における違反に対し罰則があります。
2. 規則または法規の違法をした生徒は違反表のリストに掲載され、違反のレベルにより罰則を受けます。罰則のレベルは以下のとおりです。

   LevelI 面会(生徒および／または保護者と)
   LevelII 介入（総務による懲戒処分）または停学の代わり（ATS）
   LevelIII 短期停学（1～10 日）
   LevelIV 11～364 日の長期停学または別の教育計画または退学

   結果は以下を含む
   A. 警告
   B. 保護者に連絡
   C. 没収
   D. 返却
   E. 拘留
   F. スクールバスに乗る特権またはパーキング許可の没収
   G. 執行猶予期間
   H. 学業クラブ、体育、学校のダンス、またはプロムなどの課外活動に参加する権利の喪失
   I. 裁判所紹介
   J. ドラッグスクリーニング
   K. 心理的評価および／またはカウンセリング
3. バージニア州法は停学または退学の懲罰を認めています。
4. 一部の違反による処分として、他の教育制度または執行猶予を受ける可能性があります。執行猶予ではヨーク学区の学校行事である、体育、学業クラブ、学校ダンス、学校のプロム、プロム後の活動、卒業

活動、および 60 日間の学校生活を含むがこれに限られない活動に参加する特権を喪失します。他の教育プログラムへの移行を行う場合は、執行猶予期間 60 日以上である可能性があります。

5. 執行猶予期中の他の教育プログラム期間はヨーク学区の学校行事である、体育、学業クラブ、学校ダンス、学校のプロム、プロム後の活動、卒業活動およびこれに限られない活動がこの期間に行われた場合参加することができません。他の教育プログラム期間中の生徒は学校の所有物を使用する事は出来ません。
6. 例外がある環境において、保護者は卒業セレモニーに参加する特権の喪失について文書により表明する事が可能です。
7. 各個人の過去の違反記録に基づいて、違反を繰り返す生徒は他の懲戒処分を受ける可能性があります。
8. 生徒はドラッグスクリーニング、脅威度評価、精神鑑定、および／また規則違反に対するカウンセリングをうけることを要請される可能性があります。

法律執行に対する報告義務

学長または学校スタッフの目に触れるすべての犯罪は速やかに SRO または SRO が休みの場合ヨーク - ポコソン警察に報告します。以下のリストは *Virginia Code*§22.1-279.3:1(A)に従ってどこの学校職員が各地域の法律執行所に報告するかについてです。

1. スクールバスの乗員、学校の所持物、または中学校を含む子供から高齢者までが参加する学校行事において、身体に障害をあたえない暴行または武器を使用した暴行
2. スクールバスまたは学校、またが学校行事において、暴行または武器を使用した暴行で、身体の損傷、性的暴行、死亡、銃砲、刺す、切る、または他人を傷つける、*Virginia Code*§18.2-60.3 に規定されているストーカー行為
3. 酒、マリファナ、統制薬物、統制薬物類似品（§18.2-247 に定義されているもの）、またはスクールバス、学校の敷地内、または学校行事におけるアナボリックステロイド、生徒の処方箋薬の盗難や盗難失敗
4. スクールバス、学校敷地内または学校行事における学校職員の脅し
5. スクールバス、学校敷地内、学校行事における、学校職員に対する暴行または武器による暴行
6. *Virginia Code* §22.1-277.07 で違法とされる爆発物を学校敷地内で所持
7. スクールバス、学校敷地内または学校行事における、*Virginia Code* §18.2-85 に規定されている爆弾、爆発物質または爆発装置、または爆裂装置、違法行為、または *Virginia Code* §18.2-433.1 に指定されている爆発可能性または放火性装置、または *Virginia Code* §18.2-87.1 規定されている化学爆弾
8. 学校敷地内またはスクールバスを含む学校職員に対する *Virginia Code* §18.2-83 に規定されている爆弾についての脅しや偽の脅し
9. スクールバス、学校敷地内または学校行事で起こった出来事に対する生徒の告訴またはその目的のための逮捕

生徒、学校スタッフまたは学校私物の盗難については金額によらず法律執行所に報告します。

学校リソースオフィス（SRO）は、学校の安全性、秩序、違反について評価し法を執行するために割り当てられた、ヨーク-ポコソン代理警察官です。SRO は学校に割り当てられた総務チーム（すなわち学校のスタッフ）のメンバーであると見なされます。

違反およびその懲戒の範囲についての表

違反ルールは以下の結果に従わなくてはいけません。

導入

生徒、スタッフおよび保護者は安全および学校の環境について責任を共有することを推奨されます。

ドラッグ、武器、いじめおよびネットでのいじめ行為または他の学校の環境に有害である可能性のある要因は報告してください。報告は、教師、学校の総務または他のスタッフにしていただくことが可能です。生徒の安全性および福祉の項目では、オンライン匿名報告も学区のウェブサイト、yorkcountyschools.org または学区へのホットライン 890-1096 において可能です。生徒は、自分が差別、ハラスメントまたは他の行動規範に違反する被害者である場合、すぐに総務、教師、またはカウンセラーにも連絡するべきです。行動規範の違反を報告することに対する報復は適切な懲戒処分を言い渡します。

生徒がもし学校に持参することが禁じられている所有物を所有していることが分かった場合、生徒はすぐにそれを総務または他のスタッフに報告してください。スタッフはこれについて追跡調査を開始する責任があり、生徒が自らスタッフにこのことについて報告することも考慮するべきです。

空白ページ

違反と罰則の範囲についての表

違反と罰則の範囲についての表			
		罰則の範囲	
違反行為	**学年**	**最低**	**再考**
1. アルコールの使用、保持、および／または販売／配布 酒類またはアルコール製品またはアルコールとされる物質の製造、販売、購入、転送、保持、または消費は法令違反であり、禁止されています。生徒は、いかなる形態のアルコールについても、影響下にいる、配布、配布を試みる、販売する、またはこの類の物を学校の敷地内、学校の敷地内にある車、または学校行事に持ち込むことは禁止されています。この違反に対する追加の罰則として、学業クラブ、体育、学校ダンス、プロムを含む課外活動に対しての参加の権利を 60 日間失うことになります。他の教育プログラムに移行する場合は、執行猶予期間は 60 日以上となる可能性があります。			
AC1 飲酒*	**K-12**	**III**	**III**
AC2 アルコール保持*	**K-12**	**III**	**III**
AC3 アルコールの販売または配布*	**K-12**	**IV**	**IV**
2. 放火 学校またが他人の所有物に火または放火装置により違法および故意に損傷を与えたり与えようとしたりすることは禁じられています。この違反に対して責任がある生徒は、他の罰則に加え損傷物に対する費用を払う責任があります。			
AS1 放火：実現*	**K-12**	**III**	**IV**
AS2 放火：未遂*	**K-12**	**III**	**IV**
AS3 光線爆竹、爆竹、または小型爆弾で火災を起こすもの	**K-12**	**III**	**IV**
3. スタッフまたは生徒に対する暴行／砲弾 故意の口頭または身体的虐待を生徒から他の生徒またはスタッフに行うことは禁止されています。故意で生徒から生徒またはスタッフに対する身体的虐待とは、爆弾、ナイフ、スタンガン、レーザーおよび／または武器としての目的で作成された装置でメイスやトウガラシスプレーなどを含む防御武器を含むものであり、禁止されています。生徒が暴行された証拠が明らかにある場合で、このような衝突および／または教師または総務スタッフに報告するべき事象を避ける努力をした後、自己防衛によってのみ引き起こされた場合は例外となります。			
BA1 スタッフに対する爆弾や他の武器を伴う暴行／砲弾*	**K-12**	**IV**	**IV**
BA2 スタッフに対する爆弾や他の武器を伴わない暴行／砲弾*	**K-12**	**III**	**IV**
BA3 生徒に対する爆弾や他の武器を伴う暴行／砲弾*	**K-12**	**IV**	**IV**
BA4 生徒に対する爆弾や他の武器を伴わない暴行／砲弾**	**K-12**	**III**	**IV**
BA5 襲撃／暴行–武器を持たない暴行*	**K-12**	**IV**	**IV**

LevelI 面会(生徒および／または保護者と)
LevelII 介入（総務による懲戒処分）または停学の代わり（ATS）
LevelIII 短期停学（1～10 日）
LevelIV 退学 11～364 日の長期停学または別の教育計画または退学

The *Code of Virginia*§22.1-279.3:1D および／またはヨーク群学区は、学長がこの違反に対する罰則について法律執行役員に報告する必要があるとしています。中学および高校生の本違反に対する罰則は法律執行役員に報告されます。

Tableof 犯罪 and 罰則の範囲

犯罪	学年	罰則の範囲 最低	最高
4. 出席–遅刻、無断欠席および／またはクラスに未報告 州、学区または学区の指針に関連した出席の妨害は禁止されています。学校に正当な理由（病気、通院、直家族の葬式、総務の許可を問った場合）なしの欠席または報告なく時間に遅れるまたは正当な理由なく一部欠席することは認められていません。			
A1T 出席	**K-12**	**I**	**II**
ATO02 授業欠席	**K-12**	**I**	**II**
ATO03 無断欠席	**K-12**	**I**	**II**
ATO04 警察が学校に連れてくる	**K-12**	**I**	**II**
ATO05 学校から許可なく退出	**K-12**	**I**	**II**
5. イジメおよびオンラインでのイジメ イジメとは、攻撃的な好ましくない態度で、攻撃する者とその被害者の間における事実上または感知的な不均衡な力を含む損傷、恐喝または自尊心の損傷であると定義します。またイジメはネットによるいじめも含みます。イジメは通常のからかい、悪ふざけ、喧嘩または仲間内のもめごとは含みません（Virginia 22.1-276.01）繰り返し喧嘩または損傷を引き起こす悪い態度をある特定の被害者に対してとる事は禁止されています。イジメは生徒間に不公平な衝突により起こり、ターゲットとなった者の身体的恐喝、体に触れる、名前を呼ぶ、侮辱する痘んおよび／または人種、性、宗教、障害、物理的能力や特徴についての偽装を述べることを含みますがこれに限定されません。インターネットによるイジメは情報またはコミュニケーション技術である携帯電話やテキストメッセージ、画像、E-mail、ソーシャルネットワーキングウェブサイト、中傷的なウェブサイト、および抽象的なオンラインの個人ウェブサイトで、他人を傷つける故意的に他人を傷つける他物と定義されています。 生徒またはスタッフの安全性、正審または身体的を脅かす場合または学校または学校敷地内の安全性を脅かす場合、それが学区の運営に重要な障害をもたらす場合懲戒処分の結果となるヨーク学区のネットワークまたはコンピュータを使用しないため、オンラインのイジメは学校の外でも起こります。 生徒および保護者はイジメまたはインターネットによるイジメを教師および学校の総務に報告するようにしてください。ウェブサイト yorkcountyschools.org のオンライン生徒の安全および福祉の項目、または学区のホットライン 890-1096 までご連絡ください。			
BU1 イジメ	**K-12**	**I**	**IV**
BU2 ネットイジメ*	**K-12**	**I**	**IV**

LevelI 面会(生徒および／または保護者と)
LevelII 介入（総務による懲戒処分）または停学の代わり（ATS）
LevelIII 短期停学（1～10 日）
LevelIV 退学 11～364 日の長期停学または別の教育計画または退学

The *Code of Virginia* §22.1-279.3:1D および／またはヨーク群学区は、学長がこの違反に対する罰則について法律執行役員に報告する必要があるとしています。中学および高校生の本違反に対する罰則は法律執行役員に報告されます。

違反と罰則の範囲についての表

犯罪	学年	罰則の範囲 最低	最高
6. 強盗 犯罪を犯すため故意に建物や他の建造物に違法にしんにゅうすることです。			
BK1 強盗：実現*	**K-12**	**III**	**IV**
BK2 強盗：未遂*	**K-12**	**I**	**IV**
7. 無秩序な行動／不従順 権利書を提出したくない、または合理的な要請を拒否することは禁止されています。通常の学校機能をわざと阻害する行動も禁じられています。生徒は学校規則に従う必要があり、教師および他の学校のスタッフの指導および権限を尊重する必要があります。他の生徒を補助する場合も学校指針を破ることは許可されていません。以下の行動は通常の学習環境を大きく阻害しする行動であると考えられており乱雑な行為だとされています。 a) 悪態または不快な引用を含む言葉を、他人の人種、宗教、性別、国籍、障害の状態、または知能に関して品位を落とすことを目的として使用することが含まれます。わいせつ物の提示、性的メッセージを含む装飾のある服をきる、または猥褻または性的示唆のあるものを含みます。悪態または暴力的な言葉はクラス 3 の非行と考えられており、平和を乱します（*Virginia* §18.2-416）。 b) 学校行事、学校の機能または過程を障害することは、生徒または他人の健康または安全性に対する危険で、所有物を破壊する結果となります。アイテムの音、活動または所有とは、おもちゃ、レーザーポイント、小型爆弾、スケートボード、ラジオ、ビーパー、および承認されていない写真、ビデオ、レコーディングで学校の通常機能や平和を阻害するおよび／または生徒の安全性または安全な他人の活動を脅かすものは禁止されています。建物、学校の校庭、スクールバスまたは他の学校行事のいかなる場所においても違反は摘発される可能性があります。 *a)* 指導過程を阻害しないために、生徒は、携帯電話を学校時間内、放課後活動またはスクールバスにおいて使用することは禁じられています。指導時間内は、昼休み、クラス変更時または他の指導活動で学校時間内に行うものを含むがこれに限定されません。指導時間中、放課後活動中、スクールバスにおいて、生徒はこのような装置は電源を切り視界に入らないところに置いておいてください。***注：****特定の指導活動は携帯式コミュニケーション装置または携帯電話でサポートするものも学年指導中に行われる場合もあります。このような装置を上記に記された指導に反して使用する場合は直接教師が管理します。* c) 公開による影響（PDA）生徒は公然で接吻、接触、法要および他の公開による影響がある行為は違反の対象になります。			
D1C 無礼／退室			
D2C 反抗／要請拒否	**K-12**	**I**	**IV**
D3C 非行	**K-12**	**I**	**IV**
D4C 猥褻物／書物／服の保持	**K-12**	**I**	**IV**
D5C 教室または校舎の破壊	**K-12**	**I**	**IV**
D6C 猥褻物の使用または不適切な言語または動作を行う	**K-12**	**I**	**IV**
D8C 軽度な反抗	**K-12**	**I**	**IV**

LevelI 面会(生徒および／または保護者と)
LevelII 介入（総務による懲戒処分）または停学の代わり（ATS）
LevelIII 短期停学（1～10 日）
LevelIV 退学 11～364 日の長期停学または別の教育計画または退学

The *Code of Virginia* §22.1-279.3:1D および／またはヨーク群学区は、学長がこの違反に対する罰則について法律執行役員に報告する必要があるとしています。中学および高校生の本違反に対する罰則は法律執行役員に報告されます。

違反と罰則の範囲についての表

犯罪		学年	罰則の範囲 最低	最高
8. 違法ドラッグ 生徒は以下について禁じられています a) 学校施設内、または学校敷地内の乗り物、または学校行事においてまたはその影響のある場所において、違法ドラッグまたはアナボリックステロイドなどその類似品、麻薬、または装置の保持 b) 処方箋薬および非処方箋薬の使用および／または配布 c) 一般市販薬の違法的使用、配布、販売、懇請、購入、保持、譲与、または輸入 d) 吸入剤または有害化学物質の、学校施設内、または学校敷地内の乗り物、または学校行事においてまたはその影響下において、配布、所有および／または影響下におかれる、または所持する e) 違法ドラッグ、類似品、麻薬または規制薬物の配布、配布の試みまたは共謀、または販売 この違反に対する追加の罰則として、学業クラブ、体育、学校ダンス、プロムを含む課外活動に対しての参加の権利を 60 日間失うことになります。他の教育プログラムに移行する場合は、執行猶予期間は 60 日以上となる可能性があります。				
D4G	大衆薬使用	**K-12**	**III**	**IV**
D5G	大衆薬保持	**K-12**	**III**	**IV**
D6G	大衆薬販売または配布	**K-12**	**III**	**IV**
D10	他の薬使用／過剰投与*	**K-12**	**III**	**IV**
D11	他の薬または装置の保持*	**K-12**	**III**	**IV**
D12	他の薬販売または配布*	**K-12**	**III**	**IV**
D15	シンナーの保有	**K-12**	**III**	**IV**
D16	シンナーの使用	**K-12**	**III**	**IV**
D17	ドラッグ（および類似品）の使用および所持*	**K-12**	**III**	**IV**
D19	アナボリックステロイドの販売または配布*	**K-12**	**III**	**IV**
D20	アナボリックステロイドの使用または保持*	**K-12**	**III**	**IV**
DG1	ScheduleI&II ドラッグ使用*	**K-12**	**III**	**IV**
DG2	ScheduleI&II ドラッグ保持*	**K-12**	**III**	**IV**
DG3	ScheduleI&II ドラッグ販売またはドラッグ配布*	**K-12**	**III**	**IV**
DG5	麻薬の使用または保持*	**K-12**	**III**	**IV**
DG6	麻薬の販売または配布*	**K-12**	**III**	**IV**
DG7	マリファナの使用***注:：生徒が学校に酩酊状で登校した場合は、マリファナを使用したものとみなします。**	**K-12**	**III**	**IV**
DG8	マリファナ保有*	**K-12**	**III**	**IV**
DG9	マリファナ販売または配布*	**K-12**	**III**	**IV**
DR3	処方箋薬の盗難または盗難未遂*	**K-12**	**III**	**IV**
注：麻薬の定義は*§54.1-3446 の Code of Virginia に記載されています.*				

LevelI 面会(生徒および／または保護者と)
LevelII 介入（総務による懲戒処分）または停学の代わり（ATS）
LevelIII 短期停学（1～10 日）
LevelIV 退学 11～364 日の長期停学または別の教育計画または退学

The *Code of Virginia* §22.1-279.3:1D および／またはヨーク群学区は、学長がこの違反に対する罰則について法律執行役員に報告する必要があるとしています。中学および高校生の本違反に対する罰則は法律執行役員に報告されます。

違反と罰則の範囲についての表

犯罪	学年	罰則の範囲 最低	最高
9. 電子機器 電子機器の使用で教育において不適切であると考えられている設定は禁止されています。			
C1M 音がなる	**K-12**	**I**	**II**
C2M 携帯電話	**K-12**	**I**	**II**
C3M 電子機器	**K-12**	**I**	**II**
10. 強奪 強奪は他人の所持物で価値のあるものを、脅しまたは最終的に身体的損傷や他人の所有物に損傷を与えることにより受け渡しを抵抗している者から奪い取ることまたは奪い取ろうとすることであると定義されています。金や所有物を脅し、物理力、または武器を行使しして入手することは禁止されています。			
ET1 強奪：実行	**K-5** **6-12**	**I** **III**	**IV** **IV**
ET2 強奪：未遂	**K-5** **6-12**	**I** **III**	**IV** **IV**
11. 喧嘩／衝突 喧嘩で傷つけることがないまたは軽度な傷を伴う身体的暴力を伴う喧嘩に相互的に参加することや、衝突、論争または言葉／身体的攻撃ではあるが怪我を伴わないものは禁止されています。喧嘩で以下の状況下にあるものは禁止されています。 a) 2 名以上の各個人が重篤な損傷（ひっかき傷、軽微な打ち身） b) 2 名以上の各個人が緊急性を有する医療専門家の診察を必要とする状態（弾銃傷または刺し傷、骨折、脳震盪、縫う必要のある傷、大量出血など） 攻撃的であるか内科に関わらず、物理的戦いに参加することは喧嘩と定義されています。これは他人を騙して喧嘩をする、喧嘩に挑発する、他人を喧嘩するよう仕掛けるおよび／または喧嘩を推奨することを含みます。 .生徒が、一方的に侮辱されて喧嘩から防御しようと努めたことが明らかな証拠としてあるにも関わらず衝突および／または教師または総務のスタッフに報告する場合を除きます。			
FA2 損傷をほとんどまたは全く伴わない喧嘩	**K-5** **6-12**	**I** **III**	**IV** **IV**
F1T 損傷を伴わない口論または衝突	**K-5** **6-12**	**I** **III**	**IV** **IV**

LevelI 面会(生徒および／または保護者と)
LevelII 介入（総務による懲戒処分）または停学の代わり（ATS）
LevelIII 短期停学（1～10 日）
LevelIV 退学 11～364 日の長期停学または別の教育計画または退学

The *Code of Virginia* §22.1-279.3:1D および／またはヨーク群学区は、学長がこの違反に対する罰則について法律執行役員に報告する必要があるとしています。中学および高校生の本違反に対する罰則は法律執行役員に報告されます。.

違反と罰則の範囲についての表

犯罪	学年	罰則の範囲 最低	最高
12. ギャンブル お金を賭ける、作る、または賭け金を受け取る、およびゲーム、コンテスト、または他の特定されない結果を伴うイベントの結果対しお金や価値のあるものを賭けることは禁止されています。			
G1B ギャンブル	**K-12**	**I**	**III**
13. ギャング活動 ストリートギャングとは、公式非公式に関わらず進行中の機関、集会、または 3 名以上のグループで、主な目的や活動が 1 件以上の犯罪や犯罪ではないギャング行為であるものと定義されています。これは、そのグループの生徒により特定された集会、儀式または活動のシンボルを描く服装の記事も含まれます（Virginia §18.2-46.1）。ギャング関係の行動は認められていません。ギャングメンバーのシンボルを表示すること（即ちシンボルの書いた服装、ジェスジャーやサイン、落書き、特定グループの生徒によるギャングに関連のある儀式または活動）は禁じられています。			
GA1 ギャング活動	**K-12**	**I**	**IV**
14. ハラスメント 反復して驚異的または有害な教育環境または職場環境を作り出す生徒または生徒のグループまたはスタッフは禁止されています。			
HR1 ハラスメント	**K-12**	**I**	**IV**
15. いじめ 行動の確約または生徒に対する行動、または生徒に他人を傷つけたりリスクのある行動の確約を強いることで、生徒組織、体育チームまたはクラスを含むがこれに限らないグループにより開始されることは禁じられています。イジメはクラス 1 の非行です（Virginia §18.2-56）。			
H1Z イジメ	**K-12**	**I**	**III**
16. 殺人 他の生徒やスタッフメンバーを火薬や武器によって殺害することは禁止されています。			
HO1 火薬によるスタッフ殺害*	**K-12**	**IV**	**IV**
HO2 火薬による生徒殺害*	**K-12**	**IV**	**IV**
HO3 他の武器によるスタッフ殺害*	**K-12**	**IV**	**IV**
HO4 他の武器による生徒殺害*	**K-12**	**IV**	**IV**
17. 暴動の扇動 違法的な暴力や力で公の安全、平和または秩序を重篤な危険にさらすことは禁じられています。故意に軽率なコメントおよび／または人種または民族差別を行うことは禁じられています。行動、コメント、または記述したメッセージで他人を攻撃または結果的に攻撃することになるものは禁じられています。これは他人を喧嘩に扇動する、他人に喧嘩をふりかけるおよび／または喧嘩を促進する行為を含みます。グループで行動する者は暴動を招くと考えられています。			
RG1 暴動の扇動	**K-12**	**I**	**IV**
RG2 暴動の扇動未遂	**K-12**	**I**	**IV**

LevelI 面会(生徒および／または保護者と)
LevelII 介入（総務による懲戒処分）または停学の代わり（ATS）
LevelIII 短期停学（1～10 日）
LevelIV 退学 11～364 日の長期停学または別の教育計画または退学

The *Code of Virginia* §22.1-279.3:1D および／またはヨーク群学区は、学長がこの違反に対する罰則について法律執行役員に報告する必要があるとしています。中学および高校生の本違反に対する罰則は法律執行役員に報告されます。

違反と罰則の範囲についての表

犯罪	学年	罰則の範囲 最低	最高
18. 誘拐 他人の意思に反して、または未成年者の場合親または法的保護者の同意なしに違法に拘束、移動、および／または拘留をすること禁じられています。これは人質を含みます。			
KI1 誘拐	**K-12**	**IV**	**IV**
19. 他の違反 以下の行為を含むがこれに限定されない行為は学校において不適切であり禁止されています。 a) カンニング-学業課題において、認められていない補助を与えるまたは受ける、または不正な利益を受けるまたは与えることを含みます。 b) 盗作-他人の言語、構成、アイデアおよび／または思想をコピーし、自分の作品に使用することを含みます。 c) 偽装-口頭または書面により、他人の偽装および／または不正確な説明を公的報告や他の文書に記載することを含みます。 d) アルコールまたは違法物質の宣伝–服装、装飾品、写真、ボタン、バンパーのスティッカーまたは他の装置を含むがこれに限られないものを通じてアルコールおよび／または違法物質の使用、提示または促進する行為を含みます。 e) 認められていないアイテムの販売、購入または配布–学校規則に反したものまたは学校スタッフが認めていないものの販売、購入または配布を含みます。 f) 法の違反／犯罪–校内外での法律違反を行うことは校内での法律違反とされています。さらにこの規則に違反した罰則は、学業クラブ、体育、学校ダンスまたはプロムを含む課外活動に 60 日間参加できないことを含みます。他の教育プログラムに移行する場合、執行猶予期間は 60 日以上になる場合があります。 g) 繰り返す違反および他の行為–継続した規則違反を含みます。これら特殊な標準に加え、生徒は教育の物質的および事実上の妨害または連邦、州または地方の法律違反を行ってはいけません。			
S1V 不適切な個人所持物（例えば服装規範の違反、学校環境下で不適切とされるアイテムの所持など）	**K-5** **6-12**	**I** **II**	**III** **IV**
S2V 虚言（嘘、カンニング、盗作および／または偽装）	**K-5** **6-12**	**I** **II**	**III** **IV**
S3V 他に定められていない学校行動規範の違反は（アルコールまたは違法物質の宣伝、認められていないアイテムの販売、購入または配布、法違反／犯罪、および反復規則違反）を含みます。	**K-5** **6-12**	**II** **IV**	**III** **IV**
20. 泥棒 対立関係にある他人または機関が所有する価値のある物を力または脅し、または暴力および／または被害者を恐怖に陥れて奪い取る、または奪い取ろうとする行為は禁止されています。			
RB1 泥棒実行*	**K-12**	**III**	**IV**
RB2 泥棒未遂*	**K-12**	**III**	**IV**

LevelI 面会(生徒および／または保護者と)
LevelII 介入（総務による懲戒処分）または停学の代わり（ATS）
LevelIII 短期停学（1～10 日）
LevelIV 退学 11～364 日の長期停学または別の教育計画または退学

The*CodeofVirginia*§22.1-279.3:1D および／またはヨーク群学区は、学長がこの違反に対する罰則について法律執行役員に報告する必要があるとしています。中学および高校生の本違反に対する罰則は法律執行役員に報告されます。

違反と罰則の範囲についての表

犯罪	学年	罰則の範囲 最低	最高
21. 学校への恐喝 禍や危険、人や所持物に対して爆弾を介して危害をもたらそうとする表現を学校の所持物に告知することは禁じられています。救急車や消防車を呼んだり、またはマニュアルまたは自動の消防アラームを不注意で鳴らすことは禁じられています。故意に煙や腐敗臭を出す装置をオフにしたり設定自体をオフにすることも禁止されています。			
BO1 爆弾での脅し*	**K-12**	**III**	**IV**
BO2 化学的または生物学的脅し*	**K-12**	**III**	**IV**
BO3 テロによる脅し*	**K-12**	**III**	**IV**
BO4 消防アラームをオフにする*	**K-12**	**III**	**IV**
22. 性的違反行為 性的規則違反は禁じられています。性的犯罪は以下を含みますがこれに限定されません。			
a) 猥褻物提示-丸出しにすることを含む、個人または個人の部位にあたる体の露出を意味します。			
b) 合意上の性行為-.2 名以上における合以上の性行為を含む行動は校内では認められていません。			
c) セクシャルハラスメント-性別に基づくハラスメントを含む、歓迎されない性的誘い掛け、または性的行為の要請、または他人の身体的および言動的行動またはその他の性的コミュニケーションを意味します。セクシャルハラスメントは以下のとおり理解されています。威圧する行動または言動、または学校の環境に不快または好ましくないものを提示することです。セクシャルハラスメントについての生徒からのクレームはすべて、加害者が別の生徒または成人であるに関わらず、学校の生徒のセクシャルハラスメントまたはその他の差別にたいする手順に基づいて取り扱われます。			
d) 性的暴行-求められていない他人に対する性的部位または服に覆われたそのような部分にたいする接触のことを指します。性的暴力は脅し、故意の恐喝、脅迫、惑わしまたは性的虐待に対する身体的無力をふくむがこれに限定されません。			
e) 強制暴行–.同意なしの提示	**K-5**	**I**	**IV**
f) 不正な身体的接触–攻撃的で望ましくないおよび／または求められていない接触	**6-12**	**III**	**IV**
SB1 スタッフに対する性的暴行*	**K-5**	**I**	**IV**
	6-12	**III**	**IV**
SB2 生徒に対する性的暴行*	**K-12**	**I**	**IV**
SX0 セクシャルハラスメント	**K-5**	**I**	**IV**
SX1 スタッフに対する暴行的性的接触	**6-12**	**III**	**IV**
SX2 生徒に対する暴行的性的接触	**K-5**	**II**	**IV**
	6-12	**III**	**IV**
SX3 スタッフに対する強制的性的暴行*	**K-12**	**IV**	**IV**
SX4 生徒に対する強制的性的暴行¥*	**K-12**	**IV**	**IV**
SX5 スタッフに対する強制的性的暴行未遂*	**K-12**	**IV**	**IV**
SX6 生徒に対する強制的性的暴行未遂*	**K-12**	**IV**	**IV**
SX7 暴力のない性的暴行*	**K-5**	**I**	**IV**
SX813 歳以下の被害者に対する悪化した性的暴行*	**6-12**	**III**	**IV**
	K-12	**IV**	**IV**

LevelI 面会(生徒および／または保護者と)
LevelII 介入（総務による懲戒処分）または停学の代わり（ATS）
LevelIII 短期停学（1～10 日）
LevelIV 退学 11～364 日の長期停学または別の教育計画または退学

The *Code of Virginia* §22.1-279.3:1D および／またはヨーク群学区は、学長がこの違反に対する罰則について法律執行役員に報告する必要があるとしています。中学および高校生の本違反に対する罰則は法律執行役員に報告されます。

違反と罰則の範囲についての表

犯罪	学年	罰則の範囲 最低	最高
23. ストーキング 死の恐怖、犯罪、性犯罪、または損傷の恐怖に合理的に陥らせる故意な直接的ストーカー行為は禁じられています。 ST1ストーキング*	**K-12**	**III**	**IV**
24.技術の使用における違反 ヨーク群学区は LAN／WAN を無数に配列しており、ウェブベースのサービスやアプリケーションへのアクセスを提供しています。これらのサービスの使用はすべて特権であり、権利ではありません。生徒は学区のハードウェア、ソフトウェア、およびネットワークまたはインターネットサービスを不正使用または乱用するとその権利を失います。生徒は非行または不注意による装置の紛失、盗難、損害に対して責任をもち、また、装置の紛失、盗難、損失に対する買い替えの費用を負担します。違法は以下を含みますがこれに限定されません。 a) .認可されていない使用、露出、共有またはパスワードの転送 b) インスタントメッセージおよびそれの類似ファイル、MP3 または他のオーディオファイル、ビデオクリップ、ファイル、または映画全編を含むがそれに限らないソフトウェアおよび認可されていないファイルのアップロードまたはダウンロード c) ネットワークサービス／インターネットアクセスユーザーポリシーの署名なしで学区のハードウェアまたはネットワークリソースを使用してファイルにアクセスする d) 故意にファイル、アプリケーションまたは標準ハードウェアまたはネットワークの設定を変換または損傷する e) 故意にウイルスを導入するまたは他のコンピュータまたはネットワークリソースを破壊する f) 認可されていない携帯コミュニケーションおよび／または電子装置の使用 T1C 技術または方法の認可されていない使用			
T2C コンピュータハードウェア、ソフトウェアまたはファイルに対する損傷または損傷を与えるような行為	**K-12**	**I**	**IV**
T3C 認められている使用方針の妨害	**K-12**	**I**	**IV**
T4C インターネット指針の妨害	**K-12**	**I**	**IV**

LevelI 面会(生徒および／または保護者と)
LevelII 介入（総務による懲戒処分）または停学の代わり（ATS）
LevelIII 短期停学（1～10 日）
LevelIV 退学 11～364 日の長期停学または別の教育計画または退学

The *Code of Virginia* §22.1-279.3:1D および／またはヨーク群学区は、学長がこの違反に対する罰則について法律執行役員に報告する必要があるとしています。中学および高校生の本違反に対する罰則は法律執行役員に報告されます。

違反と罰則の範囲についての表

犯罪	学年	罰則の範囲 最低	最高
25. 盗難 許可なく他人の所有物を入手することは禁じられています。（この違法は犯罪として裁判所に訴訟する可能性があります）盗んだ相手に返却しなくてはいけません。			
TF1学校所有物の盗難	**K-5** **6-12**	**I** **II**	**IV** **IV**
TF2学校スタッフ私物の盗難	**K-5** **6-12**	**I** **II**	**IV** **IV**
TF3生徒私物の盗難	**K-5** **6-12**	**I** **II**	**IV** **IV**
TF4盗難品の所持	**K-5** **6-12**	**I** **II**	**IV** **IV**
TF6オートバイの盗難または盗難の疑い	**K-12**	**III**	**IV**
26. 生徒およびスタッフに対する恐喝 違法にスタッフまたは生徒を、物理的、言葉的、文章上、または電子を介した恐怖で、直ぐに武器を使用しない身体的攻撃を実際に受ける恐怖に陥らせることです。			
TI1 スタッフに対する恐喝*	**K-5** **6-12**	**I** **III**	**IV** **IV**
TI2 生徒に対する恐喝（この違反は法律執行役員に報告される可能性があります）	**K-5** **6-12**	**I** **III**	**IV** **IV**
27. タバコ／電子タバコ／ヴェポライザー タバコの使用は、学校の敷地内、学校に止めてある車の中、学校行事、または学校の送迎者の中で、煙がないタバコについても、タバコ製品の使用、販売、配布は認められていません。タバコおよび／または他の違法物質の服、アクセサリー、絵、ボタン、バンパーすてぃっかーまたはアイテムを身に着けることも禁止されています。.生徒は、電子タバコ、ペン型ヴェポライザーを学校のバス、敷地内、学校行事において保持および／または使用することは禁じられています。			
TC1 タバコの使用	**K-12**	**II**	**III**
TC2 タバコの保持	**K-12**	**II**	**III**
TC3 タバコの販売または配布	**K-12**	**II**	**III**
T4B タバコ装置	**K-12**	**II**	**III**
28. 不法侵入 許可または招待なく、停学または退学なる生徒、または他の教育プログラムに移行する等の法律的目的がなく、公立学校の敷地内または施設内に立ち入るまたは滞在すること、校内または学校施設から退出する許可がない者が退出を命じられた後に立ち入り滞在することは禁止されています。			
TR1 不法侵入	**K-12**	**I**	**IV**

LevelI 面会(生徒および／または保護者と)
LevelII 介入（総務による懲戒処分）または停学の代わり（ATS）
LevelIII 短期停学（1～10 日）
LevelIV 退学 11～364 日の長期停学または別の教育計画または退学

*** The *Code of Virginia* §22.1-279.3:1D および／またはヨーク群学区は、学長がこの違反に対する罰則について法律執行役員に報告する必要があるとしています。中学および高校生の本違反に対する罰則は法律執行役員に報告されます。**

違反と罰則の範囲についての表

犯罪	学年	罰則の範囲 最低	最高
29. ヴァンダリズム			
学校所有物または他人の所有物に損傷または損害を与えることは禁じられています。放火、落書き、盗難、ヴァンダリズム、コンピュータハードウェアの破壊、インストール済ソフトウェアの変更、LAN/WAN ネットワーク形態の変更および／または認可されていないソフトウェアのインストールでウイルスを含むものを含みますが、これに限定されません。生徒は非行または不注意による装置の紛失、盗難、損害に対して責任をもち、また、装置の紛失、盗難、損失に対する買い替えの費用を負担します。違法は以下を含みますがこれに限定されません。			
VN1 学校所有物のヴァンダリズム	**K-12**	**I**	**IV**
VN2 私有物のヴァンダリズム	**K-12**	**I**	**IV**
VN3 落書き	**K-12**	**I**	**IV**
30. 武器			
武器または武器の使用または他の物質を武器として学校内、学校敷地内の車、または学校行事で使用することは認められていません。自己防衛を主張するための学校内、学校行事における武器の保有は認められていません。			
武器の例は以下のとおりですが、これに限定されません。			
a) ハンドガン、ピストル			
b) ショットガン、ライフル			
c) アイテムで発射するように設計されたまたは爆発装置を操作することで鉄砲に変換できて発射できるよう設計されたもの			
d) 3 インチ以上の刃のついたナイフ			
e) ;他のアイテムで、爆発させる行動により発射するもの。これは前述にある爆弾ではないものを含む（操作できるものおよびできないもの、火薬が入ったもの入ってないもの）で実父またはスターターガンを含むがこれに限りません。			
f) アイテム、道具または物体で他人に危害を加えるものに変換されるよう設計されているまたは変換される可能性があるもの（ゴルフクラブ、野球バッド、チェーン、ヌンチャク、ビリークラブ）			
g) 空気式癌または空力式ライフル（BB、ペイントボールまたはペレットガン）			
h) 爆発する武器または爆発物に変換されるよう設計されたものまたはすぐに爆発物に変換される可能性のあるもの			
i) またはより爆発するよう設計された武器または化学反応により爆発を引き起こすもの			
j) 弾薬			
k) 類似品			
l) メイス、ガス兵器、ペッパースプレーを含む武器として使用されている物質			
m) ナイフで 3 インチ未満のもの、剃刀の刃、ボックスカッター、花火、火薬、悪集爆弾			
n) テーザー銃またはスタンガン			
W1P弾薬の所有	**K-5** **6-12**	**II** **III**	**IV** **IV**
W2P化学物質の所有	**K-12**	**III**	**IV**
W3P武器ののようなものまたは武器のようなおもちゃの所有	**K-5** **6-12**	**I** **III**	**IV** **IV**
W8P剃刀の刃、カッターナイフ、またはナイフ（3 インチ以下）の所有	**K-5** **6-12**	**II** **III**	**IV** **IV**
W9P花火、癇癪玉、爆弾の所有	**K-5** **6-12**	**II** **III**	**IV** **IV**
WP0空気噴射機の所有*	**K-12**	**IV**	**IV**
WP1ハンドガン、ピストルの所有*	**K-12**	**IV**	**IV**
WP2ショットガン、ライフルの所有*	**K-12**	**IV**	**IV**
WP4発射する武器の所有*	**K-12**	**IV**	**IV**
WP5ナイフ（3 インチ以上）の所有*	**K-12**	**IV**	**IV**
WP6爆発装置物の所有*	**K-12**	**IV**	**IV**
WP7爆弾または爆発装置の使用*	**K-12**	**IV**	**IV**
WP8他の火器の所有*	**K-12**	**IV**	**IV**
WP9他の武器の所有*	**K-12**	**IV**	**IV**
WS1スタンガンの所有*	**K-12**	**IV**	**IV**
WT1テーザーガンの所有*			

LevelI	面会(生徒および／または保護者と)
LevelII	介入（総務による懲戒処分）または停学の代わり（ATS）
LevelIII	短期停学（1～10 日）
LevelIV	退学 11～364 日の長期停学または別の教育計画または退学

The *Code of Virginia* §22.1-279.3:1D および／またはヨーク群学区は、学長がこの違反に対する罰則について法律執行役員に報告する必要があるとしています。
中学および高校生の本違反に対する罰則は法律執行役員に報告されます。

違反の取り扱い手順および出頭の権利

公平な規則を不公平に執行してはいけない。
また、既存の法律や法令に従って執行しなくてはいけない。

正当手続
適正手続なしに生徒は違反に対する罰則をうけることはありません。
生徒は口頭または文書によりその役割、証拠の説明、および自分の言い分について述べる機会についての通知を受けます。

処分
生徒と面接：第一回は担任の教師が訓練を行います。教師と生徒は公式および非公式に面談を行います。問題がさらに重要な場合、総務が生徒の行動改善のための面会を開催します。生徒のカウンセラーは面会に多くの場合関与します。必要な場合、生徒は特定の行動が許可されていないこと、およびこのよう行動を反復すると重篤な結果になるとの勧告を受けます。総務は、関与したまたは目撃者である生徒と問題について話し合う前に保護者に話す必要はありません。

保護者への連絡：生徒の問題を対処するのに最も効果的なのは保護者です。教師、カウンセラーおよび総務は保護者に電話またはレターにより連絡し、保護者に生徒の行動について情報伝達をする努力をします。

親／保護者の学校面会:保護者は、教師、カウンセラー、総務オフィスと息子または娘の進捗または問題について、面談を予約して話し合うことをお勧めします。停学時、保護者は生徒の復学について話し合うため学校に来る必要があります。

没収：生徒の所持物で学習環境の邪魔になるものは生徒から没収します。

返却：所有品の紛失、損害、破壊または盗難にあった場合、新しいものに買い替える費用がかかります。*Virginia* §22.1-280.4によると、学校は生徒または生徒の保護者に対して、実際の損失、破損、破壊、または返却しなかった所持物に対して返却を求めることが規定されています。

拘留：拘留とは、生徒が学校のクラスの後追加で、またはクラスやクラス活動の参加を認められず行われます。この手法は、教師または総務が生徒を拘留し、正しくない行動を正すことを望むものです。親／保護者はこれについて通知を受けます。通常、拘留は2時間を超えません。生徒は土曜日には最高4時間まで拘留される可能性があります。

点検と捕獲:ロッカーや他の保管施設は学区の所持物であり、生徒が学校にいる間は貸し出されます。学校職員保管場所を開けて点検する権利を持っています。学校の職員は、生徒および／または生徒の所持品（たとえば財布や本のカバンなど）を、生徒が法律、学校の指針や法令に違反するまたは学校や生徒に対して有害なものを所持している可能性があると合理的に疑う場合、調べる権利を保持しています。このような調査は他人の目の前で行われます。どのような場合も生徒の衣服を脱がすことはありません。

学校の総務は定期的に生徒のパーキングを巡回しています。学校内にあるオートバイはいつでも学校の総務が違法または許可されていないものをオートバイの中または上に保持している可能性を合理的に疑う場合、検査します

学校内において、ドラッグ、爆弾、火器に対し、金属探知機やイヌによる検出調査を無作為に行う可能性があります。このような検索は学校の総務または学校総務における法律施行管理者が行います。生徒の検索に対してはイヌ科の動物は使用しません。

学校内において、ドラッグ、爆弾、火器に対し、金属探知機やイヌによる検出調査を無作為に行う可能性があります。このような検索は学校の総務または学校総務における法律施行管理者が行います。生徒の検索に対してはイヌ科の動物は使用しません。

州法および指針により、学校内または学校機能施設にいて武器のような物は認められていません。学校の総務は備品または金属探知機により、武器や他の危険な物質が学校の敷地内または学校機能施設に持ち込まれていないか検索する権利があります。

学校の権利者は違法な、許可されていない、または密売品または学校の校庭から発見された物質を没収する可能性があります。

尋問：法律執行人は生徒が学校の管理下にある間は質問を行う許可があります。以下の条項が満たされます。

1. 多くの場合、生徒の親または保護者は、親または保護者が望む場合、保護者が連絡取れない場合、法律執行役人または学校の総務により少年裁判所の保護観察官が要求された場合、呼び出されます。
2. 尋問は学校で学校の総務と共に行われます。
3. 質問から得られた情報は法的手続きにより要請されない限り学校のスタッフの秘密事項として取り扱います。

生徒は、保護する者が親または法的保護者または指定された者他である事実が設立されることなく他人の保護者に引きわたされることはありません。生徒は、管理人が正確なIDを提示しない場合法的管理人である保護者に引き渡されることはありません。

スクールバスに乗る特権の喪失:この罰則は生徒がスクールバスにおける不適切な行動を改善してくれることを望んで行うものです。生徒がバスに乗る権利を喪失した場合保護者は通知を受けます。バスに乗る特権を喪失した場合、保護者は学校までの移動に対する責任があります。

裁判所付託：違法的行為に対する補償または訴状が申し立てられます。

執行猶予および学業クラブまたは体育の参加特権の喪失
この罰則は不適切な行動およびLevel IIまたはIVの違法行為に対する結果によるものです。学業クラブ、卒業活動、または体育の参加などの課外活動から除外される時間は学年の終わりまたはそれ以上にわたることがあります。

停学
短期停学 **:** 学校に出席してはいけない停学処分の短い期間は10日を超えないものとします。

長期停学：学校に出席してはいけない停学処分の長い期間は10日以上365日以下とします。

障害をもつ生徒の停学機関は、州および連邦法により10日未満と定められています。短い停学期間に対する埋め合わせはありません。停学になった生徒は、ヨーク群学区内またはバス、またはヨーク群主催の学校行事に参加することはできません。これを破った場合は不法侵入となります。

停学は理由のない休みと見なされます。生徒は理由のない休みまたは理由のない遅刻した場合の毎日の課題や受けられなかったクイズに対して受けることは許容されていません。しかしながら締切りが理由のない休みの間であった期間延長の宿題に対するクレジットは与えられます。期間延長の課題とはリサーチペーパー、エッセイ、読書感想文、プロジェクト、試験、学期試験などを含みますがこれに限定されません。

停学の適法手続き

1. ***ヒアリングに対する生徒の権利***
   学長または指定された者は以下の目的で生徒と面会します。
   a) 口頭または文書で要請について通知
   b) 証拠に対する説明
   c) 生徒の言い分を聞くため
   生徒が学校の規則を違反したことが決定した場合、生徒は連続10日以下の停学となる可能性があります。

2. ***親／保護者の面会***
   生徒が停学になった場合、学長または指定された者は親または保護者に電話、e-mailにより情報を伝える様々な努力をします。

親および保護者は連絡先が正確であるかについて確認されます。

さらに、学校年内において学長または指定された者は親／保護者に対し、以下の情報についての通知を送ります。
a) 停学を決定した事実についての文書
b) 生徒が学校に復学してよい日程
c) 生徒の記録にアクセスする親または生徒の権利についての文書

親／保護者は学校スタッフが生徒の行動についての面会を求めた場合は応答する必要があります。

3. ***保護者の表明の権利***
   10日以内の停学についての再検討は事件から5日以内に学長に要請する場合があります。学長の決定は代理人または指定された者に対して決定から5日以内に表明されます。代理人または指定された者による決定は最終的なものとなります。

   10日以内の停学の再検討は事件から5日以内の代理人に要請する可能性もあります。この場合、代理人または指定された者の決定は、代理人の決定から5日以内に学校に表明される可能性があります。学校は罰則を増やす可能性も減らす可能性もあります。

4. ***総務の評価***
   10日以上の停学および／または退学の推薦は、代理人または指定された者が学校の生徒監視オフィスからの推薦により行います。よって、ここに学校の指針に従い退学の推薦は学校に伝えられます。

退学
退学は学校から課せられる罰則で、退学から365日以内は再登録することができず、学区に出席することが許されないことを言います。

障害をもつ生徒については、IEP委員会が障害と罰則行動の因果関係を判断し決定してからとなります。
連邦の米国学校法 1994 年（パート F 学校法 1994 年）の改定および *Virginia Code*§22.1-277.に従って、学校は、こ

の条例に従って、§18.2-308.1of the *Code of Virginia* で禁じられている校内または学校行事における爆弾の保持していた場合、または *Code of Virginia* の副項目 E に規定されている爆弾または破壊装置を保持していた場合、または §15.2-915.4of the *Code of Virginia* の副項目 E で規定されているまた火薬や消音火薬装置、または空気式鉄砲などを校内または学校行事で保持していた場合、学校は生徒を 1 年以上退学させることが可能です。
学校の総務は、または学校は、学校の指針に従いますが、特殊な状況下である要素が判明した場合で違反行為または他の違反行動または退学でない判断が適切である場合、それにより決定することもあります。校内の車の中または学校行事において爆弾を保持していた生徒を、§18.2-308.1of the *Code of Virginia* に従い学校は学校の出席を 1 年以内停止することが可能です。この項目については、特殊な状況を有する要素に関係なく生徒の退学を要請することになります。

ドラッグの罰則に対する生徒の退学
学校は *Virginia Code*§22.1-277.08 に従って、生徒で麻薬物質、疑似麻薬物質、または§18.2-247 に規定されているマリファナを校内または学校行事に持参した生徒を学校に出席することを禁じ地学とします。学校の総務は、または学校は、学校の指針に従いますが、特殊な状況下である要素が判明した場合で違反行為または他の違反行動または退学でない判断が適切である場合、それにより決定することもあります。*この項目では特殊な環境に関係なく生徒の退学を追求すると解釈されることはありません。*

退学の正当手順
ヒアリング

1. 退学には学校メンバーの正当なヒアリングが必要とされます。
2. 親／保護者は生徒の退学の推進についての文書による通知を受けなくてはいけません。総務によるヒアリングが代理人または事前に指定された者により退学推進の前に行われ、学校に正式な方法で上申されます。親／保護者はその後退学について学校から文書による通知を受けなくてはいけません。この通知は、日付、時間ヒアリングまた特殊要綱について記載されたものです。
3. 生徒および親／保護者（または法的代理人）は目撃者を呼ぶ、学校スタッフに質問する、または生徒の変わりに情報を提示する権利があります。

補遺

補遺A
学区指針GB
雇用機会の均等／非差別

指針表明

ヨーク群学区は、リクルート、採用、給料、昇給、保有、または従業員や候補者が採用に影響を与える行動について従業員に対して平等な機会を与えています。故に、人種、肌色、宗教、国籍、先祖、正当、性別、年齢、結婚状態、遺伝情報または障害により差別をすることは禁じられています。
仕事の重要な機能を遂行するためのメリットと能力に基づいて、合理的配慮の有無に関わらず、決定します。ヨーク群学区は、アクセス可能で使用できる、また有資格の障害者に施設、プログラム、行動を提供します。ヨーク学区は、さらに、有資格の障害者に、健康面、福祉面また他の社会サービスに対する差別は行いません。

「ヨーク学区の従業員の平等の権利」についての表明は、すべての従業員のアプリケーションフォームに示してあります。

警察への通報／防犯

この指針は、（1）各学校における一目を引く位置に刑事され、（2）従業員ハンドブックに掲載され、（3）必要に応じて従業員や候補者に提供されます。従業員のサービストレーニングには、犯罪を防止するためのトレーニングが含まれます。

- 苦情についての手順

A. 訴訟報告

平等な権利を有していることに異論をもつ者はその差別について、この指針において指定された苦情オフィスに報告するべきです。申し立てられた差別はすぐに報告されるべきであり、通常15日以内に報告するべきです。禁じられた差別の実施が許容されていることを知っている従業員は速やかにこれをこの指針において指定された苦情オフィスに報告することとします。

報告する者は差別報告書GB-Fのフォームを使用し、差別についての苦情を説明してください。また、口頭による報告および他の報告方法も受理されます。苦情は、この指針に指定された苦情オフィスに提出されなくてはいけません。苦情オフィスに関連する苦情はすべて、代理人に報告されます。苦情および特定された苦情および被告および差別の責任として申し立てられた者については、苦情に対する調査がすべて行われる程度に開示され、その開示については法律により認めらえて必要とされたものに限ります。苦情申立者が匿名で行いたい場合、学区が苦情に完全に対応するにあたり、限界があることが知らされます。

B. 調査

差別申し立てに対する報告を受けるとすぐに、苦情オフィスはすぐに調査を開始します。調査は学校のスタッフまたは第三者の学区により指定された者によって行われます。調査は実施可能になるとすぐに開始され、通常14日以内に苦情オフィスは報告を受けます。苦情を受け取るとすぐ、苦情オフィスは苦情を受け取ったことを、書面により苦情申立者に通知し、苦情申立者と代理人に通知します。苦情オフィスは、苦情の調査に対して14日以上必要な場合、苦情申立者および代理人に調査を延長する理由を通知し、調査が完了する日時を伝えます。

調査は苦情申立者に対してインタビューする者、指針違反で申し立てられた者および他の申し立てられた差別または状況について知りうる者で構成されます。調査は、申立者および申し立てられた差別に対して責任を問われている者の両者における目撃者と証拠ついて行われます。調査は、調査者が妥当であると考える文書または情報の監査を含む可能性があります。学区は苦情および他の保留になっている調査を保護するための必要な手順を取る必要があります。

特別な行動または事件が本指針の違反であるかどうかは、時として異なり、調査をつうじて完了されることにより判明するすべての環境によって決定されます。

苦情オフィスは文書による報告を調査が終わるとすぐに代理人に発行します。代理人に申し立てられた苦情がこの指針を違反する者であった場合、すぐに学校にも報告されます。報告は申し立てが

持続的なものであるか、本指針に違反しているかまた必要であれば行動改善を推薦するものであるかという内容を含みます。

すべての従業員は、州および連邦代理により、この指針の下で申し立てられた差別の調査に協力することとします。

C. 代理人の行動
苦情オフィスが報告を受けてから5日以内に、代理人または指定された者は書面により（1）本指針が違反されたかどうか（2）どのような対応がとられたかについて報告をします。苦情が、代理人が本指針を違反したという内容の場合、学校は雇用者の平等の権利／非差別委員会により、行われた活動に対して判決をします。

既存の委員会がない場合、学校が苦情オフィスから報告を受けてから、または委員会が発足した時点から14日以内に委員会が文書により結果を発行します。文書による決定は（1）本指針が違反されたかどうか、（2）どのような対応を取ることになったかについて記載されています。

文書による決定は郵送または個人的に決定が発行されてから5日以内に渡されなくてはいけません。代理人または委員会が、学区が禁止する差別が起こったと判断した場合、学区は田立に適切な処置を通達するのと同時に違反に対する修復と再発の防止に努めます。処分は懲戒から免職まで含まれます。

D. 公表
学区の代理人または委員会が禁止されている差別はおこなわれなかったと判断した場合、差別であると申し立てられた者はその結果を受けてから5日以内に学区にその見解を公表することができます。公表の通知は代理人または書面による決定を発行する委員会で学校に記録する者に報告されます。学校は記録を受け取ってから30日以内に決定しなくてはいけません。学校は、不当な扱いを受けた側に対し文書または口頭による抗議を求め、学区の代理人または委員会のうち書面による決定を発行するいずれかの者および他の個人は学校が妥当であるとみなします。書面による学校の決定は申立者にも渡されます。

本指針の苦情手順の代わりに、明確な従業員の不満手順を介して本指針の下に浮上している不満を追及することを選択する事が出来ます。

E. 法令遵守官および他の法令遵守官
ヨーク群学区は学区の人事部部長を法令遵守官として指名し、禁じられている差別の特定、調査、防止、解決を行うものとしています。差別に対する法令遵守は学区の最高執行責任者である別の法令遵守官が行うこともあります。

法令遵守官は、
- 差別に関する苦情および報告を受け取る
- 申し立てられた差別の調査の実施または監視をする
- 本指針に関連した学区が必要とするトレーニングを評価する
- 指針を遵守するために必要なトレーニングの準備を行う
- 差別の調査の実施が、採用／教育の機会の平等についての必要事項についてのトレーニングを受けた公平な調査官により行われることを確認し、調査期間中申し立てた被害者および他人を保護する権利があります。

報復
従業員で差別または関連手続きの参加に対する報復は禁じられています。学区は他の従業員や従業員候補者で差別または関連手続きの参加に対する報復に対しては、正式な対応を取ります。法令遵守官は不満を述べる者、不満の対象となる者、およびすべて一連の問題についての報告方法の調査に参加したものに情報を与えます。

他の苦情手順の権利
本指針は個人が他のリソースによる禁止された差別を訴える権利を奪うものではなく、民事訴訟、外部代理店の訴訟または州法または連邦法による規正を訴える権利を否定する事はありません。

指針の保護および通知
差別防止のためのトレーニングは従業員中心のものおよび学区内でのトレーニングが含まれます。この指針は（1）校内の目立つ場所で学校のスタッフがアクセス可能な場所、（2）従業員ハンドブックに記載されています。すべての従業員の名前および連絡先は毎年法令遵守官に通知されます。

冤罪
従業員が故意的に差別を行うことは違反行為に値します。

2014年1月27日適用

参照法律
:20U.S.C.§1681etseq.;29U.S.C.§701;42U.S.C.§§6101etseq.、2000e-2etseq.、2000ff-1(a)and12101etseq.;CodeofVirginia、1950asamended、§§2.2-3900、2.2-3901、2.2-3902.

クロスリファレンス:AC Nondiscrimination;GBA/JFHA Prohibition Against Harassmentand Retaliation; GBM Professional Staff Grievances; GCPD Professional Staff Discipline; JBE qual Educational Opportunities/Nondiscrimination

補遺B

学校指針GB-F
差別報告書

主張者_____

学生の場合、所属学校: _____

従業員の場合、役職と所属場所 _____

住所、電話番号、e-mailアドレス _____

_____

差別が申し立てられた日付

あなたまたは他人に対し差別をしたと思う者の名前

_____

_____

申し立てられた差別についての詳細について、事件が起こった場所および時間を含めて記載してください。事件を目撃した可能性のある目的者の名前を記載してください。過去の事件でこの苦情に関連している可能性のある場合も詳細を述べてください。必要な場合、追加ページを貼付してください。

私は私が知る限り、本報告書が真実で、正確で、完全であることを証明します。

_____

申立者の署名　　日付

_____

苦情を受け取った者　　苦情管理人　　日付

©10/12VSBA

補遺C

学区指針GBA/JFHA
ハラスメントおよび報復の禁止

I. 指針

ヨーク群学区は教育環境および職場においてハラスメントのない状態を保持することを誓っています。法律に従い、学区は生徒、従業員または他人に対して、性別、性、人種、肌色、国籍、障害、宗教、正当、年齢、結婚状態、遺伝情報、またはその他の法律により保護されている性質または学校または学校行事において存在する性質の信仰によって差別されることは禁止されています。ヨーク群学区は雇用に対し平等な権利を与えています。

生徒または学校スタッフは、性別、性、人種、肌色、国籍、障害、宗教、正当、年齢、結婚状態、遺伝情報、またはその他の法律により保護されている性質または学校または学校行事において存在する性質の信仰によってハラスメントを受けることは指針違反となります。生徒、学校のスタッフまたは参加している第三者で観察または学校行事に従事している者により、性別、性、人種、肌色、国籍、障害、宗教、正当、年齢、結婚状態、遺伝情報、またはその他の法律により保護されている性質または学校または学校行事において存在する性質の信仰によるハラスメントを見逃すことは指針違反です。

この指針の目的として、学校スタッフとは、学校メンバー、学校の従業員、代理店、ボランティア、契約者または学区の管理下またはコントロール下にあるものとします。

学区は、（1）速やかにすべての性別、性、人種、肌色、国籍、障害、宗教、正当、年齢、結婚状態、遺伝情報、またはその他の法律により保護されている性質または学校または学校行事において存在する性質の信仰に基づくハラスメント苦情を文面または口頭により調査し、（2）ハラスメントに対して速やかに適切な処置をとり、（3）生徒または学校スタッフでこの指針に違反した者に対する適切な処置およびハラスメントを終了させ、これ以上の生徒または学校スタッフによるハラスメントを防止するための他の合理的な行動をとります。

II. 定義

A.性に関するハラスメント

性についてのハラスメントは歓迎されない口説き、性的行為の要請、性的動機による身体的行動、口頭または身体的行為またはコミュニケーションで携帯電話やインターネットの性的性質を用いるもので、以下にあたる場合

- 明確または暗黙的に採用や教育の保持や取得の状態に対する行為やコミュニケーションの申し出
- 個人の採用または教育の決定要因として使用される個人の行為またはコミュニケーションの申し出や拒否
- 各人の採用や教育を理不尽に本質的に妨害する、または敵対的、威嚇的、対立的な採用や教育環境を作り出すことを実施するまたはそのようにコミュニケーションをとる（生徒または従業員が参加する可能性を制限する、または教育プログラムや就業環境から得られるベネフィットを制限するのに十分重要となる行動等）

性別に基づいたハラスメント行為の例は、以下の定義を直接満たす場合となります。

- 好まれない性的身体接触
- 好まれない進行形または反復する性的な悪ふざけまたは提案、または供述
- 性的侮辱、卑劣な目つき、あだ名、脅迫、中傷コメント、または性的卑劣な叙述
- 個人の身体に関する描写的コメント
- 性的冗談、コメント、話題、描写、じぇすジャーまたは写真
- 性的噂を広める
- 個人の身体や服に性的に接触
- 性的物体、写真、絵、またはポスターの掲示
- 性的暗示を示す行為を差し迫る又は拒否する
- 性的暴力
- 文書、写真または電子イメージの提示、または
- 求められない言動、非言動、文書、絵、または性的または性的固定観念に基づく身体的行動

B. 人種、出身国、障害、または宗教に基づくハラスメント
人種、出身国、障害、または宗教に基づくハラスメントで、携帯電話またはインターネットを使用した個人の人種、国籍、障害または宗教に関連した身体または言動による行動により構成されるもの
- 脅し、恐怖、または不快な職場および教育の環境を作り出す
- 実質上または不合理的な個人の仕事や教育の阻害
- 個人の採用の機会または生徒の参加する能力または教育プログラムから得るベネフィットを制限する深刻な問題

ハラスメントの例としては人種、国籍、障害、または宗教に基づくもので、続く定義を直接満たすもの
- 人種差別的言語による落書き
- あだ名、冗談、または噂
- 人種、国籍、障害、または宗教に基づく他人または他人の所有物に対する攻撃的身体的行動
- 他人の人種、国籍、宗教、または障害に基づく悪意のある行為
- 個人の人種、国籍、障害、または宗教に基づく脅威や差別で文書または画像を掲載または巡回させること

追加の禁止事項
違法なまたは違法レベルまでは到達しないものにかかわらず、ハラスメントまたは報復は教育または職場環境では許容されません。下品な、または有害な行動は禁止されています。特に、社会経済レベル、性的性向、または感知した性嗜好を含むがこれに限定されない他人の性質に向けられたものは禁止されています。

ヨーク群学区では、監督、学校役員、教師、他の学校従業員、オンライン学校プログラムの従業員、学校のボランティアとして学校で働く者（学区スタッフ）、および他のベンダーで学区および／または生徒にサービス提供をしているものを含む全てのスタッフに対し、生徒が正しく行動できるように模範を示すことを期待しています。生徒は学区の明確な標準規範により友好的で専門性を有する学校のスタッフが支援しております。成人の性的非行を含む成人の性非行のない安全な学習環境および教育環境を作り出す責任を学区のすべての成人は共有しています。

学区は優先的にこのような不当行為から生徒を保護し、生徒の妨害とコミュニケーションの境界線を観察して見極めることは学区の義務です。学区は生徒を性的暴行または性的違反から保護することを誓います。

- 犯罪防止のため従業員候補のスクリーニングに関連し、児童虐待や放置に対する州法および法令を遵守します。
- 明確で合理的な指針の実施ついての開発、効果的な実施、トレーニングおよび教育は生徒および学区スタッフの相互関係を統括しています。
- 違反や乱用の疑いについて生徒および保護者から報告を受ける経路を設立し、犯罪行為が申し立てられたまたは疑われた場合は速やかに法律の執行を通知します。
- 性的違法行為における正式な罰則および学区指針違反に対する退職の正式な開示、および学区が参照を追求することの妨害を防止します。
- バージニア教育省が有資格の従業員で有罪または虐待に関連している者の辞職または退職についてはすべての州法および法令を遵守します。

生徒と学区スタッフの関係において学区指針を遵守することは生徒にとって安全で健全な環境を作り出すだけでなく、学区スタッフを嘘の告発や誤解による告発から保護することにもつながります。

本指針は、追加で、ハラスメントから保護する学区の指針を基盤に拡張します。

学区の管理官は、以下についての法令を公表し実施するために適切な段階を経てこの法令を実行し管理します。
- 学区のスタッフと生徒の間のコミュニケーション
- 学区スタッフと生徒の間の身体的接触
- 学区スタッフと生徒の間の社会交流
- 本指針に関連し情報配布するためのトレーニング
- 違反または乱用の疑いについての報告
- 本指針を提供するために必要とされる他の話題

III. 苦情手順

A. 正式な手順

1. 訴訟報告
生徒または学区スタッフで、性、性別、人種、肌色、国籍、障害、宗教、信仰、年齢、結婚状態、および遺伝情報または他の法律で保護されている性質または生徒またが学校スタッフまたは第三者の有する性質に基づいたハラスメントを受けたと考える者は、本指針または学校スタッフが指定した苦情管理者に申し立てたハラスメントを報告するべきです。申し立てられたハラスメントは直ちに報告されるべきで、報告は発現から15日以内に行うべきです。さらに、学生で禁じられたハラスメント行為が行われたことを知っている者は、このような行為について本指針または学校スタッフにより指定された苦情管理者に報告するべきです。学校スタッフは生徒または他の学校スタッ

フが禁じられたハラスメントの被害者である可能性があると通知を受けた場合、すぐに本指針に指定された苦情管理者にハラスメントを報告してください。

ハラスメントを報告する際は、ハラスメント報告書GBA-F/JFHA-Fを使用するべきですが、口頭による報告も受け付けています。苦情は学校の学長または本指針で指定された苦情管理者に報告されます。学長は申し立てられた禁じられたハラスメントを苦情管理者にすぐに報告します。すべての苦情は苦情管理者または学長に送られ、管理官に報告されます。

苦情および苦情および申し立てられたハラスメント執行者の特定は、苦情の調査に必要な程度のみで、また法で許可されているまたは必要とされている場合においてのみ開示されます。さらに、苦情申し立て者が匿名で行いたい場合、学区が秘密保護の下で完全に苦情に応える能力に限界があります。

2. 調査
申し立てられた禁じられたハラスメントの報告を受けたらすぐに、苦情管理者は速やかに調査を開始権利が与えられ、調査を開始します。調査は学校スタッフまたは学区に指定された第三者により行われます。調査はできる限り早く完了し、通常苦情管理官が報告を受けてから14日以内に完了します。苦情を受け取るとすぐに苦情管理者は受け取ったことを文書によりハラスメントを申し立てた者とハラスメントを行ったとされる者の両者に通知します。苦情を受け取ると、苦情管理官は中間調査を未決定の調査に対して実施しするかどうかを決定します。このような中間報告は、犯罪が含まれる可能性がある場合は申し立てられたハラスメントや苦情とは別に、法律執行者に通知するかしないかについてだけに限定されない内容をふくみます。苦情管理官は苦情の調査に14日以上必要とする場合、苦情申立者およびハラスメントを行った者に調査が延長する理由および調査を完了する日程について通知します。申し立てられたハラスメントは、児童虐待を含む場合があり、JHG指針に従い児童虐待および児童放置報告の社会サービスにも報告しなくてはいけません。

調査は苦情、申し立てられたハラスメント、または他に申し立てられたハラスメントやそれが起こった環境についてしっている者についての個人のインタビューを行うこともあります。調査は、申し立てられたハラスメントを行った者およびハラスメントを受けたと申し立てた者の双方から証拠および目撃者について考慮します。調査官により明確であると判断される文書または情報を使用して調査を行うこともあります。学区は苦情申立者および他の申立の調査で保留になっているものを保護する必要な段階を取ることもあります。

申し立てられた行為が本指針を違反する者かどうかについて、学区は最低限、（1）取り巻く環境、（2）行動の本質、（3）過去の出来事または継続的または過去の行動パターン、（4）相互の関係性、（5）行為が行われた頻度、（6）申し立てた被害者と加害者の関係、（7）申し立てられたハラスメントが行われた場所、（8）双方の年齢、（9）申し立てられた事件が起こった状況、について考慮します。ある種の行為または事件が本指針の違反によるものかどうかは時と場合により異なり、調査を終了してから判明した状況および要因に基づいて決定されます。

苦情管理人は調査が完了すると速やかに管理者に文書により報告します。苦情が学区の管理官についての場合、報告が学校に行われます。報告は申し立てが事実であるか、指針の違反があったかどうか、また違反であった場合は行動改善を推薦するかどうかについて記載されています。

すべての従業員は本指針の下、および適切な州および連邦により申し立てられたハラスメントの調査に協力します。

3. 管理者による処置
法律遵守官が報告を受けてから5日間、学区の管理者または指定された者は、この指針が違反されたかどうかについての決定を発行します。この決定は、苦情申立者および申し立てたられた加害者に文書により提供されなくてはいけません。管理者または指定された者が、禁止されたハラスメントがヨーク学区において行われなかったのではと判断した場合、ヨーク群学区は直ちに違反に対する措置を伝えると同時に、再発を防ぐように適切な処置をとります。このよ

うな処置は規律を上げる、または排除または解職を含みます。管理官または指定された者による禁じられたハラスメントが起こったかどうかの決定に関わらず、管理官または指定された者は学校単位または学区単位で、トレーニングを実施する、またはカウンセリングが受けた苦情をについて決定することができます。

4. 出頭

学区の代理人または指定された者が禁止されているハラスメントはおこなわれなかったと判断した場合、ハラスメントであると申し立てられた者はその結果を受けてから5日以内に学区にその見解を公表することができます。代理人で学校に報告した者に出頭の通知を行わなくてはいけません。学校は通知を受けてから30日以内に決定します。学校は、申し立てた者、代理人および学校が関係あると想定する個人から口頭または文書による同意を求めることがあります。文書による学校側の決定は、ハラスメント申立者およびハラスメントをした者の双方に通知されます。

管理者または指定された者が禁じられたハラスメントが起こったと判断し罰則を科した場合、罰則を受けた者は、懲戒処分を他の懲戒処分が決定した場合と同様の方法で再審を訴えることができます。

従業員は、本指針の苦情手続きではなく、同様の従業員の苦情手続き方法を介して苦情を本指針に基づいて追及することを選択することも可能です。

法律遵守官

ヨーク群学区は学区の人事部部長を法令遵守官として指名し、禁じられているハラスメントの特定、調査、防止、解決を行うものとしています。ハラスメントに対する法令遵守は学区の最高執行責任者である別の法令遵守官が行うこともあります。

法律遵守官は、

- 差別に関する苦情および報告を受け取る
- 申し立てられた差別の調査の実施または監視をする
- 本指針に関連した学区が必要とするトレーニングを評価する
- 指針を遵守するために必要なトレーニングの準備を行う
- ハラスメントの調査の実施が、採用／教育の機会の平等についての必要事項についてのトレーニングを受けた公平な調査官により行われることを確認し、調査期間中申し立てた被害者および他人を保護する権利があります。

B.非公式手順

苦情を申し立てた者およびハラスメントを問われている者が同意した場合、生徒の学長または指定された者により、非公式でカウンセラー、教師または総務を設定することも許可されています。
苦情申立者およびハラスメントを問われているものが苦情に対し非公式に解決することに同意した場合、非公式手順をいつでも放棄する権利があり、正式な手順を開始することもできることが知らされます。学長または指定された者は苦情申立者およびハラスメントを問われる者に対し、文書により苦情が解決されたことを通知します文書による通知は禁止されたハラスメントが起こったかどうかについて記載されています。

IV. 報復

従業員でハラスメントまたは関連手続きの参加に対する報復は禁じられています。学区は他の従業員や従業員候補者でハラスメントまたは関連手続きの参加に対する報復に対しては、正式な対応を取ります。法令遵守官は不満を述べる者、不満の対象となる者、およびすべて一連の問題についての報告方法の調査に参加したものに情報を与えます。

V. 他の主張方法を使用する権利

本指針は個人が他のリソースによる禁止されたハラスメントを訴える権利を奪うものではなく、民事訴訟、外部代理店の訴訟または州法または連邦法による規正を訴える権利を否定する事はありません。

VI. 指針の保護および通知

性、性別、人種、肌色、国籍、障害、宗教、信仰、年齢、結婚状態、および遺伝情報に基づいたハラスメントを防ぐトレーニングは従業員および生徒を中心に行うと同時に従業員の学区内でのトレーニングを行うべきです。

本指針は（1）生徒、保護者および学校スタッフに目立つ各学校の場所に掲載し、（2）生徒および従業員のハンドブックに掲載し、（3）すべての生徒の保護者に学校開始日から30日以内に送付されます。また、すべての生徒および親／保護者、および従業員はコンプライアンス管理官の情報および名前を毎年通知されます。

VII.冤罪

従業員が故意的にハラスメントを行うことは違反行為および犯罪または違法に値します。

適用：2014年1月27日

参照法律:20U.S.C.§§1681-1688;29U.S.C.§794;42U.S.C.§§2000d-2000d-7;42U.S.C.§§2000e-2000e-17;42U.S.C.§2000ff-1;34C.F.R.106.9;Code of Virginia、1950 asamended、§§2.2-3900 2.2-3901 2.2-3902

クロスリファレンス:AC Non discrimination; GBE Eual Employment Opportunity/Nondiscrimination; GBA-F/JFHA-F Report of Harassment; GBM Professional Staff Grievances; JBEqualEducational Opportunities/Nondiscrimination; JFC StudentConduct; GCPD Professional Staff Discipline; JHG Child Abuseand Neglect Reporting

補遺D

SchoolBoardPolicyGB-F/JFHA-F
ハラスメント報告書

主張者_____

学生の場合、所属学校: _____

従業員の場合、役職と所属場所 _____

住所、電話番号、e-mailアドレス _____

_____

ハラスメントが起こった日 _____

ハラスメントをあなたに（または他人に）したと思う人

_____

申し立てたハラスメントが他人に対しての場合、その特定された者の名前

_____

申し立てられたハラスメントについての詳細について、事件が起こった場所および時間を含めて記載してください。事件を目撃した可能性のある目的者の名前を記載してください。過去の事件でこの苦情に関連している可能性のある場合も詳細を述べてください。必要な場合、追加ページを貼付してください。

私は私が知る限り、本報告書が真実で、正確で、完全であることを証明します。

_____

主張者の署名　　日付

苦情を受け取った者 _____

(法令遵守管理官)　　日付

適用:　　2014年1月27日

参照法律:　　Code of Virginia、1950、asamended、§22.1-253.13:7.C.1

©10/12VSBA

フォーム

動物解剖

ヨーク群学区の法律に従って、保護者が動物解剖の一部のコースを別の物に選択することを望む場合、生徒は動物の解剖は別のコースに振り返る事が可能です。解剖は「科学的教育のために適切に保存された動物または動物の一部について切開を含む取り扱いをし、研究し、触感、感覚、配置について調査する」こととされています。動物の解剖の代わりは、コンピュータプログラム、インターネットシミュレーション、プラスティックモデル、ビデオテープ、デジタルビデオコース、および図表を含むがこれに限られないクラスがあります。

動物の解剖技術クラスの代わりは、解剖と関連した生物化学クラスで実施されます。解剖技術の代わりのクラスは生徒に解剖手段によるものだけでなく、他の生徒が解剖を実施、参加、または観察することにより取得する知識と同様の知識を提供するように設計されています。

解剖を実施しないためのフォームは科学の教師から入手可能です。

家族生活教育

ヨーク学区の家族生活教育カリキュラムは幼稚園から12年生において行われます。現在のテーマは、児童虐待、家族およびコミュニティーの関係、ヒューマンセクシャリティー、人間の成長および開発、出産、性病、乱用、肯定的な自己概念、コミュニケーション能力、決定力、同僚との関係などについてです。親／保護者は学校主催の各学年前に行われる家族生活教育指導についてのオリエンテーションのセッションに参加することを推奨します。家族生活教育プログラムの資料は、紙面上および視聴覚教材がヨーク群学区の図書館およびウィリアムスバーグ地区公立図書館で入手可能です。

保護者で、今年度の選択的またはすべての家族生活教育プログラムから児童を除外したい場合、家族生活教育除外申請の幼稚園から 12 年生までの申請用紙に記入しなくてはいけません。**親／保護者でこのフォームに記入しない場合、児童は学年に相当するすべての家族教育プログラムを受けることになります**

親／保護者の家族生活教育参加についての通年における申請を変更させたい場合、書面を児童の学校の学長に提供しなくてはいけません。

情報開示

いかなる状態においても、生徒の試験日程または他の個人情報について、生徒の親または保護者の文書による同意なしに（18 歳未満の場合）情報を開示することは禁止されています。学業情報は他の学校には開示されることがあります。ヨーク群学区における生徒の学業成績の管理についての学区の指針のコピーは学長に連絡することにより入手可能です。

学区は保護者の許可に基づいて他の情報を開示します。

ディレクトリー情報

学校期間中、ヨーク群学区は要請に応じて、生徒のディレクトリ情報を適切な機関に公開し、生徒の情報を卒業アルバム、課外および体育プログラム、および卒業生と優等生のリストに掲載します。

このようなディレクトリ情報は *Virginia* §22.1-287.1（1983 年改定）で定められており、生徒の名前、性別、住所、電話番号リスト、生年月日、生まれた場所、専攻、公式スポーツや活動の参加、体育チームの体重および身長、出席日数、受けた学位や賞、および他の同様の情報が含まれる可能性があります。

軍必要事項

The No Child Left Behind (NCLB)法の要請により、学区は軍の採用について高校生の 1 年生と 2 年生に情報提供されます。保護者は、保護者の受取書／解除フォームについての適切な☐にチェックをすることでこの情報提供を受けないことを選択することもできます。

メディア／ウェブサイト／学区公表

地域のニュースメディアは、ヨーク群の教育を放送しており、学区の生徒およびスタッフに関連したストーリーに興味を持っています。学区もまた、生徒およびスタッフの活動をハイライトしケーブルチャンネル（YCSDTV-47）、およびウェブサイト（yorkcountyschools.org）、およびビデオ報道で公表しています。

メディアや学区外に報道される可能性のある情報の例としては、優等生、卒業リスト、生徒の課外および課外達成、学区のプログラム、体育、または活動、特殊イベントなどです。メディア報道フォームの範囲内において学区がメディアのメンバーが生徒のインタビュー、写真、またはビデオテープを取ることを許可する一方、学区は、ニュースメディアの生徒の教育指導の邪魔になるもの、または緊急事態時や危険自体におけるインタビューは禁じています。

さらに学区のウェブサイトは学区のスタッフが作成し監視しており、生徒の成功を共有し生徒の秘密事項は開示しないようにします。

児童がヨーク学区に入学すると、保護者はメディア開示のフォームを記入することが求められます。これは学区の餓鬼部コミュニケーションを通じて情報をメディアに開示することを示唆します。このフォームは児童がヨーク学区に出席している間中有効ですが、文書による要請を学校オフィスに提出することでいつでも変更可能です。

生徒のネットワークサービス／インターネット使用指針（AUP）

このフォームは親／保護者が登録時に署名してください。このフォームは生徒の記録とファイルします。

保護者受け取り証書／情報開示フォーム

（全ての生徒に適用）

本フォームは2015年9月11日までに学校に返却してください

生徒名_____生年月日_____

学校_____担任の教師名_____性別_____

保護者の責任についての認識

ヨーク群学区のハンドブックおよび行動規範に示されている文書の重要性について生徒と話し合い確認したことを認めるために以下を記入し署名してください。

以下の書類を受け取り、生徒と確認しました。

1. 学生行動規範（40～63ページ）
2. 就学義務法*Virginia* §22.1-254（1ページ）
3. バージニア安全保護の通知（IDEA;P.L.108-446;20USC§1400etseq）（障害をもつ生徒の保護者のみ）

親／保護者への通知

本ハンドブックの受け取りについて署名し、本誌を生徒と読み話し合い、権利を喪失しないようにしてください。保護者の方は、バージニアの法律の下で、米国およびバージニア福祉法により権利が保護されていることを承諾して署名してください。さらに、親／保護者はハンドブックを読み、話し合った結果、ヨーク群学区の指針または決定に対して反対する権利を有しています。

ヨーク群学区のハンドブックおよび行動規範における重要文書を確認し、受取書を記入し署名してください。

親／保護者の名前_____

親／法的保護者の署名 _____ 日付 _____

18歳以上の生徒の署名 _____ 日付 _____

軍の採用に対する情報公開

高校1年生と2年生の保護者：No Child Behind（NCLB）法により、学校は軍採用の情報を1年生および2年生に提供します。保護者でこの選択肢の情報提供を排除したい場合は、以下の☐にチェックをしてください。

☐ **生徒のすべてのディレクトリ情報は軍採用には開示しません。**

親／保護者の氏名_____

親／法的保護者の署名 _____ 日付_____

このフォームは2015年9月11日金曜日までに担任の教師に返却してください

Form I-149
Iss. 4/15

yorkcountyschools.org

家族生活教育の除外の要請幼稚園～12 年生

2015 年 9 月 23 日までに返却してください

生徒がすべてまたは一部の家族生活教育プログラムを除外したい場合のみ学校に返却してください。

このフォームの目的は、親／保護者が生徒を家族生活教育プログラムから完全に、または選択した一部のプログラムから除外するためのフォームです。

生徒の学校で、家族生活教育ガイドについての書類／オーディオなど視覚的資料は事前に入手可能でご確認いただけます。

2015～16 年の方針について以下から選択してください。
☐ すべての家族生活教育プログラムから除外します。 ☐ 選択した家族生活教育プログラムから除外します。
生徒に受けさせたくない課題のすべてをリスト化してください（例 *K.4, K.10, or 10.2, 10.6*） 家族生活教育の学年別の話題内容はオンラインの学区ウェブサイト *yorkcountyschools.org* の保護者リソースセクションに記載しています。

以下の情報にお答えください	
生徒名（苗字、名前）：	2015～16 年学年
学校	担任教師名
親／保護者の署名	日付
指名	

家族生活教育プログラムのすべてまたは一部を除外したい場合、2015 年 9 月 23 日までに本フォームを学校まで提出してください。

生徒／保護者の技術使用フォーム

2015年9月11日までに返却（すべての生徒に適用）

yorkcountyschools.org

氏　　名　　生徒番号　　学年

学校 _____ 担任教師_____

生徒のネットワークサービス／インターネット使用についての指針

- ☐ 生徒にヨーク群学区が提供するネットワークサービスおよびインターネットサービスを使用することを許可します。
- ☐ 生徒にヨーク群学区が提供するネットワークサービスのみを使用することを許可します。
- ☐ 生徒がヨーク群学区が提供するネットワークサービスのみを使用することを許可しません。
- ☐ 生徒がインターネット安全性の指導をうけることを許可しません。

生徒／保護者の私物電子機器装置の使用許可

- ☐ 生徒の私物電子機器の使用を許可します（3～12 年生のみに適用）
- ☐ 生徒の私物電子機器の使用を認めません。

生徒の作品を電子媒体により掲示

☐児童のプロジェクトおよび宿題を電子媒体に掲載することを許可しません。

私／我々は、学校に連絡し必要フォームを提出することで、これらの許可は学年をとおして変更することができることを理解します。

私は、本ネットワークサービス／インターネットアクセスの指針および私物電子機器装置の許可についての内容に同意します。私／我々は、これらの内容を悪用または乱用するとそれらの特権が破棄または停留されることになり、ヨーク群学区および／または適切な法律執行機関からの懲罰を含む罰則を受けることになることを理解しています。

私／我々は、生徒が学区所有物の指導用アプリケーションが生徒の情報を必要としている場合、学区の方針として個人情報をウェブサイトやオンラインサービスに提供しないことを承知します。私／我々はこれを生徒と一緒に話し合いました。

私／我々は宿題が電子媒体で刑事され、FERPA（家族教育瞼およびプライバシーの権利）と分類される可能性のある個人特定情報を含む可能性があることを理解しています。インターネットを通じて連絡を取る場合、個人特定情報の量は制限するよう努めます。オンラインによる宿題や活動に対し、教師はコメント、成績または評価をつけます。いかなる場合にも、コメント、成績または評価は公開されません。

生徒の署名：_____ 日付：_____

親／保護者：_____ 日付：_____

このフォームは**2015年9月11日金曜日**までに担任の教師に返却してください(すべての生徒に該当)

ディレクトリ

Bethel Manor 小学校 **867-7439**
Michael Lombardo, Principal
1797 First Street
Langley AFB, VA 23665

Coventry 小学校 **898-0403**
Paula Sasin, Principal
200 Owen Davis Boulevard
Yorktown, VA 23693

Dare 小学校 **898-0324**
Lindsey W. Caccavale, Principal
300 Dare Road
Yorktown, VA 23692

Grafton Bethel 小学校 **898-0350**
Lisa Ruffieux, Principal
410 Lakeside Drive
Yorktown, VA 23692

Magruder 小学校 **220-4067**
Jane Core Yatzeck, Principal
700 Penniman Road
Williamsburg, VA 23185

Mt. Vernon 小学校 **898-0480**
Mary Lugo, Principal
310 Mt. Vernon Drive
Yorktown, VA 23693

Seaford 小学校 **898-0352**
Christina Head, Principal
1105 Seaford Road
Seaford, VA 23696

Tabb 小学校 **898-0372**
Cheryl Parr, Principal
3711 Big Bethel Road
Yorktown, VA 23693

Waller Mill 芸術小学校 **220-4060**
Magnet School
Jennifer Goodwin, Principal
314 Waller Mill Road
Williamsburg, VA 23185

Yorktown Elementary **898-0358**
数学、科学及び&技術マグネット学校
Kelly Denny, Principal
131 Siege Lane
Yorktown, VA 23692

Grafton 中学校 **898-0525**
Karen Cagle, Ed.D., Principal
405 Grafton Drive
Yorktown, VA 23692

Queens Lake 中学校 **220-4080**
Scott Meadows, Principal
124 West Queens Drive
Williamsburg, VA 23185

Tabb 中学 **898-0320**
Antonia Fox, Ed.D., Principal
300 Yorktown Road
Yorktown, VA 23693

Yorktown 中学校 **898-0360**
Susan Hutton, Ph.D., Principal
11201 George Washington Memorial Highway
Yorktown, VA 23692

Bruton 高校 **220-4050**
Arletha Dockery
185 East Rochambeau Drive
Williamsburg, VA 23188

Grafton 高校 **898-0530**
Royce Hart, Principal
403 Grafton Drive
Yorktown, VA 23692

Tabb 高校 **867-7400**
Angela Seiders, Principal
4431 Big Bethel Road
Yorktown, VA 23693

York 高校 **898-0354**
Shannon Butler, Ed.D., Principal
9300 George Washington Memorial Highway
Yorktown, VA 23692

York River Academy **898-0516**
Walter Cross, Principal
11201 George Washington Memorial Highway
Yorktown, VA 23692

ゴーく学区オフィス
302 Dare Road
Yorktown, VA 23692

スイッチボード	**898-0300**
ファックス	**855-878-9063**
コミュニティー 、 公民関係	**898-0492**
会計、教育関係	**898-0308**

成人教育 **898-0469**

EXTENDセンター **898-0389**

国際バカロレア学位プログラム **898-5014**

Knowledge Learning Corp./Champions Child Care **833-8294**

New Horizons Regional Education Center

Butler Farm Road	**766-1100**
Children's Center (Kiln Creek)	**886-7958**
Woodside Lane	**874-4444**

芸術学校 **220-4095**

送迎 **898-0344**